

徳島県

埋蔵文化財センター年報

Vol. 9 1997年度

1998

財団法人 徳島県埋蔵文化財センター



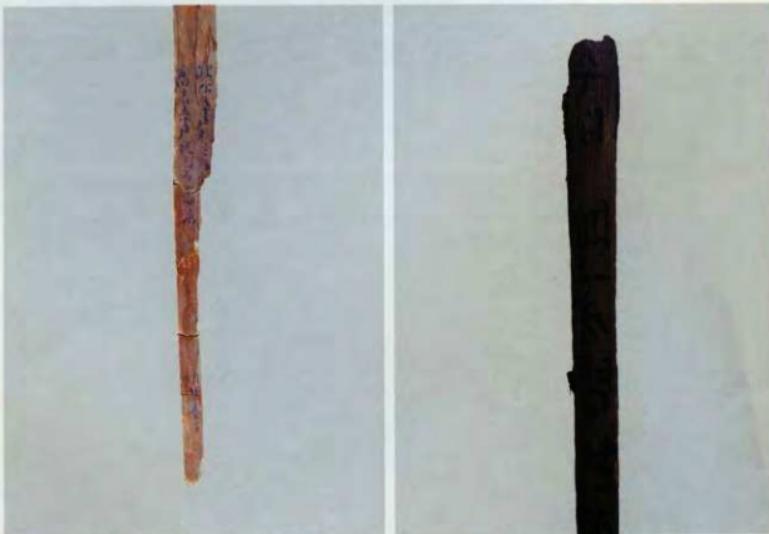
大柿遺跡　弥生時代前期棚田



大柿遺跡　古墳時代後期竪穴住居群



円通寺遺跡 全景



観音寺遺跡出土「五十戸税」木簡

観音寺遺跡出土「論語」木簡

はじめに

本書は平成9年度に徳島県埋蔵文化財センターが実施した事業の概要をまとめたものであります。

四国縦貫自動車道（美馬～川之江間）建設に伴う発掘調査は井川・池田インターチェンジ以西の2遺跡を残して無事終了することができました。三好町大柿遺跡では弥生時代の棚田が確認され、吉野川に沿った段丘面の土地利用状況を知るうえで重要な成果が得られました。また円通寺遺跡では鎌倉・室町時代の居館跡が全面的に調査され、県内では不明であった中世城館の構造について多くの成果をおさめることができました。

香川県津田町と徳島県鳴門市を結ぶ四国横断自動車道関連事業については一部の地区において用地取得が進んだため、本年度より着手することとなりました。

本事業は本州四国連絡道路（神戸・鳴門ルート）に接続しますが、県域では阿讃山地を開削して東西に延びるため、古墳群が調査対象となる特徴があります。次年度以降に本格的な調査が予定されており、その成果が期待されます。

一般国道192号徳島南環状線関連事業では、観音寺遺跡で飛鳥時代から奈良時代にかけての木簡や多量の木製品が出土しました。特に論語学而篇の著名な一節が書かれた最古級の木簡や7世紀後半の地方税制の在り方をうかがわせる木簡は、全国的に注目されたところであります。今回出土した資料は古代史研究に裨益するところ大であると思われ、阿波国府の成立や文化の解明も期待されます。今後、本格的な整理・保存作業を進め、資料の整備に努めていきたいと考えております。

最後になりましたが、本書の刊行にあたり、関係各位並びに関係機関に御礼申し上げるとともに、今後とも一層の御指導と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成10年3月

財団法人 徳島県埋蔵文化財センター
理事長 青木武久

目 次

I 財団法人 徳島県埋蔵文化財センターの概要	6
II 平成9年度事業概要	7
III 事業報告	9
四国縦貫自動車道関連発掘調査	
荒川遺跡	16
西原遺跡	17
円通寺遺跡（小山地区）	18
土井遺跡	21
大柿遺跡	23
坊遺跡	29
須賀遺跡	30
縦貫道関連試掘調査	31
四国横断自動車道関連試掘調査	32
一般国道192号徳島南環状線関連発掘調査	
観音寺遺跡	33
矢野遺跡	39
延命遺跡	42
一般公共事業関連発掘調査	
高泰遺跡	44
石井城ノ内遺跡（石井曾我团地地区）	45
市楽遺跡	46
庄遺跡（大藏省藏本住宅宿舎地点）	47
田宮遺跡	48
新蔵町3丁目遺跡	49
崎田遺跡	50
圃場整備事業関連発掘調査 分布調査 試掘調査	
別所遺跡	51
宮免遺跡	52
牟岐喜来遺跡	53
一般公共事業関連試掘調査	54
一般国道192号徳島南環状線関連整理業務	
矢野遺跡	56
一般公共事業関連整理業務	
貞光前田遺跡	57
石井城ノ内遺跡（石井 神山線地区）	58

庄遺跡（大蔵省藏本住宅宿舎地点）	59
新蔵町1丁目遺跡（企業局総合管理センター地点）	60
新蔵町1丁目遺跡（合同庁舎地点）	61
新蔵町1丁目遺跡（県警新蔵宿舎地点）	62
IV 埋蔵文化財センターの活動	63
V 受贈図書	67

例　　言

- 1 本書は財團法人徳島県埋蔵文化財センターの平成9年度事業をまとめた年報である。
- 2 III 事業報告に関する地形図は国土地理院発行1/50,000地形図を転載したものであり、各図に図幅名を記した。
- 3 III 事業報告の概要は各担当が執筆し、その責を文末に記した。
- 4 本書の編集は菅原 大谷 近藤が行った。

平成9年度 財団法人 徳島県埋蔵文化財センターの組織

役員

理事長 安藝 武
副理事長 佐藤 功
理事 玉有 繁
 小川統史郎
 豊岡 宏規
 青木 武久
 浅香 寿穂
 後藤田一夫
監事 東 憲司
 平尾 俊宏
専務理事 簡井 豊祐
常務理事 庄野 德保
 谷 一郎

県教育長
 県教育次長
 県教育次長
 県教育次長
 県教育委員会総務課長
 県教育委員会教育管理課長
 県教育委員会義務教育課長
 県教育委員会高校教育課長
 県教育委員会文化財課長
 県土木部監理課長
 県副出納長
 県教育委員会生涯学習課長

所長 簡井 豊祐
事務局長 庄野 德保
事務局次長 谷 一郎
総務課

課長 長江 正士
 集堂 仁
 西木 正香
 青木 雅和
 福本 桂子
 山下 知子
事主 長事
事主 事事
技師 師員
臨時補助員

森 早苗
 中村

調査第一課
課長 島巡 賢二
 南信義
 前川直江
 吉田千恵
 日下正剛
 湯浅文則
 島巡賢二
 小林一枝
 寺澤久美子
主査兼調査係長
研究員

宮本和宏
 泊強
 石尾和仁
 近藤玲

普及係長 德元奈美子
研究員
臨時補助員

調査第二課
課長 菅原 康夫
 松永雅行
 市原健次
 市村みね
 谷恒二
 伊丹宇芳
 中島弘子
 藤本一夫
 大北恭宏
 寒川芳裕
 森本雅史
 加藤仁
 丸岡公夫
 佐野妹尾
 岩井真鍋
 岩井公人
 岩井伸
 岩井義明
 岩井和俊
 牧野浩市
 石井和雄
 中川幸典



喜枝	秀行	久保脇 美朗
氏家	敏之	原 芳伸
栗林	誠治	大北 和美
田川	憲	大橋 育順
島田	豊彰	
研究補助員	畠山	秀樹 妹尾 真美
村部	穰	
主査兼調査第二係長	佐々木清克	
研究員	武市 文雄	上野 秋利
	坂東 勝美	下内 新吾
	志磨 誠一	吉田 博明
	元木 浩司	大栗 悟
	中南 弘史	梶尾 順一
	福田 安倫	小延 伸公
	小泉 信司	藤川 智之
	植地 岳彦	

西部事務所	
所長	谷 一郎
次長	菅原 康夫
綱貫担当係長	松永 雅行
綱貫担当調査班	調査第一係員
臨時補助員	森 礼子

I 財団法人 徳島県埋蔵文化財センターの概要

1 設立の目的

財団法人徳島県埋蔵文化財センターは、徳島県内における埋蔵文化財の調査及び研究を行うとともに、文化財の保護意識の啓発、普及を図り、もって地域文化の振興に寄与することを目的とする。

2 事業の内容

- (1) 埋蔵文化財の調査及び研究に関する事業
- (2) 出土した文化財の整理及び保存に関する事業
- (3) 埋蔵文化財の活用及び保護意識の啓発、普及に関する事業
- (4) その他目的を達成するために必要な事業

3 設立年月日

平成元年4月1日

4 出資者

徳島県

5 基本財産

10,000千円

6 事務所所在地

徳島県板野郡板野町大伏字平山86番2

II 平成9年度事業概要

1 理事会の開催

第34回臨時理事会

開催日 平成9年4月1日 県庁教育次長室

議案 第1号議案 役員の選任について

第35回通常理事会

開催日 平成9年6月19日 県庁教育次長室

議案 第1号議案 平成8年度事業報告について

第2号議案 平成8年度収支決算の承認について

第3号議案 平成8年度未処分余剰金の処理について

第36回通常理事会

開催日 平成10年3月13日 県庁教育次長室

議案 第1号議案 平成9年度事業計画の変更について

第2号議案 平成9年度補正予算(案)について

第3号議案 平成10年度事業計画(案)について

第4号議案 平成10年度当初予算(案)について

第5号議案 組織規定の改正について

第37回臨時理事会

開催日 平成10年3月31日 県庁教育次長室

議案 第1号議案 役員の選任について

2 事業概要

徳島県からの委託により、次の事業を実施した。

- (1) 四国縦貫自動車道関連では、63,224m²の発掘調査を実施した。
- (2) 四国横断自動車道関連では、2,718m²の発掘調査を実施した。
- (3) 一般国道192号徳島南環状線では、25,339m²の発掘調査と出土品280箱の整理業務を実施した。
- (4) 一般国道55号バイパス道路建設工事関連では、695m²の試掘調査を実施した。
- (5) 一般公共関連では、
 - ① 大蔵省蔵本住宅宿舎新営(第2期)及び(第3期)工事関連では、650m²の発掘調査及び出土品65箱の整理業務を実施した。
 - ② 県営住宅石井曾我田地建設工事関連では、1,040m²の発掘調査を実施した。
 - ③ 徳島保健所改築事業(第3期)工事関連では、620m²の発掘調査を実施した。
 - ④ 小松島警察署建て替え工事関連では、500m²の発掘調査を実施した。

- ⑤ 都市計画道路常三島 中島田線建設工事関連では、420m²の発掘調査を実施した。
 ⑥ 緊急地方道路第十白鳥線改良工事関連では、4,050m²の発掘調査を実施した。
 ⑦ 一般県道船戸切幡上板線改良工事関連では、1,600m²の発掘調査を実施した。
 ⑧ 緊急地方道路出口太刀野線建設工事関連では、333m²の発掘調査を実施した。
 ⑨ 県道板野川島線道路改築工事関連では、167m²の発掘調査を実施した。
 ⑩ 県代行緊急地方道路（県道光下－新町線）整備工事関連では、250m²の発掘調査を実施した。
 ⑪ 南部健康運動公園建設工事関連では、562m²の発掘調査を実施した。
 ⑫ 県営圃場整備事業関連（小松島市坂野）では、500m²の発掘調査を実施した。
 ⑬ 県営圃場整備事業関連（脇町岩倉）では、1,000m²の発掘調査を実施した。
 ⑭ 県営圃場整備事業関連（牟岐町）では、500m²の発掘調査を実施した。
 ⑮ 県営圃場整備事業関連（阿南市福井川 椿）では、750,000m²の遺跡精密分布調査を実施した。
 ⑯ 県営圃場整備事業関連（海南町大里）では、100,000m²の遺跡精密分布調査を実施した。
 ⑰ 県道石井神山線道路改良工事発掘調査に伴う出土品141箱の整理事業を実施した。
 ⑱ 県警新蔵宿舎建て替え工事発掘調査に伴う出土品160箱の整理事業を実施した。
 ⑲ 徳島合同庁舎建設工事発掘調査に伴う出土品129箱の整理事業を実施した。
 ⑳ 企業局総合管理センター建設工事発掘調査に伴う出土品42箱の整理事業を実施した。
 ㉑ 西部テクノスクール建設工事発掘調査に伴う出土品280箱の整理事業を実施した。
 (6) 本州四国連絡道路関連では、出土品48箱の整理事業を実施した。
 (7) 発掘調査報告書第16集～第22集までを作成し発刊した。
 (8) 徳島県立埋蔵文化財総合センターの管理運営業務を実施した。

3 収支決算報告

財団法人徳島県埋蔵文化財センターの平成9年度収支決算は次のとおりである。

(1) 収入の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比 較	備 考
1 基本財産運用収入	34,000	34,998	998	
2 事業収入	3,471,304,000	3,471,304,650	650	
3 雑収入	944,000	944,473	473	
4 繰越金	2,554,000	2,554,654	654	
合 計	3,474,836,000	3,474,838,775	2,775	

(2) 支出の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比 較	備 考
1 事業費	3,301,564,000	3,301,556,104	△7,896	
2 管理費	146,980,000	143,457,481	△3,522,519	
3 その他支出	2,024,000	2,023,965	△5	
4 消費税	24,268,000	24,267,100	△900	
合 計	3,474,836,000	3,471,304,650	△3,531,350	

III 事業報告

平成9年度は徳島県と同年4月1日付で契約した業務委託契約書に基づいて事業を実施した。前年度に比べて事業数は減少したが、四国縦貫自動車道関連事業では1遺跡あたりの事業量は膨大なものがあった。四国縦貫自動車道第10～11次区間（美馬～川之江）は前年度からの荒川遺跡・西原遺跡・円通寺遺跡・土井遺跡・大柿遺跡の5遺跡を継続調査するとともに、須賀遺跡・坊遺跡の本調査及び井川池田IC以西の5遺跡について試掘調査を実施した。

平成8～9年度の当該事業に係る調査面積は39遺跡199,046m²、延べ面積412,476m²、稼働調査班50.75班（609月／班）であり、徳島県埋蔵文化財センター設立以来、空前絶後の調査規模となった。

9年度当初の縦貫自動車道担当調査班は23班を配置し、うち15班が三好町大柿遺跡の調査にあたった。9年12月には第10次区間が開通し、当該年度中の調査の概成が第11次区間井川・池田ICまでの10年度供用の可否を握る最大の要因となった。少し大柿遺跡の調査経過に触れておく。

8年度当初の計画では平成8年度に本線部、9年度に側道部を調査するものとし、本線部についてはカルバートボックス施工部を先行調査する12工区分割案であったが、掘削深度及び層位的な対応を把握する必要があったため、9工区に分割して調査を実施した。本調査は工事請負方式とし（本センターでは平成元年度から導入）、各工区には核となるプロバー職員等を配置して調査に臨んだ。

9年4月段階での進捗率は26パーセントで、表面積51,450m²のうち、本線東端部分の9,100m²が調査完了したのみで、調査区全域にわたり遅延が目立つようになった。8年度はまだ工事工程全体に調整可能な若干の余裕があり、調査の遅延に応じた工程調整の協力を得ることができた。しかし9年度当初には調査区の東端から本格的に工事が進行し始めるとともに、路線を跨ぐ吉野川北岸農業用水路の迂回工事、四国電力高圧線移設工事などの関連工事も錯綜し、工事工程との調整個所が狭まった。そのため、調査区ごとの調査計画見直しを余儀なくされたが、調査計画が1個所でも崩れると全体の工事工程に影響を与える段階までに至った。

この間他遺跡の調査が終了した班から順次大柿遺跡の支援に合流したが、道路公団工事事務所での定例協議に加え、工事区・本体工事施工業者との現場協議が頻繁に行われ、調査区の引き渡し個所、時期の協議・確認が主な議題となった。

各調査区の一応の終了時期は設定していたものの、多くの調査区で掘削深度が深く、試掘調査時の想定とは異なる土層の展開をみせ、遺構枚数の増加や複雑な遺構の切り合いに多くの時間が費やされた。最終的には微高地では3～5面、微高地斜面部には9～10面の遺構面を数え、掘削深度は現地表面から4.5m以深に及んだ。

このため、年度途中からは新たに整理業務を担当していた職員6名のうち2名を年末まで大柿遺跡の支援に入れるとともに、教育委員会文化財課も埋蔵文化財担当係員3名のうち1名を大柿遺跡調査専従とし、変動要素に対応することとした。大柿遺跡の調査班は年度後半には20班が、年明けには試掘の1班を除く23班すべてが大柿遺跡に従事した。

空中写真撮影のために飛来するヘリコプターもそれまでの隔週もしくは週1度が週に2～3回の割合になり、その都度清掃・遺構のライン引きに調査区間を往来する作業員の集団、指示連絡のために走る研究員のバイク、請負業者のライトバンや散水車、遺構面の細部撮影のため待機する高所作業車等の風

景はあかも戦場の如き様相を呈した。

遺構面が予想以上に拡がり、いつ終わるともなく変化し続ける現場の状況によりやく調査終了の見通しが立ったのは10年2月21日、調査区西端部の工区における弥生時代棚田の現地説明会実施時であった。3月26日には最後まで残っていた側道西端部の調査を終え、2カ年にわたった大柿遺跡の調査は完了した。

大柿遺跡の延べ調査面積260,920m²、投入班数26.75班（321月／班）であり、歩掛り上は1班当たり9,750m²/年の調査を実施したことになる。これは第7次区間（脇～徳島間）の調査で目標設定した8,500m²/年1班（基準値 工事請負方式による人力掘削厚30cm、調査面積100に対する遺構密度15%）を越す厳しい数値となった。なお、事業の概成に伴い、西部事務所は平成10年3月31日をもって閉鎖された。

平成4年度から開始した四国縦貫自動車道第10～11次区間の調査表面積は362,876m²、整理業務を除く事業費は約6,000,000千円であった。

以下9年度の主な成果について述べる。

四国縦貫自動車道関連では大柿遺跡で前年度からの古墳時代後期の集落に加えて調査区の西半で弥生時代前中期と後期後半の水田面が確認された。地形に応じた多種の区画水田が見られる点で極めて重要な吉野川に向かって下降する傾斜面では傾斜に平行した狭長な棚田が検出された。水田の配水方向について一応の把握はなされたが、基幹水路からの流末にかけての灌漑システムあるいは時期別にみた開田状況等については、今後整理が必要である。

三好町円通寺遺跡ではサービスエリア部分の全面調査を実施した。当該地点は徳島県名勝天然記念物「美濃田の淵」に面し、「三好町史」地域誌 民俗編 1996に小山段の城跡とみえ、堀 土堤 古墓の平面図が表示されているように、ドイノダンの地名と方形区画が遺存する。方形区画の性格や現存地形の形成年代に留意して調査を進めた結果、鎌倉 室町時代にわたる居館であることが確認された。方形区画溝及び堀 土塁は東西及び北部分をめぐり、吉野川に向かう南部分は自然の浅谷地形を利用している。調査区外に延びる居館推定範囲南西隅には吉野川に面した一辺30m程度の小区画地形が現存する。吉野川の水運に係る何らかの施設が存在した可能性があり、全容把握が課題として残る。なお方形区画溝を伴う屋敷地の調査は板野町宮ノ前遺跡について2例目である。

三好町土井遺跡では煙管状土器焼成窯1基 灰原が検出された。煙管状土器焼成窯は徳島県では上板町神宮寺遺跡 美馬町薬師遺跡に類似があり、神宮寺遺跡では土師質皿 杯 梗 鍋 瓦器碗、薬師遺跡では土師質鍋 鉢 壺の焼成がみられる。土井遺跡では新たに香川県綾南町西村窯址群資料と類似する、いわゆる西村系須恵器碗の焼成が確認され、当該期の土器生産の具体相を示すものとして評価される。

一般国道192号徳島南環状線関連の徳島市觀音寺遺跡で検出された木簡約80点の他、祭祀具 木製品は5,000点に及ぶ。木簡は7世紀中葉から8世紀中葉にわたるが、木製品は出土層位から6世紀末に遡るものがあり、古代阿波国の政治中枢の形成過程を考えるうえでも重要な資料になろう。

阿波國府の所在地については『倭名抄』では名東郡とする。名東郡はもと名方郡に属す。江戸時代の藩撰地誌『阿波誌』には「国址廳府中村城東に在り」とみえ、御所池の記載がある。現徳島市国府町府中をあてる。『大日本本地名辞書』は国府町府中の大御和神社（通称府中の宮、明治3年以前印鑄大明神と称す）を総社とする。

昭和初期以来、御所池 城内 北門などの地名から現JR府中駅南を北辺に置く正方位方八町の国府域（田所市太『四国の国府』1938）や現存条里地割に基づく方八町の国府城（福井好行『阿波の国府』

其附近の条里』『徳島大学学芸紀要』9(1960)、条里地割りに重複する南北方向の方格地割りに基づいた正方位方八町の国府域(木下良「国府と条里の関係について」『史林』50-5(1967)、あるいは方六町説(米倉二郎「国の昇格と国府の変容」『史林』66-1(1983))等が支持されてきた。

1982年以降、徳島市教育委員会は從来の説に基づいて、10次にわたる重要遺跡確認調査を実施した結果、政府等の遺構は検出できなかったものの、N10°Wの現存条里地割に基づいた諸説より西方の観音寺を中心とする方6-8町国府域を想定した(徳島市教育委員会『阿波国府跡第10次調査概要-1991年度』1992)。また徳島市教育委員会の調査内容を踏まえ、「徳島県史蹟名勝天然記念物調査報告」第1輯の「城ノ内から二間毎に礎石とも認むべき巨大な凝灰岩の排列が発掘された」記載や観音寺の南に隣接する民家から凝灰岩切り石が出土していることを勘案して、初期国府の観音寺地区から後期国府の城ノ内地区への国府移動説も出された(天羽利夫「考古学から見る古代阿波12の謎」徳島新聞1997.12.22)。

今回の成果は、観音寺に近接した地点での水辺で行われた祭祀行為が複数次にわたってみられ、木簡には国府執務に係る内容が記されていること、7世紀から10世紀にわたる木製品や各種の遺物は周辺に一定期間国府関連施設が存在したことをうかがわせるものであり、観音寺を中心とする地点に国府が存在した可能性を補強するものといえよう。6世紀末の大型建築部材や木製祭祀具は国府設置以前の豪族居館の存在をうかがわせるものであり、概要報告でも述べているように、国府設置に関して当地を本貫とした名方郡の栗凡直氏との関連性が浮上してきた。

四国横断自動車道関連事業では板野町の4遺跡について試掘調査を実施した。日本道路公団徳島工事事務所の要請により、山地部での効率的な調査方法を探るため、中谷山古墳群(I)では地下レーダー探査を実施して、その結果と試掘調査結果の整合性、精度等を検討した。試掘調査では横穴式石室と考えられる石組の一部が検出されたため、次年度に本調査を実施することとした。

徳島県における朱の精製は縄文時代後期に遡るが、一般公共事業の庄遺跡(大蔵省蔵本団地宿舎地点)では縄文晚期の円形住居埋土中の朱付着の浅鉢が若干量出土し、関連資料が追加された。なお庄遺跡では弥生時代前期の朱付着土器もみられ、朱の精製が継続的に行われていることが確認される。

その他、事業報告に記載した以外では国道55号バイパス阿南道路関連の試掘調査、55号線日和佐道路県営圃場整備事業(阿南市椿・福井工区)に伴う分布調査を実施した。阿南道路は阿南市西路見町から同市福井町を結ぶ延長21kmの建設省直轄事業である。那賀川の右岸、阿南市街の南東に抜がる平野部を縦断する2.9kmの範囲が今回の試掘対象であり、独立丘陵に横穴式石室が構築された皇子山古墳群、西方の山塊には弥生時代中期の高地性集落である正福寺山遺跡や、銀象眼のある頭椎大刀を副葬した横穴式石室の学原剣塚古墳などが点在する。試掘の結果、耕作土直下に砂層もしくはグライ化した粘土層がみられた。小松島市から阿南市にかけての平野部には類同の堆積がみられ、過去の調査においても近世以降の開発と想定される個所が多い。古代における開発状況や集落立地の具体的把握が課題である。

(菅原)

四国縦貫自動車道関連埋蔵文化財発掘調査業務一覧

No	遺跡名	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
1	荒川遺跡	美馬郡美馬町字荒川59他	150m ² (試掘調査) 1,900m ² (本調査)	9 4 3 9 9 18 9 12.25 9 9 11~10. 1. 31	○縄文時代 ○弥生時代 ○中世 近世	掘立柱建物跡 堅穴住居跡 溝 土坑 柱穴	純文土器 弥生土器 須恵器 土師器 土師質土器 陶磁器 石器 鉄器 銭貨
2	西原遺跡	三好郡三好町大字足代字西原788-1他	1,927m ² (本調査)	9 4 3 ~ 9 6. 30	○弥生時代 中世	堅穴住居跡 溝 土坑 柱穴 集石	遺構弥生土器 須恵器 土師器 土師質土器 陶磁器
3	円通寺遺跡 (小山地区)	三好郡三好町足代字小山	11,270m ² (本調査)	9 4 3 ~ 9 11.25	○中世	掘立柱建物跡 溝 挖 烟窓 土坑 池状遺構 灰窯 柱穴 火葬墓	須恵器 土師質土器 陶磁器 銭貨 土鍋 切羽 鞘
4	土井遺跡	三好郡三好町豊岡字土井101-1他	15, 592m ² (本調査)	9 4 3 ~ 9 9. 22	古墳時代 ○中世	掘立柱建物跡 土坑 漢管状土器 器焼成窯 柱穴 灰原	須恵器 土師器 土 師質土器 滑石製繩 鍊車
5	大柿遺跡	三好郡三好町大字豊岡字カワラケメン他	28,490m ² (本調査)	9 4 3 ~ 10. 3. 25	○縄文時代 ○弥生時代 ○古墳時代 ○古代 ○中世	掘立柱建物跡 堅穴住居跡 水 田 土坑 石蹴 羅納遺構 土師 器焼成遺構 柱 穴	純文土器 弥生土器 須恵器 土師器 土師質土器 瓦器 陶磁器 石器 鉄器
6	坊遺跡	三好郡井川町西井川214-1他	300m ² (本調査)	9 4 1 ~ 9 5. 23	古代 ○中世 近世	炭窯 柱穴	須恵器 土師器 土 師質土器 黒色土器 陶磁器
7	須賀遺跡	三好郡井川町西井川101-1	3,180m ² (本調査)	9 5 16 ~ 9. 10. 3	○弥生時代 古代 中世 近世	土坑 柱穴	弥生土器 須恵器 土師器 磁器 石器
8	馬路遺跡	三好郡池田町馬路字安長47他	320m ² (試掘調査)	10. 2 2 ~ 10. 3. 31	中世	集石墓	土師質土器 陶磁器
9	林遺跡	三好郡池田町佐野字林197他	130m ² (試掘調査)	9 8 1 ~ 9 8. 29	中世	土坑 柱穴	土師質土器 瓦質土 器
10	森常遺跡	三好郡池田町字初草2656-1他	90m ² (試掘調査)	9 7 1 ~ 9 7. 23			
11	高毛遺跡	三好郡池田町字高毛2809-2他	25m ² (試掘調査)	9 7. 24 ~ 9 7. 29			

◎主体となる時期

四国横断自動車道関連埋蔵文化財発掘調査業務一覧

No	遺跡名	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
1	大坂西谷遺跡	板野郡板野町大坂	850m ² (試掘調査)	9 6 16 ~ 9 8. 15	古代 中世 近世		須恵器 土師質土器 陶磁器 瓦
2	唱谷遺跡	板野郡板野町大坂字唱谷9-1他	1,000m ² (試掘調査)	9. 12. 1 ~ 9 12. 16	中世 近世		土師質土器 陶磁器 瓦
3	間柱遺跡	板野郡板野町大坂字古田61-1他	700m ² (試掘調査)	9 12. 17 ~ 10. 1. 31	近世		陶磁器 瓦
4	中谷山古墳群 (I)	板野郡板野町川端20-1他	168m ² (試掘調査)	10. 1 5 ~ 10. 3. 31	○古墳時代	古墳 (横穴式石室)	須恵器 片 鐵器

◎主体となる時期

一般国道192号徳島南環状線関連埋蔵文化財発掘調査業務一覧

No	遺跡名	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
1	觀音寺遺跡 (第2分割)	徳島市国府町觀音寺466-1他	6,470m ² (本調査)	9.4.3 ~ 10.3.25 10.3.26 ~ 10.3.31 (とりまとめ)	○古墳時代 ○古代	井戸 溝 土坑 柱穴 自然流路	須恵器 土師器 瓦 木簡 木製品 (高車 建築部材 容器 鋳機具)
2	觀音寺遺跡 (第1分割)	徳島市国府町觀音寺466-1他	12,550m ² (本調査)	9.4.3 ~ 10.3.25 10.3.26 ~ 10.3.31 (とりまとめ)	縄文時代 ○弥生時代 ○古代 ○中世	堅穴住居跡 井戸 溝 土坑 柱穴 自然流路 土壙墓	須恵器 土師器 土 師質土器 陶磁器 瓦 石器
3	矢野遺跡	徳島市国府町矢野字青木401-1他	1,449m ² (本調査)	9.9.1 ~ 10.2.28 (本調査) 10.3.1 ~ 10.3.31 (とりまとめ)	縄文時代 ○弥生時代 ○古代 ○中世	掘立柱建物跡 堅穴住居跡 溝 土坑 柱穴 自然流路	縄文土器 弥生土器 須恵器 土師器 土師質土器 陶磁器 石器
4	延命遺跡	徳島市国府町延命	4,870m ² (本調査)	9.4.3 ~ 10.3.13 (本調査) 10.3.14 ~ 10.3.31 (とりまとめ)	○弥生時代 ○古代 ○中世	掘立柱建物跡 溝 水田 土坑 柱穴 自然流路	弥生土器 須恵器 土師器 土師質土器 陶磁器 瓦 石器
5	西路見地区 (阿南道路)	阿南市西路見町江川	695m ² (試掘調査)	9.12.1 ~ 9.12.26			

◎主体となる時期

一般公共事業関連埋蔵文化財発掘調査業務一覧

No	遺跡名	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
1	大柿遺跡 (県道光下新町橋建設工事関連)	三好郡三好町大字豊岡舟戸2276他	250m ² (試掘調査)	10.3.2 ~ 10.3.20	縄文時代 ○弥生時代 ○古墳時代 ○古代 ○中世	水田	縄文土器 弥生土器 須恵器 土師器 土師質土器 陶磁器 石器
2	中庄遺跡他	三好郡三加茂町中庄434他	333m ² (試掘調査)	10.1.5 ~ 10.2.13	古代 ○中世	溝 土坑	須恵器 土師器 土 師質土器 瓦器 陶 磁器
3	別所遺跡 (駅町岩倉地区 駅前廣場整備工事 関連)	駅町字笈ノ川尻2352-1他	1,000m ² (本調査)	9.11.1 ~ 10.2.28	古代 ○中世 近世	堅穴住居跡 土 坑 柱穴 自然 流路	須恵器 土師器 土 師質土器 陶器
4	高泰遺跡 (県道船戸切替 上級線建設工事 関連)	板野郡土成町土成字高泰	1,600m ² (本調査)	9.12.1 ~ 10.3.31	弥生時代 ○古墳時代	溝 堅穴住居跡 土坑 柱穴	弥生土器 須恵器 土師器
5	下庄遺跡他 (県道板野・川島 線建設工事関連)	板野郡板野町下庄字真弓18-1他	167m ² (試掘調査)	10.2.16 ~ 10.2.27			
6	石井城 / 内道路 - 石井曾我团地 地点 - (原宿住宅石井 曾我团地建設工 事関連)	名西郡石井町石井字城之内	1,040m ² (本調査)	9.8.1 ~ 10.3.31	弥生時代 ○古墳時代 ○古代 近世	溝 水田跡 自 然流路	弥生土器 須恵器 土師器 土師質土器 陶磁器 石器 勾 玉
7	市率遺跡 (県道幕十・白鳥 線建設工事関連)	名西郡石井町高川原字市率172-26他	4,050m ² (本調査)	9.4.1 ~ 10.1.31	近世	掘立柱建物跡 溝 横列跡 水 田跡	須恵器 土師質土器 瓦質土器 陶磁器 錢貨
8	桜間遺跡他 (県道桜木環状線 建設工事関連)	徳島市国府町桜間字間ノ本26他	420m ² (試掘調査)	9.11.1 ~ 9.11.26	古代	溝 土坑 水田 跡	須恵器 土師質土器 陶磁器
9	庄遺跡 (大藏省倉本住 宅宿舍地点 - (大藏省倉本住宅舍 合新官事務関連)	徳島市庄町1丁目77	650m ² (本調査)	9.7.1 ~ 9.11.30	○縄文時代 ○弥生時代 ○古代 ○中世 近世	堅穴住居跡 溝 土坑 柱穴 自然流路	縄文土器 弥生土器 須恵器 土師器 土師質土器 陶磁器 石器

No	遺跡名	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
10	田宮遺跡 (都市計画道路常三島 中島田線建設工事関連)	徳島市南田宮4丁目945-1	420m ² (本調査)	9.6.1~9.7.18	中世 近世	溝 土坑 柱穴 自然流路	須恵器 土師質土器 銭貨
11	新町3丁目遺跡 (徳島保健所改築事業関連)	徳島市新町3丁目80	620m ² (本調査)	9.11.17~10.1.31	○近世	井戸 土坑	陶磁器 瓦
12	崎田遺跡 (県警小松島警察署にて替え工事関連)	小松島市日開野町字崎田27他	500m ² (本調査)	9.4.1~9.5.16	中世 近世	掘立柱建物跡 土坑 柱穴 自然流路	須恵器 土師器 土師質土器 陶磁器 鉄器 銅製小柄
13	官免遺跡 (坂野地区県営圃場整備事業関連)	小松島市大林町官免および中野田	500m ² (本調査)	9.10.1~9.11.30	古墳時代 古代 近世		須恵器 土師器 陶磁器
14	桑野谷遺跡 (南部健康運動公園関連)	阿南市桑野町桑野谷61外	562m ² (試掘調査)	9.11.1~10.3.31	古代 中世 近世		須恵器 土師器 土師質土器 陶磁器
15	福井工区 (福井川 植木工区県営圃場整備事業関連)	阿南市福井町大宮内中宮 宮下地区	210,000m ² (分布調査)	10.2.1~10.3.31			陶磁器 瓦
16	椿工区 (福井川 植木工区県営圃場整備事業関連)	阿南市椿町蒲生田地区	540,000m ² (分布調査)	10.2.1~10.3.31			須恵器 石器
17	(一般国道55号線 日和佐道路建設工事関連)	阿南市福井町~海部郡由岐町	450,000m ² (分布調査)	10.2.2~10.3.31			
18	牟岐喜来遺跡 (牟岐喜来工区県営圃場整備事業関連)	海部郡牟岐町大字橋字喜来	500m ² (本調査)	9.10.1~9.11.14	中世 近世		土師質土器 陶磁器 石器
19	海南町大里工区 (県営圃場整備事業関連)	海部郡海南町大里	100,000m ² (分布調査)	10.2.2~10.3.31			

○主体となる時期

一般国道192号徳島南環状線関連埋蔵文化財出土品整理業務一覧

No	遺跡名	所在地	整理箱数	整理期間	時代	遺構	業務内容
1	矢野遺跡	徳島市国府町矢野	280箱	9.4.1~10.3.31	○弥生時代 古墳時代	堅穴住居跡 溝 土坑	遺物の基礎整理 実測 トレース

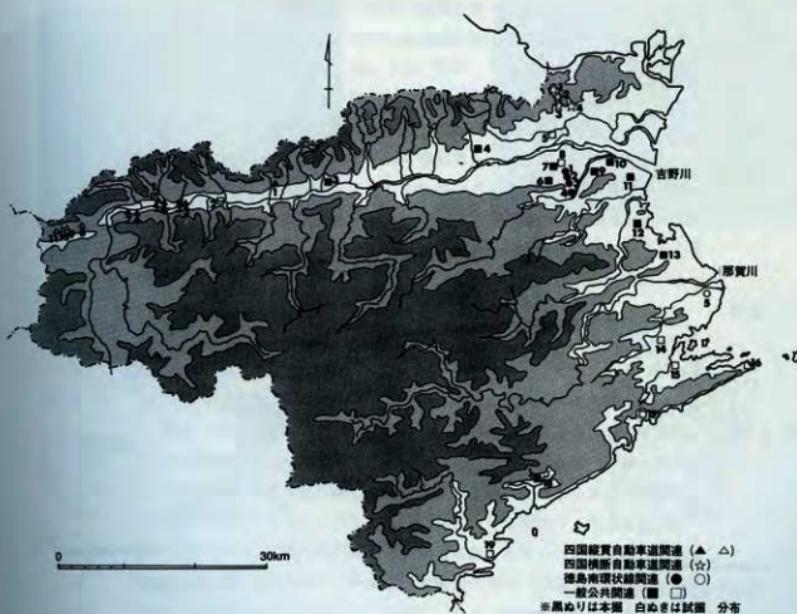
○主体となる時期

一般公共事業関連埋蔵文化財出土品整理業務一覧

No	遺跡名	所在地	整理箱数	整理期間	時代	遺構	業務内容
1	貞光前田遺跡 (西部テクノス ケーブ建設工事 関連)	美馬郡貞光町字前田他	280箱	9.7.1~10.3.31	縄文時代 ○弥生時代 古墳時代 中世	掘立柱建物跡 堅穴住居跡 溝	遺物の基礎整理
2	石井井ノ内遺跡 -石井 神山線 地区- (県道石井 神山 線改築事業関連)	名西郡石井町石井	141箱	9.4.1~9.6.30 10.1.1~10.3.31	縄文時代 ○弥生時代 古墳時代 ○古代 中世 近世	溝 土坑 潟 池	遺物の基礎整理 実測

No	遺跡名	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
3	庄遺跡 -大藏省蔵本住宅宿舎地点- (大藏省蔵本住宅宿舎新営工事関連)	徳島市庄町1丁目77	65箱	9.4.1~10.3.31	縄文時代 弥生時代 古代 中世 近世	溝 土坑 柱穴 自然流路	遺物の基礎整理 実測 写真撮影 遺物の分類 原稿執筆
4	新蔵町1丁目遺跡 -企業局総合管理センター地点- (企業局総合管理センター建設工事関連)	徳島市新蔵町1丁目86	42箱	9.4.1~9.9.30	○近世	溝 土坑	遺物の基礎整理 実測 写真撮影 遺物の分類 原稿執筆
5	新蔵町1丁目遺跡 -合同倉庫地点- (合同庁舎建設工事関連)	徳島市新蔵町1丁目68	129箱	9.4.1~10.3.31	○近世	溝 横列 土坑	遺物の基礎整理 実測 レース 写真撮影 原稿執筆
6	新蔵町1丁目遺跡 -県警新蔵宿舎地点- (警察共済組合徳島県支部住宅建設工事関連)	徳島市新蔵町1丁目62-1	160箱	9.4.1~9.6.30 10.1.1~10.3.31	○近世	溝 井戸 土坑	遺物の基礎整理 実測

○主体となる時期



発掘調査地

あら かわ 荒川 遺跡

所在地 美馬郡美馬町字荒川59他

調査期間 1997年9月11日～1998年1月31日

担当者 佐野 瀬部

調査概要 本遺跡は、吉野川北岸の阿讚山麓から標高100m前後の扇状地上にかけて位置する。現況は宅地や畑で平坦な地形となっているが、本来の地形は概ね西から東への緩やかな傾斜地と思われる。今年度は、平成8年度の1、8、9区と10区の間にあたる地区的調査を実施した。調査区は近年の開墾などによる削平が著しく、表土直下が遺構面となっているところが多かった。1区では弥生時代の遺構面を2区では中世の遺構面（一部では弥生時代と2面あった）を検出した。主な遺構は土坑や柱穴と竪穴住居跡である。

竪穴住居

SB1002

1区（平成8年度9区北）の中央部やや西より付近で検出された。平面形状は直約4.0mのやや不整な円形を呈し、上面部は削平をうけていると思われるが、北方部の最深分では約0.3mを測る。検出面上より小型の鉢と覆土中より高杯がそれぞれ1点ずつ出土している。時期は弥生時代後期と考えられる。

出土遺物

縄文土器、サスカイト製石器、弥生土器、土師器、須恵器、陶磁器、錢貨等と多種類で多時期に及ぶ。遺物包含層が削平を受けていたため完形品や遺物点数は少なかった。

まとめ

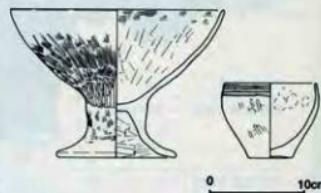
平成8年度の調査では縄文時代、弥生時代の遺構・遺物と鎌倉時代の鍛冶遺構を中心とした集落の一部を検出している。今回の調査では、全体に激しい削平を受けていた調査区が多く、あまり良好な遺構・遺物は検出されなかつたが、弥生時代と中世の遺構面の拡がりの確認と資料の追加は得られた。（佐野）



1 調査地点の位置（脇町）



2 1区竪穴住居跡（SB1002）完掘状況



3 出土遺物

にし ばら 西 原 遺 跡

所在地 三好郡三好町足代字西原770番地他

調査期間 1997年4月3日～6月30日

担当者 谷 大橋

調査概要 調査地は吉野川北岸の標高75～80mの河岸段丘上に、黒川原谷川によって形成された扇状地の扇端部で、吉野川からの比高差約15mに位置する。周辺には、調査区から北北東約500mに、弥生時代の墳墓跡として知られる足代東原遺跡が、同一段丘上で約15m高い部分に位置する。今回の調査では、弥生時代後期初頭の竪穴住居跡2軒と約100基の土坑、約1000基の柱穴を検出した。特に調査区の東側では、前年度に検出された弥生時代後期初頭から終末期の集落の西端を確認した。さらに調査区西側では、中世の土坑、柱穴、溝状遺構を検出したが、掘立柱建物などは確認されなかった。

SK1001 今回の調査区において、最も北側で検出さ

SK1002 れた土坑で、南北に重複していた。それぞれの長軸は約1～1.5mで、弥生時代中期末の遺構であると考えられる。出土した遺物は、ほとんどが土器の体部破片であった。また、サヌカイト製の石槍、緑色片岩製の石斧の欠損品が出土し、廃棄土坑であったと考えられる。

まとめこれまでの調査の結果、西原遺跡は弥生時代中期末から形成されはじめ、それ以降は西側へ集落域が拡大している事が明らかになった。中世の遺構と考えられる柱穴群は、掘立柱建物跡は検出されなかったものの、明確な柱痕がみとめられ、何らかの構造物の存在を示している。このことから、ある程度の期間、集落が存続していたものと考えられる。

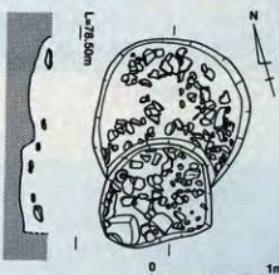
(大橋)



1 調査地点の位置（池田）



2 調査区全景



3 SK1001・1002遺物出土状況

えん つうじ 円通寺 遺跡（小山地区）

所在地 三好郡三好町足代字小山

調査期間 1997年4月3日～11月25日

担当者 市原 江 高橋 九十九 常村 宮本(明) 姫尾(健)

調査概要 円通寺遺跡（小山地区）は吉野川上流域、美濃田の淵と呼ばれる結晶片岩の露頭地帯に面した標高88m前後の河岸段丘上に位置する。調査地一帯は通称「ドイノダン」と呼ばれ、碑には城跡ともあることから城館跡の可能性を想定して調査にあたった。調査の結果、一辺50m前後の方形区画溝に囲まれた屋敷地とその外側に延長200mにわたり巡らされた堀と土塁の一部を検出した。これにより、遺跡は鎌倉時代から室町時代にかけての居館であり、特に室町時代以降大規模な拡張を行い、堀と土塁を伴う城館跡として機能したものであったことが明らかになった。

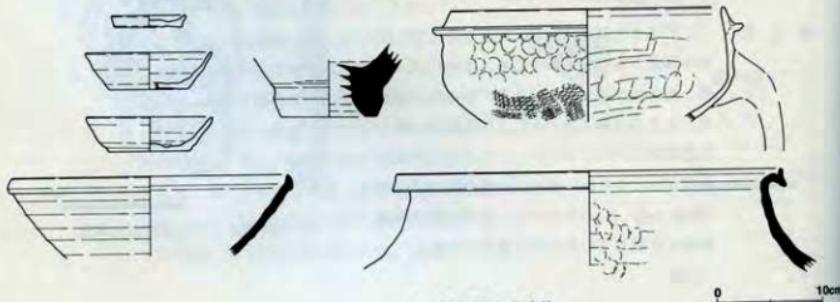
区画溝 調査区中央部で検出した。幅1.3～8.8m、SD1002 深さ0.7mを測り、断面形は概ね逆台形を呈1004 る。一辺44～48mの方形に巡る溝で、東側は1005 削平により途切れ気味である。方形区画内部1007 には四面庇を持つ2×5間の建物跡をはじめとした掘立柱建物跡10棟以上、土坑、池状遺構等を検出した。区画溝内の出土遺物には土師質土器杯 小皿 鍋 釜、東播系こね鉢、



1 調査地点の位置（池田）



2 小山地区全景（北より）



3 区画溝出土遺物

常滑窯窯、備前窯捕鉢、青磁碗、白磁四耳壺、などがあり、13世紀半ば～15世紀にかけての存続年代が考えられる。

池状遺構

SX1005

区画溝 SD1005の中央部で検出した。一辺約5.2m、深さ0.4mの方形の土坑である。北辺中央部から幅約0.6mの小溝が北に向かい区画溝（SD1007）につながっている。埋土は底部から厚さ20cm余りが青灰色の粘土であり、滲水状況にあったことがわかる。完形の土師質土器類 小皿が多数出土している。

火葬墓

ST1001

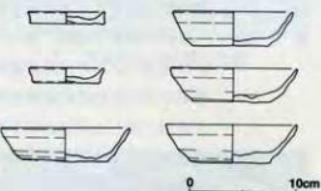
屋敷地の東北隅で、一部区画溝に重複するかたちで検出した。高さ約0.4m、一辺約5m方形に盛り土を施し墳丘としており、周囲に50cm大の結晶片岩を敷き並べ方形の基壇状を呈する。中央部には結晶片岩板石を組み合わせた小石室を設け藏骨器を埋納している。藏骨器には中国産褐釉陶器四耳壺を転用しており、埋納に際しては壺の上半部を打ち欠いて下半部に火葬骨を納め石室内に安置し、周囲を土で固定した後、打ち欠いた上半部を蓋として用いている。さらに石英質の白色円礫や結晶片岩円礫でこれを覆い、その上に50cm角の結晶片岩を据え石室の蓋としている。この後墳丘全体を白色円礫と結晶片岩円礫で覆っている。こうした被覆礫や小石室を取り除いた段階で、墳丘中央部に長軸2.1m、短軸1.3m、深さ約0.22mの不整指円形の焼土坑を検出した。焼土坑は壁面が強く焼け締まっており、床面に焼土塊、炭化物、骨片の堆積がみられた。火葬墓造営前の火葬施設と考えられる。時期は現時点では区画溝との重複や出土した遺物などより15世紀代と考えている。

堀と土塁

地表観察によると土塁は区画溝に平行して、西の子守谷川に面した斜面から東西およそ100mにわたり確認できる。また堀は現在の水田の区画や地籍図を見る限り、延長およそ200mに達するものと推定でき、屋敷地の北側と東側に構築されている。これにより、屋



4 SX1005遺物出土状況



5 SX1005出土遺物



6 ST1001全景



7 ST1001小石室

敷地は概ね100m四方の方形の区画とその東側に東西40m、南北50mの小区画が付属する形をとる。今回の調査では、この堀と土塁の内、およそ90mについて調査できた。堀の幅は約5m、深さは場所により異なるが約2.4~3mを測る。土塁の幅は約7~8m、高さは現存で約1.4mとなり、堀底から土塁上間での比高差は5m以上あったものと考えられる。堀と土塁の構築時期は、堀底部付近の出土遺物より、15世紀後半、城館を含めた全体の廃絶時期は遅くとも16世紀前半頃と考えられる。

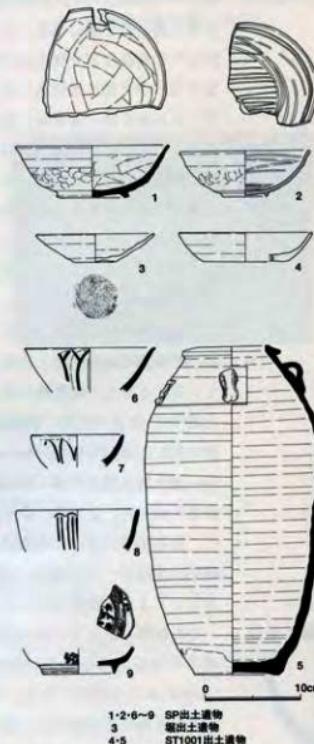
まとめ

今回の調査で確認できた円通寺跡の城館には大きく2つの段階が認められる。まず13世紀半ばから15世紀前半の時期。この段階に吉野川に面した段丘上に方形の区画溝を伴う屋敷地が形成される。当時の三好町足代地域は源頼朝により、元暦2(1185)年に石清水八幡宮に寄進された荘園、三野田保の比定地であり、遺構の規模や出土遺物などから考えると三野田保の荘官あるいは地頭クラスの居館であった可能性が指摘できる。また遺跡の南側を流れる吉野川一帯は岩礁地帯であり、地形を利用した開所の開設による水運の掌握を意図した選地といった面も考えられる。

続く15世紀後半~16世紀前半の段階には堀を掘削し、土塁を築くなど大規模な拡張工事をを行い、城館と呼ぶにふさわしい外観を呈する。15世紀後半の阿波国内は広く内乱状態にあったことが『東寺過去帳』、『大乘院寺社雜事記』などの古文書で確認でき、軍事的緊張の高い時期であったと考えられる。当城館もこうした背景の下、自らの利権を確保するために、より防御機能の高い構造へと変貌したものと捉えられる。今回の調査は、阿波国内における城館の変遷過程を知る上で貴重であるが、今後遺構配置の分析や文献資料とのクロスチェック等を通じて更に検討を深める必要があろう。(辻)



8 土塁断面



9 出土遺物

土井遺跡

所在地 三好郡三好町豊間字土井1101 1他

調査期間 1997年4月3日～1997年9月22日

担当者 原 大北(和) 久保 北條 喜枝 丸岡

調査概要 本遺跡は、吉野川北岸の標高96m前後の平坦な段丘上に占地している。調査の結果、古墳時代～中世にかけての遺構・遺物が出土し、主体となる時期は鎌倉時代と判明した。出土遺構には掘立柱建物跡のほか、煙管状土器焼成窯や灰原が出土した。また「日本城郭大系」によれば、調査地点の南側の小高い丘に中世期の東豊間城が存在していたと伝えられている。

SK1036 煙管状土器焼成窯 調査区北西隅で出土した小型の煙管状土器焼成窯である。出土遺物から時期的には12世紀後半～13世紀初頭頃と思われる。前部および灰原は一部残存しているが、搅乱のため全容は不明である。平面プランは瓢形を呈し、現存長で145cm、現存最大幅は120cmを測る。

窯体の平面プランは梢円形を呈し、検出面での内径は長軸41cm、短軸27cm、窯壁を含めた外径では長軸50cm、短軸41cmではほぼ円形を呈する。底径は長軸40cm、短軸21cmで上面に比べやや小さめで、窯体は上方にやや広がるように延び、窯体の形状は、窯壁が直立する円筒状を呈する。窯壁は粘土を貼り付け成形し、床面から24cm残存している。

窯は平坦な地山を掘り込み半地下式に構築される。上部構造については、削平をうけ消失していると考えられ不明である。焚口部から焼成室に連なる部分はトンネル状に掘り抜き構築され、焼成室の横断面形は方形を呈する。焚口から焼成室に向かっての床面はほぼ平坦ではあるが、わずかに焚口側が低く若干の傾斜がみられる。窯壁は上方に拡がって赤色に熱変化し、最も内側は高温のため青灰色に還元していた。床面は炭化物層が薄く堆積し、あまり被熱していなかった。



1 調査地点の位置（池田）



2 SK1036全景



3 SK1036ロストル出土状況

また円筒状の窯体内上位からは被熱した結晶片岩の礫が出土しており、これは窯体の燃焼部と焼成部を区画するロストルとして利用されたものと思われる。

SX1002 灰原 調査区北西隅、SK1036の北側に隣接して検出された灰原と思われる土器溜まり遺構である。検出時点では南北5.0m、東西7.0m程度の不整形な平面プランを呈し、断面形は偏平なD字状で深さは最深部で30cmを測り、土器片のはか灰壁と思われる焼土塊や炭化物が多く量に堆積していた。また土器分布の集中が2ヶ所に分かれることから2基の灰原が存在していたと推定される。時期的には出土遺物から12世紀後半～13世紀初頭頃と考えられる。

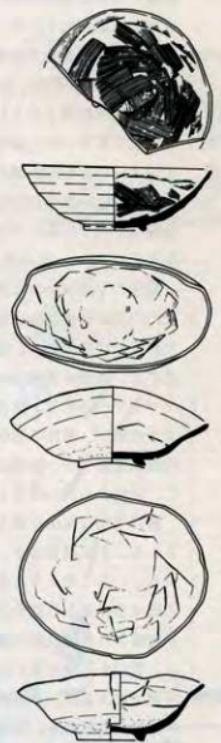
出土遺物 主な出土遺物には西村系須恵器碗 土師質土器碗 杯 血など供膳具が主体的となっている。西村系須恵器碗では成形が粗雑なものと精致なものとに大別される。技法的には外面ナデ、内面ハケが施されるものや内外面ナデ ミガキが施されるものなど様々である。

時期的には微差が見られるが、概ね12世紀後半～13世紀初頭頃に位置付けられよう。

まとめ 当初、近接する東昇間城に関連する遺構遺物の出土が予想されたが、それらを積極的に裏付ける資料はみられなかった。本遺跡出土の煙管状焼成窯は本県においては5例目の土器焼成窯であり、当該期における土器の流通生産を示す貴重な資料となろう。窯本体の構造については天井部を粘土等で被覆する閉塞窯と推測されるが、開放構造の酸化焰焼成の開放窯の可能性も考えられるため現時点での即断は避けたい。また生産遺構と併存する居住遺構（建物群）の規模や数については現段階では詳細は不明であるが、今後、遺構の構成や窯の操業形態など集団の性格及び窯の構造等、検討課題については本報告で明らかにしていきたい。（原）



4 SX1002全景



5 SK1036・SX1002出土遺物(西村系須恵器碗)

おお がき 大 柿 遺 跡

所在 地 三好郡三好町大字昼間字カワラケメン他

調査期間 1996年4月3日～1997年3月25日

担当者 松永 宮谷 市原 高見 市村 谷 橋谷 伊丹

瀬部 中島 白井 藤本 大北(恭) 笠井 中川 寒川 高柳 森

本 横田 真鍋 加藤 妹尾(健) 佐野 辻 有月 常村 宮本

(玄) 牧野 井利元 元村 石井 北條 喜枝 福良 久保監 氏

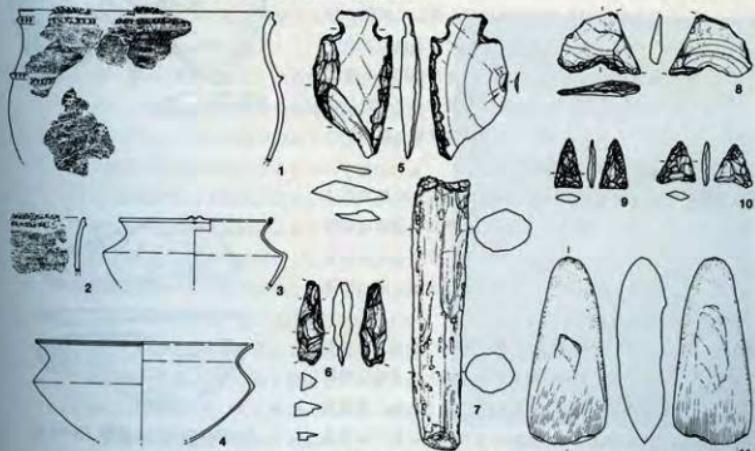
家 原 栗林 大北(和) 田川 大橋 畠田 妹尾(真) 嶋山

調査概要 大柿遺跡は三好郡三好町大字昼間遺跡字カワラケメン他に所在する。昭和49、50年に吉野川北岸農業水利事業に伴い徳島県教育委員会によって発掘調査が実施され弥生時代前期末、古墳時代後期、古代末の集落であることが確認された。特に阿方式土器が出土したことから徳島県西部を代表する弥生時代の遺跡として知られてきた。

当遺跡は吉野川北岸の三波川結晶片岩の基盤上に堆積した沖積低地堆積物によって形成された標高約80mの中洲性微高地に立地する。微高地の北側には喜来谷川を挟んで阿讃山地からの扇状地が、東側には金江谷川を



1 調査地点の位置 (池田)



2 縄文時代出土遺物 1~4・7:s=1/6 5・6・8・11:s=1/3 9・10:s=2/3

挟んで比高差約10mの河岸段丘がある。西側は小川谷川と吉野川の合流点となる。これらに囲まれた微高地全体に遺跡は拡がり、東西約1.5km、南北約400m、推定範囲は約50ha以上である。遺跡が立地する微高地は現在でも中央部付近がやや低く、南側には旧自然堤防沿いに小谷が入っていることから、旧地形においては二つの微高地から構成され、中央部には喜来谷川の支流が南流していたと想定される。

調査の結果、縄文時代後期初頭、縄文時代晚期、弥生時代前期末～中期初頭、弥生時代後期後半、古墳時代後期、平安時代末～鎌倉時代、中世の遺構、遺物が確認された。

第10遺構面

第10遺構面は縄文時代の遺構面である。当該期の遺構は西側微高地上を中心に検出された。検出された主な遺構は、石鋤埋納遺構、廃棄跡、土坑、流路等である。

石鋤廃棄土坑 SK10001

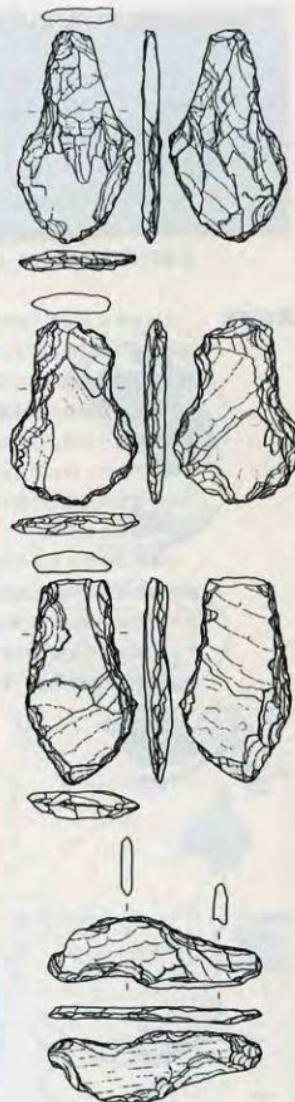
2-2区(鳥井地区)微高地南側縁辺において確認された、長軸1.1m、短軸0.6m、深度20cmの梢円形を呈する。土坑掘削後、掘方縁辺に沿って石英円礫、砂岩円礫や敲石、欠損石棒等を配している。これらの内側に結晶片岩製石鋤をほぼ水平に積み重ねた状態で29点出土した。石鋤は一番上に置かれた1点を除き何れも欠損している。また使用痕も確認されたことから使用後に埋納したと想定される。なお、石鋤の主軸は土坑主軸とほぼ平行していることも興味深い。

第9遺構面

第9遺構面は弥生時代前期末～中期初頭にかけての遺構面である。当該期の遺構は鳥居前地区及びカワラケメン地区を中心に検出された。検出された主な遺構は水田、溝、住居跡、土坑等である。

水田

水田遺構は二つの微高地をつなぐカワラケメン地区旧自然堤防北側谷地と鳥井地区西側微高地南側斜面において検出された。北側谷地で確認された水田は東西方向に延びる谷地

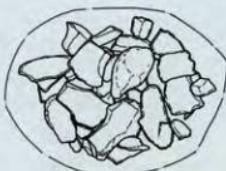


3 SK10001出土遺物 (S=1/4)

の緩傾斜に營まれている。水田は厚さ約30~50cmの洪水砂に覆われており、洪水砂を除去すると灰黄褐色シルト質土の畦畔と水口が確認された。更に各区画内の洪水砂を除去することにより稻株痕、足跡、鋤跡等が検出された。水田遺構は洪水砂で覆われていたためにこれらの痕跡は非常に良好な遺存状態で検出されたが、畦畔沿いの杭跡や矢板跡等は確認されなかった。水田は緩傾斜地に開田されているために等高線に沿うように約20m毎に約20cm程度の段を設けている。これが大畦畔に相当すると考えられる。この区画内を更に低位段内では南北5m弱毎、東西方向約3m毎に畦畔を設けて小区画としている。この小区画は上位段に移るほど縮小傾向になる。また、最上段の用水路から水田水口付近にかけての区画は扇状に区画されている。

一方、微高地南側に抜がる水田は「棚田」として開田されている。最下段は吉野川の後背湿地状の緩傾斜地にあたると想定されるが、棚田2段目以降の平均傾斜率は1/8である。こうしたことから旧地形においては微高地縁辺は段丘状の地形をしていたと想定される。

棚田は南北方向に5段確認された。各段差(ハバ)高は約50cm程度である。1、2段目は幅約4~5mの棚田となる。この段が大区画に相当し、東西方向約10m毎に畦畔を設けて区画している。3段目以降は幅約2m以下の細長い棚田となる。上段になるにつれて棚田の南北方向幅が狭まる傾向が認められる。これは開田前の旧地形の制約によるものと考えられる。棚田の大区画内においては東側小区画と西側小区画では東側が高いことから東から西に向かって分水し、更に上段から下段へと分水していたと推定される。この棚田と自然堤防北側の水田は、用水路を共用していることから同時存在していたと推定されるが、開田に後者が先行した可能性がある。



4 SK10001石鉢埋納遺構 (S=1/30)



5 弥生時代前期末棚田完掘状況



6 弥生時代前期末棚田完掘状況

水 路

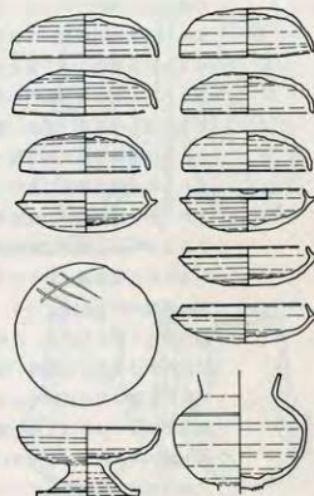
鳥井地区微高地東側において確認された。微高地東側縁辺部を直線状に北から南に向かって流れしており、微高地南東側縁辺部において二股に分岐する。片方はそのやや西方向に向きを変えて西側の棚田に分水する。もう片方は微高地から旧自然堤防の尾根に沿って掘削されている。本線部推定上端幅150cm、底幅60cm、推定深度80cmを測る。なお、この水路の水源は、吉野川本流とは考え難く、遺跡の立地する微高地の北側を東流していた埋没河川（旧喜来谷川）と考えられる。

第7遺構面

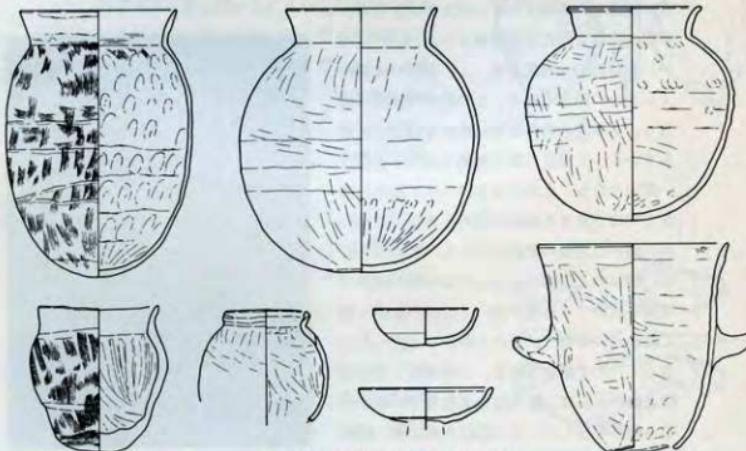
第7遺構面は古墳時代後期の遺構面である。当該期の遺構は調査区全面において確認されている。昨年度調査分と併せて竪穴住居跡280軒、掘立柱建物跡40棟、鍛冶工房2棟、土坑、土壤、溝、水田等が確認された。

鍛冶工房

SB7036 カワラケメン地区において確認された。東西4.7m、南北3.4m、北壁中央部に造り付け竈を持つ竪穴住居跡である。4本柱構造で貯蔵穴は伴わない。竈左袖前面に鍛冶炉が構築されている。鍛冶炉東側約50cm離れて人頭大の砂岩平石が2点検出された。炉東側から専



7 古墳時代出土須恵器 (S=1/5)



8 古墳時代出土土師器 (S=1/6)

用羽口が出土した。羽口は差込み角度を一定にするための粘土製台から転落した状態で検出された。砂岩平石の間に礪が設置されていたものと推定される。炉周辺からは鍛造剥片や粒状滓が出土した。共伴した須恵器からTK209式併行期の年代を与えることが出来る。

噴砂 大坪地区の古墳時代後期の水田面において確認された。浅黄色シルト質土の水田土壤に東西約16m、南北約16mの範囲に砂粒を含む灰黄色シルト質土が網目状に拡がった状態で検出された。噴砂は幅20~40cmである。噴砂が検出された水田に伴う溝からTK209、TK217式併行期の須恵器が出土していることから、当該期を上限とし、さらに上面水田に伴う溝からTK48式併行期の須恵器が出土していることから、当該期を下限とすることが出来る。

第3遺構面 第3遺構面は古代の遺構面である。当該期の遺構面は調査区全面において検出されているが、殆どは水田遺構である。しかし、カワラケメン地区を中心に土師器焼成土坑や掘立柱建物跡等から構成される集落が検出された。

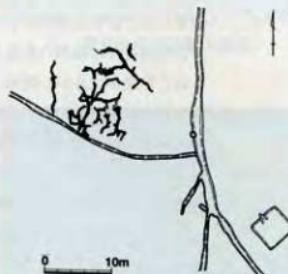
土師器焼成土坑 カワラケメン地区において検出された。長軸120cm、短軸110cm、深度30cmの隅丸方形を呈する土坑である。床面には土師器鍋を8cm角に割り、焼成台として使用している。東壁面及び南壁面、南東側床面が被熱により赤変している。出土遺物から11世紀後半の年代を与えることが出来る。

まとめ 97、98年度と70年代の調査により、大柿遺跡は東西1.2km、南北500mの範囲に拡がると推定され、縄文時代後期から近世にわたる徳島県下最大級の遺跡と判明した。

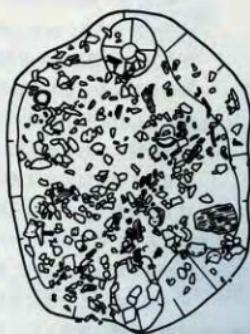
今回の調査では縄文時代に関しては、晩期を中心として遺構・遺物が検出された。しかし、微高地中央部には後期初頭の遺構面が拡がると推定される。晩期の遺構・遺物としては、石鋤埋納遺構と石器組成において高い比率を占める比率が注目される。徳島市三谷遺



9 古墳時代銀冶炉検出状況



10 大坪地区 SI7001噴砂検出状況



11 土師器焼成土坑遺物出土状況 (S=1/20)

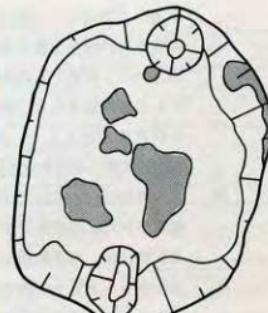
跡に先行する時期の大柿遺跡において石鉢が出土したことは縄文時代晩期における生業を検討する上で重要な資料となる。

弥生時代では前期末の水田遺構が注目される。従来、水田遺構は、一般的に中小河川沿いの沖積平野に確認されており、比較的緩やかな平地に小区画水田として形成されていることが通有である。今回確認された大柿遺跡のように大型河川に面した後背湿地や微高地傾斜部を棚田状に開田する方法は、確認されておらず、開田技術 水利技術 選地等を検討する上で新たな資料として評価できよう。

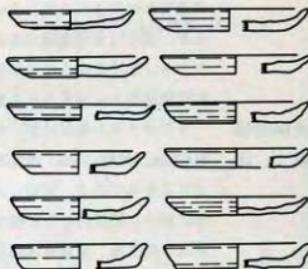
古墳時代では後期の集落と生産遺構が確認された意義が大きい。従来、徳島県下では、調査数が限定されていたこともあり、墳墓としての古墳研究が中心であった。しかし今回、竪穴住居跡280余軒、掘立柱建物跡40余棟、土壙墓、区画溝、水田遺構等が検出されたことにより、集落構造、土器編年等を検討する上での基礎資料を得ることが出来たといえる。今後確認されるであろう古墳時代集落と併せて検討することにより、徳島県における古墳時代研究の進展に寄与すると期待される。

古代の遺構では土師器焼成土坑と周辺の掘立柱建物跡が注目される。これらの遺構は約1400m²の狭い範囲に密集しており、生産工房の可能性がある。生産工房は県下では、神宮寺遺跡、土井遺跡でキセル窯が、田上遺跡(II)、薬師遺跡においても窯跡が確認されているが、何れも12世紀後半以降である。今回の土師器焼成土坑はこれら構造的な窯が西日本各地に普及する前段階の生産遺構であり、在地における土師器生産の実態と流通の実態を明らかにする上での好資料といえる。

中世では、大柿遺跡は、西園寺氏の「田井荘」の一部であったと推定される。荘園内の生産遺構と集落が確認されたことにより、中世の村落景観を復元する上で参考になろう。(栗林)



12 土師器焼成土坑完掘状況 (S=1/20)



13 土師器焼成土坑出土遺物 (S=1/3)

坊 遺 跡

所在地 三好郡井川町字西井川214-1他

調査期間 1997年4月1日～5月23日

担当者 横田 寒川

調査概要 本遺跡は、四国山地北麓吉野川上流域右岸標高約106mを測る河岸段丘上に位置し、横谷である里川谷と諏訪谷の間に立地する。調査区の東側には弥生時代～中世にかけての遺構、遺物が検出された相知、井上遺跡両遺跡が、また西隣の池田町にはウエノ遺跡等の弥生時代の遺跡が点在している。

調査地は僅かに南北に延びる形で設定され、総面積は300m²である。今回の調査で検出された主な遺構・遺物は、柱穴3基、性格不明遺構1基、木炭焼成窯1基、古代～中世の土器、近世の磁器等である。

不明遺構
SX1001 調査区南で検出した北東～南西ベルト13.1m北西～南東ベルト11.2m、深さは最深部0.6mを測る土坑状の遺構である。埋土中より土師質土器片、須恵器片等が出土している。

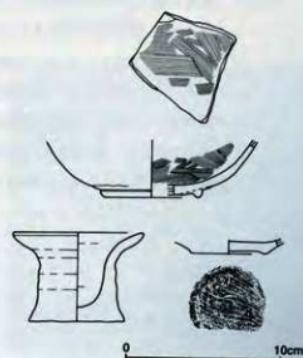
炭窯
SO1001 長軸約7.1m、短軸約1.5m、深さ約0.2mを測る土坑である。平面形は隅丸長方形で、東側は丸く西側は肩の張る形になっており61×80cmの半円形突出部をもつ。煙道(焚口)に位置する小ピットは検出されなかった。長軸方向はN86°Eでほぼ東西方向に向いており、東西底面レベル差は約25cm、平坦な坑底で東方向に緩やかに登るが、西端突出部の底面のみが深さ10cm程の落ち込みをもつ。坑底には焼土が全体的に広がるが、特に突出部から中央部にかけて多く見られる。壁面にも部分的に燃焼痕跡を止めるが突出部の落ち込みには見られなかった。覆土は1層で全体に炭化物が充満しており、10～30cmの礫が放り込まれた状態で検出された。覆土中は礫、炭化物以外の出土遺物は皆無である。(横田)



1 調査地点の位置（池田）



2 SO1001完掘状況



3 出土遺物

須賀遺跡

所在地 三好郡井川町西井川101 1他

調査期間 1997年5月16日～10月3日

担当者 横田 寒川

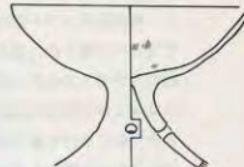
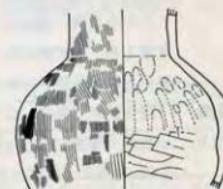
調査概要 本遺跡は、吉野川上流域右岸の河岸段丘上に位置する。調査地は東西に延びるかたちで第1～第3調査区が設定され、総面積は3,180m²である。調査地の近辺北東部には、玄門立石をもつ後期古墳の須賀古墳が、また、西側には縄文時代の岩陰遺跡として知られる山田（I）遺跡が存在する。

現地表面の標高は106.8～108.3mを測り、調査前の現況は高低差のある3段に分けられた畑水田として利用されていた。今回の調査で出土した遺構、遺物は若干の古代～近世関係の遺物が認められる他は、すべて弥生時代に属するものであり、検出された主な遺構は、SK38基、SP85基である。そのうち遺物が出土したのはSK7基、SP4基であった。

調査区東の遺物包含層には弥生時代後期の壺、甕などが比較的多く出土したもの、層厚は一定しておらず、流れ込みの可能性も否定できない。したがって安定した包含層とは言い難いが、讃岐地方の搬入品と考えられる壺形土器が5点出土しており当時の物流システムを明らかにする上で、貴重な資料と言えよう。図化できる遺物は壺形土器約50個体、甕形土器約250個体、鉢形土器約20個体、杯皿碗類約20個体等であった。（横田）



1 調査地点の位置（池田）



0 10cm

2 出土遺物

縦貫道関連試掘調査

所在地 発掘調査一覧表参照

調査期間 発掘調査一覧表参照

担当者 谷 大橋 佐野 瀬部

荒川遺跡 1996年度調査の10区の東側と西側の試掘調査を実施した。西側は開墾などによる擾乱削平が著しいため本調査の必要はないものと判断した。東側は10区の遺構面を形成していた土層を確認できた範囲に絞って本年度直ちに本調査に移行実施した。

馬路遺跡 吉野川の支流馬路川の北岸標高250m前後の傾斜地に位置する。調査区内には西岡城跡と伝えられる独立丘陵とわずかな平坦地があり、丘陵上には集石墓がある。近年の開墾などによる削平が著しく遺構等は確認できなかつたので、丘陵上の集石墓とその周辺部に範囲を絞って本調査を行う必要がある。

高毛遺跡 吉野川の支流馬路川の北岸、阿讚山地西端部の尾根状の地形で、標高は約320mを測る。現況は池田町の共同墓地となっており、近世～現代の墓跡が確認されている。遺物包含層や遺構面等も認められず、本調査の必要はないものと判断した。

森常遺跡 高毛遺跡の東隣、馬路川の支流を挟んだ尾根状の地形で、標高310m前後を測る。表土層下は山土の押し出し層と地山層である。近世～現代の土葬墓等が確認されたが調査対象となる遺構や遺物の確認はなく本調査移行の必要はないものと判断した。

林遺跡 阿讚山地西端部、馬路川に向かって傾斜する地形を呈し、標高263～273mを測る。当調査地東隣の地点に佐野城主居宅跡の存在が確認され、No10トレンチ及び拡張部のみに中世の遺構（柱穴10基土坑4基）の確認と土師質土器・瓦質土器数点の出土があった。他の部分への拡がりはないものと考える。（佐野 谷）



1 調査地点の位置 (脇町)
①荒川遺跡



2 調査地点の位置 (池田・觀音寺)
①馬路遺跡



3 調査地点の位置 (觀音寺・伊予三島)
①高毛遺跡 ②森常遺跡 ③林遺跡

四国横断自動車道関連試掘調査

所在地 発掘調査一覧表参照

調査期間 1997年4月3日～1998年3月31日

担当者 久保 牧野 志磨 梶尾 小延 中南

唱谷遺跡 阿讃山地の山中、三方を山に囲まれた標高80mほどの傾斜地に位置する。調査地の現況は、石垣や擁壁で仕切られた何段かの段丘となっており削平が著しい。調査はこの段丘を上・中・下の3段階でトレンチを開口したが、遺物点数は少なく、近世以降の陶器類が殆どであり自然堆積層が残されている部分についても遺構は検出されなかった。(久保)

閑柱遺跡 阿讃山地の南麓、県道徳島引田線沿いの標高32～42mほど緩傾斜地に位置する。調査地は、ほとんどが水田・畑地であり、幾つもの擁壁や石垣で仕切られた段丘状の地形を呈する。調査の結果、遺構は検出されず、特筆するような遺物も出土しなかった。(牧野)

中谷山古墳群I 阿讃山地の南斜面で吉野川北岸の標高60m前後の山地であり、眼下に板野町・徳島市が一望できる位置にある。地形は山の尾根に沿って、東西15m、南北100mに広がり、調査区の山頂と思われる所に祠がある。

地下レーダー探査をもとに可能性の高い4か所を重点的に調査した。結果、石列が確認され、遺物も数片出土していることから、横穴式石室(古墳)が存在すると思われる。(中南)

大坂西谷遺跡 阿讃山地の南斜面で吉野川北岸の標高95m前後の盆地に位置する。地形は、東西に150m、南北に400mに拡がり高低差が約11mと激しい。現在の大坂地区は、谷あいの地形で段々畑を形成している。トレンチを開口したところ床土から下層は、調査区全体から30cm大前後の礫混じりの礫層がグライ化した粘土層であった。遺構が存在しそうな自然堆積層は確認できなかった。(中南)



1 調査地点の位置 (三本松・川島)

- ① 大坂西谷遺跡
- ② 唱谷遺跡
- ③ 閑柱遺跡
- ④ 中谷山古墳群I

かん のん じ 觀 音 寺 遺 跡

所在地 徳島市国府町觀音寺

調査期間 1997年4月2日～1998年3月25日

担当者 (第1分割) 志磨 元木 楠尾 中南 小延 福田

(第2分割) 武市 下内 吉田(博) 藤川

調査概要 本遺跡は、鮎喰川左岸の標高約6～8mの沖積地上に立地する。路線延長600m余りを県道神山・国府線によって二つに分かれ、南を第1分割、北を第2分割として調査を実施した。

第1分割 第1分割では、おむね二枚の造構面が検出された。第1造構面は古代～中世にかけて、第2造構面は弥生時代のものである。

中世の遺構 2区の中世の遺構は、南北30mのL字形にめぐる溝によって区画された範囲内に密集した状態で検出された。区画内の遺構は、掘立柱建物・井戸・土壙墓・方形の大形土坑などからなる。

そのうち、掘立柱建物は400基以上の柱穴が検出され、7棟以上の建物を構成する。

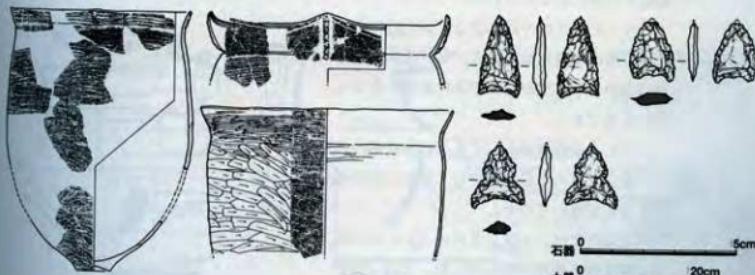
建物群の東側に隣接して井戸が築かれていた。井戸側には結晶片岩の板石を積み、水溜めには、曲物を用いている。土器の他に曲物を用いた柄杓や植物遺体、動物遺体が出土した。木片には「急々如律令」の墨書きがある。



1 調査地点の位置 (川島)



2 調査区の配置



3 縄文時代の遺物

土塙墓は区画内の西半に集中する傾向がみられ、40基を上回る。長方形プランを基本とし、主軸は東西あるいは南北に抑えられる。法量は平均で長軸1.2m、短軸0.5mを測る。深さは20~30cmと浅いものが主流であるが、1mを越えるものもまれにみられた。土塙墓は密集が著しい場合には、3基~10基が重複して重なって検出される。

出土遺物が少ないが、15世紀前半の年代が与えられる。

古代の遺構はまとまりに欠け、広い範囲で点々と確認される程度であった。飛鳥時代の溝からは、7世紀前半の土器が出土し、うち1点の土師器杯の外面には、焼成後に「不」字らしい線刻が施されている。

弥生時代の遺構
弥生時代の遺構は調査区の南半に分布し、竪穴住居16棟が2~3~4区において検出された。これらの多くは、一辺4m以下の小形のものであり、柱穴などの施設が確認されず、中央部付近に焼土が面的に拡がっている。

竪穴住居跡
3区1号住居は、長辺5.1m、短辺4.6mの隅丸方形のプランを有する。床面中央には炉があり、周壁溝がめぐる。主柱穴は4基で構成され、建替えが行われている。柱穴内側には、白色粘土を用いた貼床施設がある。床面直上のものも含めて、壺、甕、鉢などが出土した。形態や凹線文の退化から、弥生時代後期前半の年代が与えられる。

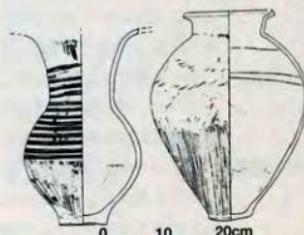
こうした住居群の以北では、弥生時代の遺構の密度は極端に減少する。矢野遺跡から一連のものとして拡がる弥生時代集落の北限を示すものである。

ただし、集落外であっても土器棺は築かれている。4区の土器棺墓では、完形の壺を横倒しにして用いていた。

縄文時代では、3区~5区においてわずかな土器を伴う遺構が検出された。土器は貝殻条痕を体部に施す深鉢であり、晩期前葉に位



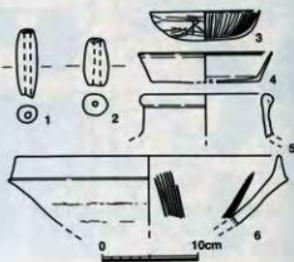
4 弥生時代の竪穴住居群



5 第1分割出土弥生土器



6 中世土塙墓群



7 第1分割古代~中世の遺物

置づけられるものである。

第2分割

第2分割では、遺構面は1面で古代を中心とする。2区 5区 6区 8区で、平安時代の柱穴、溝、土坑などが検出された。遺構の検出密度は濃厚であるが、重複の度合いは低い。現状の段階では、掘立柱建物などの復元には至っていない。

これらの遺構内では、概して遺物の出土量が多く、柱穴内では柱の抜き取り後に意図的に埋納したものが目を引いた。また、柱穴内に赤色塗彩した杯を中心に十数個体を立て並べたものもみられた。

自然流路 SR1001

自然流路(SR1001)は1区 3区 4区 7区を縱断する大規模な自然流路である。木簡をはじめとする大量の遺物が出土した。幅約20m、延長は調査区内だけで約150mを測る。蛇行しながら、南から北へ流れる。

堆積状況

堆積は、大きく三層に分かれる。上層は流路埋没後の堆積であり、流路の埋土の圧縮に伴って陥没した砂性の強い層位である。瓦の出土数が多く、青磁や緑釉陶器も含み、平安時代に年代の中心を置く。木製品の遺存状況は悪い。中層はシルトを中心とする層で、有機質の保存状態がよい。遺物の出土状況は廃棄された状態をとどめている場合が多い。遺物は小形品が多い。7世紀中頃以降の年代に相当し、木簡の多くはこの層位に含まれる。

下層は砂 砂砾を中心とする層であり、洪水



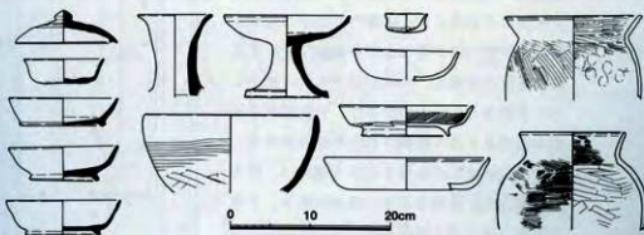
8 SR1001実掘状況（北より）



9 SR1001の堆積状況



10 木簡の出土状況



11 「己丑年」木簡と共に伴う土器

砂のような土質ではあるが、流量はさほど大きくなない。遺物は大形品の遺存が良く、完形品の土器も多い。土砂とともに多少の距離を移動している。6世紀末以降の年代に相当し、「論語」を記した木簡はこの層位からの出土である。全般的にみると、層序の大きな乱れはなく6世紀末以降の約200年間を、20~30年ごとの単位として把握することができた。

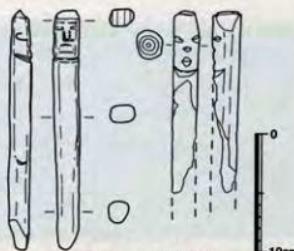
遺物出土 状況

中層をはじめとして、祭祀遺物の集中する地点が数カ所にわたって確認された。7世紀末の事例では、斎串を中心とする木製祭祀具の集中が検出された。斎串は長大なもの 幅の広い中くらいのもの 幅の広い短いもの 幅の細い短いものがそれぞれ数本ずつで構成される。斎串はいずれも向きを揃え、束ねた状態であったために、廃棄状態であることが認定された。数m離れた地点では、馬の頭骨が上顎と下顎とに分けて安置されており、祭祀に伴って解体が行われたと考えられる。

7世紀初頭の層位では、砂層の間層として堆積したシルト層内で、土師器壺に斎串を突き刺したかのように端部を揃えているのが確認された。山形県俵田遺跡の9世紀の事例と共に通する手法であり、年代的に大きく遡ることが判明した。その他にも、舟形木製品を中心に構成する組合せなども確認されるなど、多様な祭祀の状況を示している。

一方、下層では、砂層内で出土する遺物は、種別や集中の度合いに規則性は乏しい。

木簡はその多くが、中層内で出土したが、廃棄の状況には不明な点が多い。7世紀末以降の層位の木簡は、木簡が示す年代と出土レベルが整合しないものがあり、一定期間を経た木簡がまとめて廃棄された可能性がある。また、代制表記の田籍を記す木簡では、横方向と縦方向に鋭利な刃物の痕跡があり、丁寧な廃棄方法を示す例がある。



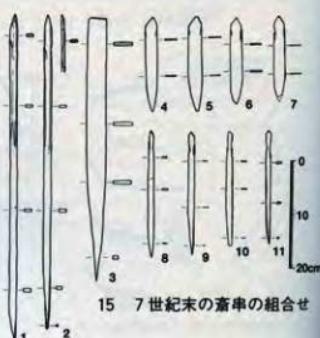
12 人形木製品



13 一括投棄された斎串



14 解体後にまつりに供えられた馬の頭骨



15 7世紀末の斎串の組合せ

出土遺物 出土した遺物は、土器 木製品 石製品
土製品 金属製品 動植物遺体など膨大な量
に及ぶが、自然流路からの出土がその大多数
をしめる。

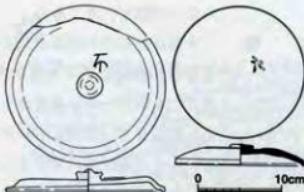
土 器 土器は、土師器 須恵器を中心とし、もっ
とも出土数の多いものである。從来、徳島県
下で古墳時代後期から奈良 平安時代にかけ
て続々する遺跡は乏しく、資料の蓄積が遅れ
ていた。そうした意味で、年代の推定が容易
な木筒と共伴する層位の土器は、土器研究の
新しい成果を生むことが期待できる。

土師器でみる限り、都城を含む他地域から
の搬入品は非常に少なく、形態 技法の異なる
杯に暗文を施す模倣品が目立つ。

木 製 品 木製品は総数が約5,000点に及び、木簡
農工具 紡織具 容器 馬具 服飾具 雜具
祭祀具 建築部材などがある。これらの中
でも数量の多いのは、木錘 曲物 斎串でそ
れぞれ数百個体に達し、下層 中層を通して
多くみられた。

斎串は上端部が主頭状のもの他に、細長
い平行四辺形や菱形を呈するものがあり、多
様な形態がある。また、切り欠きの方法も両
側面に施すのが一般的であるが、厚みのある
ものでは側面ではなく角に対して施すものや、
二段に施すものがある。

斎串の他には、人形 舟形 刀形 剣形
陽物がある。人形は薄い板状の作りのものは
少なく、丸材などに顔の各部を彫り込む類例



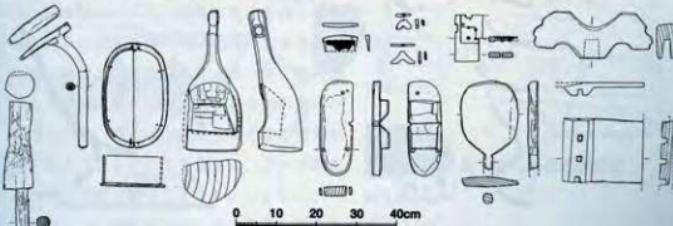
16 刻畫土器（左「布」または「而」
5区 SP1118）
墨書き土器（右：「六」3区 SR1001）



17 建築部材（鐵放し）出土状況



18 側板の遺存した曲物



19 各種の木器

のない形態が主流である。

木簡

木簡は約80点が確認されている。7世紀前半から8世紀に至る木簡がある。「論語」を記したものが、共伴遺物から日本最古級と考えられるなど、重要なものが多くみられる。特に、7世紀後半に属するものは阿波国府に関わるものや、大宝令以前の税制を記録するものなど、古代史研究の上できわめて注目すべき内容をもつ。

帆説は完全に終了していないが、地方における古代史を研究する上での欠かすことのできない資料であることは間違いない。

まとめ

観音寺遺跡での調査は、予想された国府そのものを示す遺構は確認されなかったが、多くの木簡の発見によって、重要な成果を生んだ。また、流路内の遺物からは、6世紀末以降の遺跡の継続性が窺え、国府がその前段階（粟国造の時代）からの一連の流れの中で設置されたことが想定しうる。国府の成立の経緯を前代からの系譜の中で位置づけることのできる事例としても、その意義は非常に大きい。

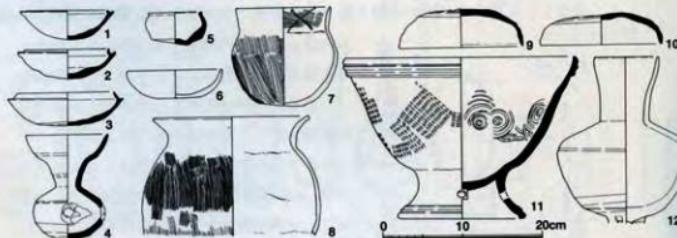
従来国府域と考えられた範囲内でも、県道以南では遺構の密度は希薄であった。逆に、方八町などに想定されてきた国府域の形態や構造そのものにも、大きな疑問を投げかけることとなった。(藤川)



20 土師器甕内に納められた斎串の束
(上: 全体 下: 部分)



21 SR1001最下層の遺物出土状況



22 SR1001出土土器
「論語」の記された木簡と共伴 (1~7) 最下層の土器 (9~12)

矢野遺跡

所在地 徳島市国府町矢野字青木401-1他

調査期間 1997年9月1日～1998年2月27日

担当者 近藤 湯浅

調査概要 今年度は、1991年度の試掘から続く一般国道192号徳島南環状線建設に伴う矢野遺跡発掘の最後の年となった。本年度の発掘調査は、95年度の第1分割1区と96年度の1区の間に挟まれた面積約1200m²の調査区で行われた。

土層堆積 現地盤は、標高9.5mで、土層は、上から盛土（厚さ約60cm）、弥生時代～中世の遺物包含層（厚さ約20cm）、弥生時代の遺物包含層（厚さ約25cm）、無遺物層（厚さ約65cm）、縄文時代の遺物包含層（厚さ約130cm 自然流路）の順に堆積していた。このような堆積状況から、弥生時代の包含層上面を第1遺構面、下面を第2遺構面、縄文時代の包含層下面を第3遺構面として遺構検出を行った。

第1遺構面 弥生土器、土師器、須恵器、陶磁器が、灰褐色砂質土層の中に混然として包含されており、この層を除去した後、弥生時代～中世の遺構を同一面で検出した。古代の掘立柱建物跡10棟、溝10条、土坑とピット約200基、弥生時代中期後半～後期の堅穴住居跡14軒、土坑とピット約100基が主な遺構である。

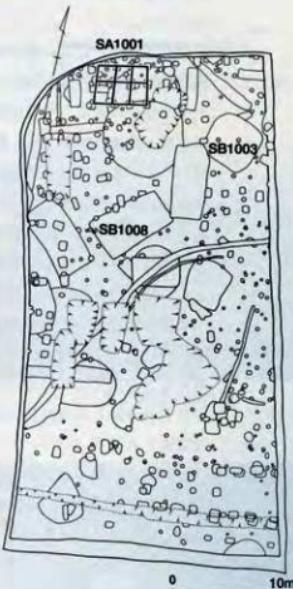
SA1001 柱穴が12基の掘立柱建物跡で、梁間2間（3.6m）、桁行3間（5.0m）で棟方向はN78°Eに向いている。梁間の北側1間分と南側1間分の柱間距離に若干の違いがあるので、北側1間は庇の可能性も考えられる。柱穴は90cm×60cm、深さ50cmの隅丸長方形のものが標準である。覆土は炭化物を多く含む暗褐色の砂質土である。出土土器より、8～9世紀ごろの建物跡と推定できよう。

SB1003 長辺5.0m×短辺4.6mで隅丸方形の堅穴住居跡である。柱穴は7つ見つかったが、屋根

跡



1 調査地点の位置 (川島)



2 第1遺構面遺構配置図

を支える主柱は4本であったと考えられる。主柱穴の直径は45cm~60cm、深さは30~40cmで、弥生土器の細片が数点出土している。

住居内の覆土は60cmで、炭化物を含む暗オリーブ褐色砂質土の上層と黄褐色砂質土の下層の2層に分かれる。出土土器は上層の方が多く、下層で床面直上になるような土器は少なかったが、サスカイト製石庵丁と剥片が床面で出土した。これらの遺物から、弥生時代中期後半の竪穴住居跡と推定されよう。

SB1008 長辺7.5m、短辺4.4mの長方形の竪穴住居跡である。平面が長方形の竪穴住居跡は、県内では珍しく、現時点では前田遺跡(土成町)、日吉谷遺跡(市場町)に次いで3遺跡目の事例となる。

覆土は45cmで、ぶい黄色砂質土の上層、褐色砂質土の中層、黄色砂質土の下層の3層に大きく分けられる。下層は貼床と考えられ、床を貼った後、炉や土坑、柱穴を掘込んだと思われる。直径30cm、深さ10cmの柱穴を8基検出したが、主柱穴になるのはそのうちの4基である。住居の平面形態から主柱穴は6基と推定されるが、2基は遺存状態が悪かったために検出できなかった。

遺物の量は多く、住居北隅の土坑から壺の完形品に近い土器を中心に、壺、水差し、鉢、高杯などが出土している。時期は、前田遺跡や日吉谷遺跡とはほぼ同じ、弥生時代中期後半と考えられよう。

第2遺構面

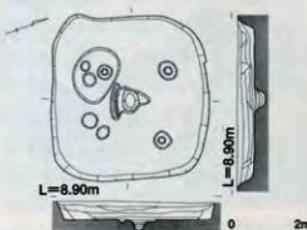
弥生時代中期後半の竪穴住居跡4軒、溝1条、土坑とピット約100基を検出した。竪穴住居跡のなかには、サスカイトの剥片、チップを1500点以上出土したものもあり、石器製作を窺わせる。

第3遺構面 自然流路

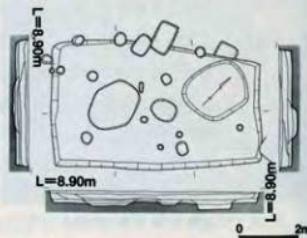
調査区全体で検出された自然流路である。標高7.8m~6.5mで粘性砂質土、細砂、中砂、粗砂、礫が交互に堆積し、層序は非常に複雑である。流路の方向は、南西から北東へ流れ



3 挖立柱建物 (SA1001) 完掘状況



4 竪穴住居跡 (SB1003) 平・断面図



5 竪穴住居跡 (SB1008) 平・断面図



6 竪穴住居跡 (SB1008) 土器出土状況

ているようで、調査区の半分ぐらいの面積は砂礫層で占められていた。遺物は砂礫層以外から出土する場合が多く、土器片は磨滅しているものが多かった。北白川上層式に比定される深鉢が出土していることから、自然流路の時期は、縄文時代後期前半であろう。

まとめ

今回の古代の掘立柱建物群は、本調査区の北西に位置する94年度調査の0-1区の建物群と合わせて、国府に関連した施設と考えられよう。矢野遺跡の北約500mにある觀音寺遺跡で本年度、多量の土器、木製品とともに80点以上の木簡も出土しており、この成果も踏まえて、これからは矢野遺跡の古代を総合的に考えていかなければならないだろう。

弥生時代中期後半～後期の堅穴住居跡が新たに18軒検出された。これで矢野遺跡の弥生時代の堅穴住居跡の数は、軽く百軒を越えており、徳島県内最大級の集落遺跡であることが裏づけられた。そして、弥生時代中期後半の長方形の堅穴住居跡が初めて検出されたことから、県中部（前田遺跡や日吉谷遺跡がある土成・市場町）との交流も視野に入れて遺跡の理解に努める必要が出てきた。

本年度の調査で発掘された縄文時代後期前半の自然流路は、96年度土質仮面をはじめ多くの縄文遺物、遺構が出土した集落の切れ目を示しており、集落の規模を限定する証拠となった。今後、遺物と遺構の両方を丹念に分析することで、縄文時代中期末～後期にかけての集落の動態が明らかとなるであろう。

以上のような調査成果を得て、1991年度の試掘から続く一般国道192号徳島南環状線建設に伴う矢野遺跡の発掘は、ひとまず終了となつた。今後は報告書で、縄文時代から中世までの矢野遺跡の変遷について、考古学のみならず関連諸科学も援用し、総合的な把握を試みたい。（近藤）



7 堅穴住居跡 (SB1008) 出土土器



8 自然流路完掘状況



9 縄文土器出土状況

えん めい 延 命 遺 跡

所在地 徳島市国府町延命

調査期間 1997年5月16日～3月6日

担当者 上野 大栗 小泉 坂東

調査概要 本遺跡は鯖喰川左岸に広がる沖積地の標高11.7mに位置する。本遺跡の北側には弥生時代を中心とする県下最大級の矢野遺跡が位置する。昨年度の調査では弥生時代の墓域と古代の水田を検出し、矢野遺跡の縁辺部に墓域が存在することが明らかとなった。本年度は昨年度の東側部分の調査を行ない調査区を2区に分け1区からは弥生時代後期の水田面と古代の方形プランを持つ柱穴、土坑、溝、掘立柱建物跡3棟を、2区では古代の水田面を3枚検出した。

第1遺構面 調査区の中央付近で3棟検出されている。
掘立柱建物跡 柱間距離は1.2～1.4mを測り、主軸方位は東西と南北に向くものが確認されている。柱穴の出土遺物より9世紀代に位置づけられる。

不明遺構 SX1004 調査区の中央部や南側で検出された。平面プランは不整形形状を呈すると思われる。南側をSD1017に切られ、現状で長軸2.1m、短軸1.2mを測る。遺構中央部には直径15cm大の礫を円形状に組み、北側に軒平瓦や軒丸瓦と共に均整唐草文軒平瓦が出土した。出土遺物は土師器、須恵器の杯が出土している。時期は9世紀代に位置づけられる。

溝 SD1013 調査区の南側で検出された。遺構面が非常に不鮮明であったのでプランの確認が出来ず下げながら検出を行ない、土器が多量に出土しプランが確認された。部分的に溝の底まで掘り込んでいるが壁面観察により規模が幅4.5m、深さ0.4～0.6mを測る。溝は調査区を横断する形で北東から南西方向にのびており、北側に展開する集落に伴うものと考えられる。遺構内からは土師器、須恵器の杯、灰



1 調査地点の位置 (川島)



2 掘立柱建物完掘状況



3 SX1004出土状況

釉陶器、緑釉陶器、輸入貿易陶磁器の水注が出土した。出土遺物より時期は9~10世紀代に位置づけられる。

第2遺構面

第1遺構面の下約0.6m、標高10.30m前後より弥生時代後期の水田面と溝を検出した。水田面は微高地の縁辺部に小畦畔によって区画された小区画水田である。小畦畔は幅約20cm高さ2~3cmを測る。小畦畔によって区画された水田は26枚以上確認された。水田1区画の面積は大きいもので10.2m²、小さいもので3.2m²、全体的には8m²前後に復元できる。小畦半には各水田に給排水を行う水口が設けられているものとあぜ越しによる給排水が考えられる。区画水田内からは株跡が確認された。小区画水田の中央部分と東側部分には溝が2条走り、溝を挟んで幅20~30cm、高さ4cm前後の畦畔が構築されている。微高地の縁辺部に造成された小区画水田は溝が交差する調査区東側で海拔10.40m、南北及び西側に向かうと海拔10.30m前後となり比高差約10cmを測っており、溝は西に向かって水を流し南北両側に、検出された溝と水口を使用しこれらの比高差を利用しながら各水田への給排水を行っていたものと思われる。

水 田

昨年度の調査の東側部分で3枚の水田面を検出した。水田の区画は3枚とも整然としておらず最も畦畔が明瞭に確認できたのは最下層の水田面で1区画の面積が平均的なもので36m²、畦畔の幅は30cm、高さ3cmを測る。水田の一区画は条里方向を意識したものではなく地形に沿って水田を区画したものと思われ、時期は、9~10世紀代に位置づけられる。

まとめ

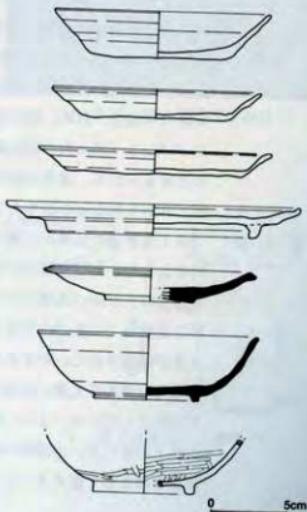
今回の調査により、弥生時代後期の水田面が検出された。本県では弥生時代の水田は少なく、今回、小区画水田の經營形態が確認された意義は大きい。また、延命遺跡は矢野遺跡の生産空間と考えられ、弥生時代の生活空間を復元する上で貴重な資料となろう。(小泉)



4 水田（1区）



5 水田（2区）



6 出土遺物

たか 高 泰 遺 跡

所 在 地 徳島県板野郡土成町土成字高泰

調査期間 1997年12月1日～1998年3月31日

担当者 有月 中島

調査概要 本遺跡の調査は、緊急地方道路整備事業船戸切幅上板線道路改良工事関連の調査である。

本遺跡は阿讃山地南麓に形成された扇状地の端部、標高約38mの地点に位置する。調査区より東へ5kmには、弥生時代の集落跡が確認された前田遺跡がある。

今回の調査では2枚の遺構面が確認された。

第1遺構面からは古墳時代以降とみられる遺構が、第2遺構面からは弥生時代の遺構がそれぞれ検出された。竪穴住居跡と思われる遺構を1軒確認した。

竪穴住居跡 弥生時代の円形の竪穴住居跡である。規模SB2001は径が約7.5m、深さは0.25mを測る。柱穴が3基と周溝が検出され、柱穴から木炭片が検出されている。中央部分から炭化物がまとまって検出されており、焼土も見られたため炉跡の可能性がある。床の部分は、地山を掘り下げ、5～15cm大の礫を除去して平らにしたものと考えられる。遺物は高杯形土器、壺形土器、鉢形土器などが出土している。

ま と め 第1遺構面では溝が5条検出された。遺構内や包含層から須恵器が多数出土したことから古墳時代以降の遺構であると考えられる。第2遺構面では竪穴住居跡と溝が各1、土坑3基が検出された。いずれの遺構からも、弥生時代の高杯形土器、壺形土器、鉢形土器などが出土している。また、讃岐産の搬入土器の出土が目立ち、当該期の物資の交流を裏づけるものとして捉えることができる。(有月)



1 調査地点の位置 (川島)



2 SB2001全景



3 遺物出土状況

いし いじょう の うち

石井城ノ内遺跡（石井曾我団地点）

所在地 名西郡石井町石井字石井

調査期間 1997年8月1日～1998年3月31日

担当者 井利元 市村

調査概要 本遺跡は、県営住宅（石井曾我団地）建設工事に伴い調査した遺跡であり、今回はその第5次調査にあたり、調査面積は1,040m²である。

今回の調査では、3面の遺構面を検出し、さらに、第3遺構面の下に自然流路が存在することを確認した。3面の遺構面はいずれも水田跡である。

第1遺構面は近世以降に成立した水田跡であり、水田の底に設けられた3条の溝を検出した。この溝は、底部に柴が敷き詰められており、水田の排水に用いられたものである。

第2遺構面は古代の水田跡であり、2条の平行して走る畦畔を検出した。東側の畦畔は水田面が一段下がる段差部分に設けられており、調査区中央付近には、上段の水田から下段の水田へ水を送るための水口が設けられていた。2条の畦畔が平行関係にあることから、かなり整備された水田区画がなされていた可能性がある。

第3遺構面は弥生時代中期から古墳時代前期初頭の水田跡と思われ、3条の溝、3基の不明遺構、明瞭な水田区画を2区画検出した。溝と不明遺構は切り合っており、少なくとも、3面の水田が重なっていると思われる。3基の不明遺構は時代の異なる水田区画である可能性が高い。

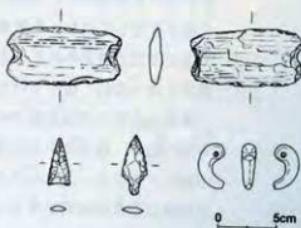
第3遺構面の下で確認した自然流路は、第4次調査で検出された2条の自然流路につながるものと思われる。今回の調査からは時代を特定することは難しいが、第4次調査では縄文時代として捉えられている。（井利元）



1 調査地点の位置（川島）



2 H-1区 第3遺構面完掘状況



3 第3包含層出土遺物

いち らく 市 樂 遺 跡

所 在 地 名西郡石井町高川原字市楽172-26番地他

調査期間 1997年4月1日～1998年1月31日

担当者 泊 吉田(千)

調査概要 本遺跡は、渡内川東岸の標高5m前後の沖積地上に位置し、緊急地方道路整備事業第十白鳥線道路改良工事に伴って発掘調査が行なわれた。昨年度の試掘調査で条里制の遺構と思われる等間隔に並ぶ溝跡を検出し今年度、本調査を実施した。結果、水田跡、溝跡9条、柵跡1列、掘立柱建物跡1棟等を検出した。

検出遺構 遺構面のほとんどが水田跡で、渡内川によって堆積した土層上に近世になって耕地化され水田として利用されたものである。水田面からは、犁跡、代搔き跡、飼 鍬跡等の耕作痕や人と牛馬の足跡が検出された。また、調査地を南北に分断するように溝跡を東西方向に8条、南北方向に2条検出した。このうちの3条が幅約104～109mの間隔を持って同一方向に流れている。出土遺物は、古代～近世の幅を持つが、その大半が陶磁器片で、時期も近世のものが多数を占める。

まとめ 幅約104～109mの間隔で存在する溝跡は、条里制の方格地割の「1坪」の一辺とほぼ同じ長さを呈しており、条里地割を行った当時のなごりだと考えられる。また、各溝跡が真西より南へ約11°振っていたことが、これまで徳島の条里の方格地割の中軸線が、真北より西へ約11°振っていると言われている従来の説と一致する。これらのことから遺構面の水田跡は近世の時期を与えられたが、溝跡については、資料を詳細に検討する必要がある。場合によっては方格地割を制定した時期である古代まで遡る可能性も十分考えられる。

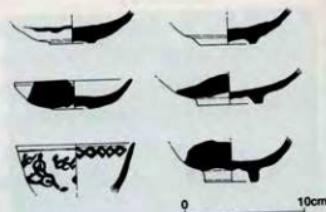
(泊)



1 調査地点の位置 (川島)



2 SD1001・SD1002



3 出土遺物

しょう 庄 遺 跡 (大蔵省藏本住宅宿舎地点)

所在地 徳島市庄町1丁目77

調査期間 1997年7月1日~11月30日

担当者 中川 宮谷

調査概要 本遺跡は大蔵省藏本住宅宿舎の建設に伴う発掘調査で、平成7、8年度に調査された調査区北側の残地部分である。調査延べ面積は、1,628m²である。本遺跡は吉野川に注ぐ鮎喰川により形成された微高地上に存在し、縄文時代後期~中世の遺構・遺物を確認した。

第1遺構面では、SR1001より7~9世紀の遺物が検出された。また、2条のSDでは、石組みがなされ底部は松の木で固定されており更にこれに杭を3~4箇所打ち、石組みを補強してあった。

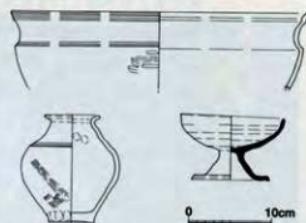
第2遺構面では、弥生時代前期の壺を検出した。遺構は長軸2m、短軸65cm、深さ70cmで長軸が南北を向いているSKを1基確認した。第3遺構面では、東西に3m、深さ0.5mで3本の柱穴からなる竪穴住居跡を検出した。

(南側1/5は調査区外に抜がっているため不明である)また、東西に0.7mの6個の石が組まれ、底部には焼け込みによる変色や炭化物があったので石窯炉と推定した。遺物では水銀朱付き土器、浅鉢等の縄文土器や打製石斧を検出した。

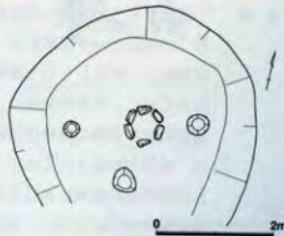
平成7、8、9年度と3期にわたる調査が終了したが庄遺跡の実態把握のために役立つことが期待される。なお、今年度の調査に関しては次年度に整理が予定され、平成10年度報告書刊行の予定である。(中川)



1 調査地点の位置 (徳島)



2 出土遺物



3 SB3001平面図

たみや 田宮遺跡

所在地 徳島市南田宮4丁目945-1

調査期間 1997年6月1日~7月18日

担当者 近藤 湯浅

調査概要 街路事業常三島中島田線改良工事に伴い、1996年度に県文化財課が試掘調査をした結果、中世の遺構面と遺物を確認した。したがって、現住所より田宮遺跡と命名し、遺構面の広がりが予想される部分420m²について、県埋蔵文化財センターが、1997年度に本調査を実施することとなった。

調査成果 15~16世紀の第1遺構面と13世紀末~14世紀の第2遺構面と13世紀末以前の第3遺構面を検出した。第1遺構面と第2遺構面で、土坑、ピット、溝など合わせて約80基が発見された。搅乱と調査面積の制約のため、掘立柱建物になるような整然としたピット群は検出できなかったが、しっかりと掘込まれたピットもあるので、何らかの建物が建っていた可能性は考えられよう。出土遺物には、備前焼擂鉢や吉備系の土師器杯、北宋銭などがあった。第3遺構面より下は、典型的な自然流路の砂層堆積層であった。出土土器から13世紀末に埋没したことが確認された。

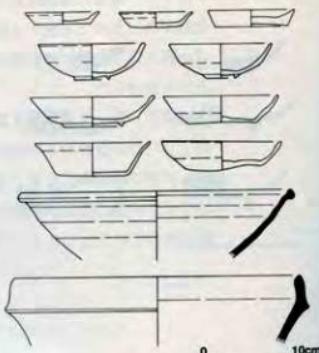
まとめ 元久元年(1204年)の阿波富田莊立券文案に「田宮」という記載が見られ、文献上で富田莊内に「田宮」という地名があることは知られていた。今回の発掘で、調査地周辺は、13世紀末の自然流路埋没以降に開発が進められ、集落が形成されていくことが判明し、富田莊内の田宮地域における土地開発過程の一端を窺うことができた。田宮遺跡は、13世紀後半~14世紀前半の大規模な集落である中島田遺跡と比較することによって、今後、阿波中世史の解明に役立つであろう。(近藤)



1 調査地点の位置 (徳島)



2 第2遺構面完掘状況



3 出土遺物

しんくらちょう 新蔵町3丁目遺跡

所在地 徳島市新蔵町3丁目80

調査期間 1997年11月17日～1998年1月31日

担当者 石尾

調査概要 本遺跡は、徳島保健所改築事業に伴って調査されたもので、平成5年度～7年度に続く第3次調査である。調査区は徳島城下にあっても重臣層の屋敷が並ぶ「徳島」の一画に位置し、当該地区は西尾家・滝川家・岩田家の屋敷地と想定される場所である。

しかし、当該地区は近代以降の搅乱が甚だしくその遺構面の多くが削平されていた。3次調査区でも全面的に遺構面が削平されてはいたものの、井戸など深い遺構の底部を検出することができた。井戸は、井側の板は失われていたものの蓋が検出されたほか、瓦を敷き詰めた底部の構造が確かめられた。また井戸の東1m足らずのところには廃棄土坑も掘られており、多くの陶磁器類が出土した。

出土遺物 揭示した遺物の1は京・信楽系の陶器碗で、体部外面に注連縄の文様が描かれている。2は瀬戸美濃系の天目茶碗で鉄軸の施されたものである。その他、「木下弥」の刻印の施された京焼風肥前系陶器碗や信楽系の小杉碗、堺播鉢、瀬戸美濃系陶磁器、在地の大谷焼灯明受皿・徳利などが出土している。

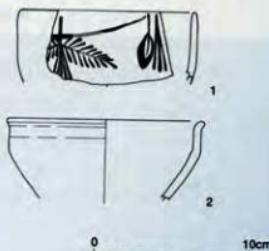
まとめ 3次にわたる徳島保健所地点の調査は終了したが、明治以降の近代建築の度重なる改築等によって広い面積にわたり遺構面の削平・搅乱が認められた。そうした中にあって肥前系陶磁器をはじめ、備前・京・信楽、堺・明石、瀬戸美濃、在地の大谷焼などの他、中国・朝鮮系の陶磁器も出土しており、徳島城下における流通の一端を提示する資料を得ることができた。(石尾)



1 調査地点の位置（徳島）



2 SK1001遺物出土状況



3 出土遺物

さきた 崎田遺跡

所在地 小松島市日開野町字崎田27番地他

調査期間 1997年4月1日～5月16日

担当者 近藤 湯浅

調査概要

小松島警察署移転建て替え工事に伴い、1996年度に県文化財課が試掘調査をした結果、中世の造構面と遺物を確認した。したがって、現住所の字名をとって崎田遺跡と命名し、造構面の広がりが予想される部分約500m²について、県埋蔵文化財センターが、1997年度に本調査を実施することとなった。

第1造構面

第1造構面では、1間四方の掘立柱建物跡2棟を含むピット群を検出した。ただし、造構の密度はそれほど高くなく、調査区中央部にはほど集中しており、そこから外側になると造構はだんだん見られなくなることがわかった。また、出土土器は、細片で数も少なく造構面の時期決定は難しいが、ピットから銅製小柄の柄が出土していることなども考えると、15世紀以降と推測できる。

第2造構面

第2造構面では、南西から北東方向へ流れる自然流路を検出した。現在の地形図も参考にすると、この自然流路は、勝浦川の旧河道の一部と考えられる。調査区の設定上、南側の肩のみ検出しているが、本来の川幅は50～100mはあったと思われる。出土土器の最も新しいものが、15世紀の土師器や陶器であることから、遺跡周辺には15世紀頃まで旧勝浦川が流れおり、安定した平野となったのは15世紀以降であることが判明した。

まとめ

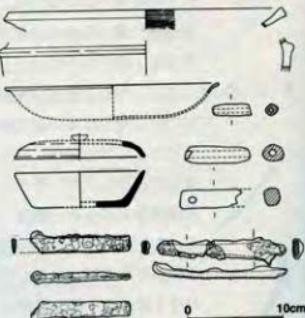
以上のように、小松島平野のほぼ中心部の歴史的景観が、今回の調査で考古学的に復元できたことは大きな収穫と言えよう。今後、さらに詳細な発掘調査によって、この地域の開発の具体像が浮かび上がってくることを期待したい。(近藤)



1 調査地点の位置（徳島・阿波富岡）



2 第1造構面完掘状況



3 出土遺物

べつしょれき

所在 地 脇町字笈ノ川尻2352-1他
調査期間 1997年11月1日～1998年2月28日
担当者 谷 石井

調査概要 別所遺跡は、吉野川中流北岸の沖積平野に位置し、標高42～46mを測る水田地帯にある。

調査地周辺の阿讚山地南麓には、弥生時代の遺構が検出された田上遺跡や古墳群、中世の岩倉城跡がある。

本調査は、県営圃場整備に伴う発掘調査で、幅1.2～4m、長さ150mの調査対象範囲に、20ヶ所のトレンチを設定した。また、本調査地の東に隣接する部分を前年度に脇町教育委員会が発掘調査を行い、古代、中世の遺構面を確認している。

土層の堆積状況は、総じて耕作土下にはシルト傾向の砂質土層が堆積し、約2.0m底の砂礫層までの間に洪水砂が2～3層見られる。

各洪水砂直下のしまりの良好なぶい黄褐色粘性砂質土層直上に、3面の遺構面が確認された。第1遺構面は近世の自然流路が、第2遺構面は中世の土坑、柱穴などが、第3遺構面は古代の竪穴住居跡などが検出されている。

第3遺構面の古代の竪穴住居跡は6軒確認されている。なかでも調査区東部の微高地にある住居跡は、平面形態が隅丸方形を呈し、須恵器、土師器など出土遺物がとくに多かった。

第2遺構面においても、羽釜片をはじめ、輸入陶磁器など中世の遺物が比較的まとまつて出土している。

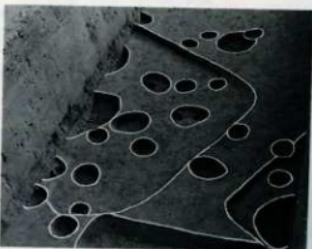
以上のように、本調査により、別所遺跡は古代から中世の集落遺跡であることが判明し、脇町の歴史を解明する上で貴重な資料を提供したと言えよう。(谷)



1 調査地点の位置（脇町）



2 調査前風景



3 No 6 トレンチ SB3001完掘状況

みやめん 宮免遺跡

所在地 小松島市大林町宮免および中新田

調査期間 1997年10月1日～11月30日

担当者 久保 牧野

調査概要 本遺跡は、小松島市坂野地区における県営圃場整備事業に伴う発掘調査として、小松島市大林町で実施したものである。

調査地は、那賀川下流北岸、那賀川旧河道の氾濫によって形成された沖積平野上に位置する。この那賀川下流平野の大部分はかつて海の底であったと考えられており、今回の調査においても、それを裏付ける分厚い粘土層が確認された。

周辺の丘陵には能路寺山古墳や觀音山古墳などの古墳群が分布しており、周辺各所の水田からは当時の土師器や須恵器の破片が多数発見されている。

調査は、圃場整備事業に伴う道路及び排水路工事予定地にトレーニングを設定し、各トレーニングの遺物出土状況や遺構の有無の確認をしながら順次掘り下げていく方法で行った。

調査結果 調査区の南縁に位置する独立小丘陵の縁辺トレーニングから、古墳時代～奈良・平安時代の須恵器片が比較的まとまって出土したほか、陶磁器では、注連縄文茶碗の体部などが見つかった。ただ、これらのトレーニングから遺構は検出されなかった。また、その他のトレーニングにおいても、分厚い粘土層の下が砂砾・砂層という層序であり遺構が存在するような状況ではなかった。

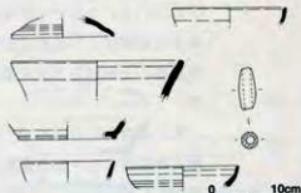
まとめ 今回の調査によって、調査地周辺の古墳群から続く微高地に、古墳に伴う集落があった可能性が高くなった。大林町や坂野町の微高地には集落が存在していた可能性があり、今後の詳細な調査が望まれる。(牧野)



1 調査地点の位置（阿波富岡）



2 調査前風景



3 出土遺物実測図

牟岐喜来遺跡

所在地 海部郡牟岐町喜来

調査期間 1997年10月1日～11月14日

担当者 石尾 九十九 宮本(明)

調査概要 本遺跡は、県営圃場整備事業（牟岐喜来工区）に伴い調査されたもので、牟岐川の支流である喜来川の左岸に形成された段丘上に位置する。現況は棚田になっており、小区画の田圃が広がっている。

調査では、水路及び削平される田に計17カ所のトレンチを設定した。基本的にはいずれのトレンチも耕作土直下で砾を多量に含む地山層となる。こうした砾の中には人頭大以上のものが多く、耕作土と接するところは焼け平らにされていた。これは、田を築くとき砾を碎くため熱したためであるが、この痕跡も決して古いものではなく現代の作業の痕跡と思われる。

出土遺物は、1のチャート製の石鎌の他はいずれも中世段階以降のものである。2はいわゆる播磨型の土鍋で、鉢の下にタタキ目をもつ。3は備前系の擂鉢である。その他、備前系の甕や近世以降の陶磁器片が出土している。しかしながら、先述したような土層堆積状況であり、遺構としては見るべきものはない、より狭小な水田が形成されていた頃の畦畔が検出されたこと、また野銀治が行われた可能性を示す泥炭層が認められたことがあげられる程度である。

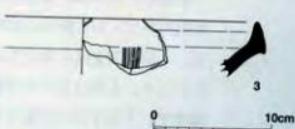
まとめ 中世以降の遺物が出土するものの、本遺跡では当該時期の遺構を検出することはできなかった。今回の調査地は傾斜面に形成された棚田にあたる。こうした棚田は幕末から明治期にかけて作られたものと思われるが（地籍図では既に田畠になっている）、それ以前は未開発地であったと思われる。（石尾）



1 調査地点の位置（桜谷）



2 調査前風景



3 出土遺物実測図
(1 S=2/3 2・3 S=1/4)

試掘調査

所在地 発掘調査一覧表参照

調査期間 1996年4月3日～1997年3月31日

担当者 九十九 宮本(明) 高見 梶谷 谷

大柿遺跡 〔県道光下－新町線建設工事〕

調査対象地は、平成8年度に四国縦貫自動車道に伴う発掘調査で、縄文時代から近世まで遺構、遺物が多数出土した大柿遺跡の北西に隣接する。とくに、古墳時代後期の竪穴住居跡280軒余が検出され、また、中世の掘立柱建物跡の柱穴からは完形の四耳壺が出土し、県西部の歴史的景観を復原するうえで、非常に重要な発見が相繼いだ遺跡として注目される。試掘の結果、縦貫道調査で得た成果と同様、縄文時代晚期から中世にかけての遺構面を最大9面確認した。よって、次年度以降本調査が必要と判断した。(谷)

中庄遺跡他 〔県道出口太刀野線建設工事〕

調査対象地は、徳島県の北西部、吉野川の両側沖積地に位置し、南側は三加茂町、北側は三野町である。たび重なる吉野川の氾濫により、トレンチごとにいろいろな様相をしめすが、三加茂町側の旧国道付近において、古代～中世と思われる遺構面・遺構・遺物を検出。次年度以降、順次本調査を実施する予定である。(九十九)

下庄遺跡他 〔県道板野川鳥線建設工事〕

徳島県の北東部、吉野川の北岸沖積地で、宮川内谷川 旧吉野川にはさまれた田畠である。今回の調査区においては、何も検出できなかった。上部は近代の田普請による盛土と擾乱で、その下はたび重なる吉野川の氾濫により、ほとんどが砂層である。今回の調査区においては、調査の必要はない。(九十九)



1 大柿遺跡調査前風景



2 調査地点の位置 (池田)



3 調査地点の位置 (川島)

桜間遺跡他 [県道徳島環状線（国府工区）建設工事]

調査対象地は、鮎喰川と吉野川にはさまれた沖積地に位置し、南側には觀音寺遺跡等、数多くの遺跡が存在する。部分的に削平は受けているが、ほぼ全面で、古代（平安中心）と思われる包含層・遺構面・遺構・遺物を検出。また、包含層上面においては、旧田を数多く検出した。次年度以降、順次本調査を実施する予定である。（九十九）

桑野谷遺跡 [南部健康運動公園建設工事]

調査対象地は、桑野川が、大きく東に蛇行しながら新野町から山口町を経て桑野町に流れ込む右岸に位置し、標高14mから149mの狹小な谷部と小高い丘陵が見られる。周辺には甘枝遺跡等の遺跡があり、また多くの銅鏃が出土している。11ヶ所の山間試掘トレンチからは遺物はほとんど出土せず、遺構も検出されていない。29ヶ所の平地トレンチから遺構は検出されなかったが、桑野谷に設定したトレンチで遺物包含層が見つかった。この層からは、古代から中世にかけての土器が混じりあって多量に出土した。次年度、1,200m²程度の発掘調査を必要とする。（高見）



4 調査地点の位置 (川島)



5 調査地点の位置 (阿波富岡)

矢野の遺跡

所在地 徳島市国府町矢野

調査期間 1997年4月1日～1998年3月31日

担当者 佐々木 丸岡 植地

整理概要 本遺跡の整理業務は1994年度より継続中で、今年度は1995年度に矢野遺跡第2分割として発掘調査を実施した7,647m²の調査区内の弥生時代後期後半から古墳時代前期初頭の遺構面より出土した遺物を主な対象とした。作業は洗浄・注記・接合作業など基礎整理を行った後、報告書掲載遺物を抽出し、遺物実測図と観察表の作成・遺物実測図のトレース作業などを行った。

出土遺物は多くは竪穴住居跡や溝から出土し、土器が主である。完形での出土例は鉢形土器が多く、壺形土器・高杯形土器は比較的少ない。壺形土器は土坑に伴う場合に完形に近い状態の出土例も見られるが、土器集中地點での、口縁部～頸部のみの出土例が目立つ。土器以外では、数は少ないが、砥石や石庖丁などの石器、鉄器・鉄片、焼失住居内の炭化材など、弥生時代の集落を研究する上で非常に良好な資料が出土している。

肉眼観察で赤色顔料が確認できる遺物に関しては、蛍光エックス線分析法を用いて顔料の定性分析を行った。結果、鉢形土器・高杯形土器・石杵で水銀朱が付着していることを確認した。いずれも竪穴住居跡や溝などの出土遺物であり、前年度までの整理で確認したものも含めて、調査地全域から水銀朱付着遺物が出土したことになる。

今年度で弥生時代の遺構面出土品の基礎整理がほぼ終了し、調査年度で区切った地区ごとの、部分的な姿が把握されつつある。今後はこの集落の全体像をとりまとめ、検討・考察を深めていく必要がある。(植地)



0 10cm

出土遺物

1 2区 SK2002

2・3 3区 SB2003

4 2区 SX2003

さだ みつ まえ だ
貞光前田遺跡

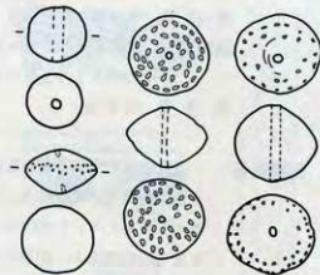
所在地 美馬郡貞光町字前田他

整理期間 1997年7月1日～1998年3月31日

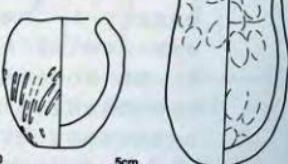
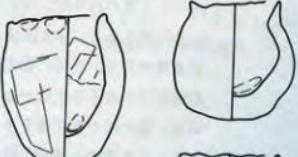
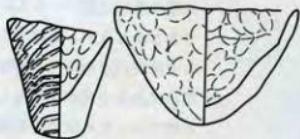
担当者 石尾 中川 南 宮谷 泊 吉田(千)

整理概要 本遺跡は、県立西部テクノスクール新築事業に伴い、平成6年度に1200m²、平成7年度に3800m²の発掘調査を実施した。調査では、縄文時代～鎌倉時代にかけての集落跡を中心とした遺構を検出した。整理作業は平成6年度出土遺物の洗浄・注記・接合・復元等の基礎整理を中心とした作業を終え、平成7年度の基礎整理作業を実施中である。次年度からは以上の作業と、実測・トレース等の作業も合わせて行う予定である。

主な遺構は、堅穴住居跡で計17軒検出した。縄文時代の堅穴住居跡3軒、弥生～古墳時代の堅穴住居跡を14軒検出した。縄文時代と弥生時代、または弥生時代と古墳時代の堅穴住居跡の遺構面が重複しているところが部分的に存在し、長期間にわたって集落が繰り返し形成されたものと考えられる。特にIIA区のSB2001は、集落を廃絶した時に多量の土器を廃棄したと思われ、完形に近い物が約300個出土した。小形の手捏ね土器や土製品を伴って出土したことから、廃絶後祭祀遺構として使用された可能性も考えられる。それ以外に掘立柱建物跡も7棟検出されている。そのうちの6棟は鎌倉時代のもので、柱穴跡から地鎮に使ったと思われる小皿・杯・椀等が出土した。また、掘立柱建物跡の西側を流れている溝跡の底から、同じ時期の杯や羽釜が出土した。この溝跡は建物群に沿うようにして検出されており、これが防衛的な機能を持つ溝として使用されていたとすれば、この遺構は鎌倉時代の在地の有力者の館の存在も視野に入れて考える必要がある。(泊)



堅穴住居跡出土土製品



堅穴住居跡出土手捏土器

いし い じょう の うち 石井城ノ内遺跡（石井・神山線地区）

所在地 名西郡石井町石井

調査期間 1997年4月1日～6月30日

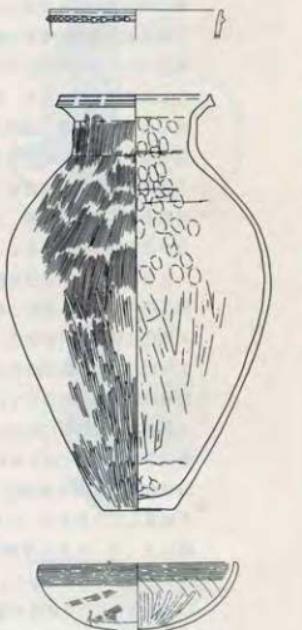
1998年1月1日～3月31日

担当者 宮本(宏)

整理概要 本遺跡は平成4年度から平成7年度にわたり、発掘調査を実施した。今回の整理はその第4次にあたり、1,300m²につき発掘調査を実施した分である。山裾の4F区は、中世から近世の遺跡である。平地にある4B区は1次調査から3次調査までの遺構と同じで、上面に古代の遺構、下面に弥生終末から古代初頭の遺構がある。整理作業は遺物の注記、接合、復元等を実施した。

4F区の南部分には近世に廃棄されたと思われる大きな溜め池状の遺構がある。この溜め池状の遺構の底部には、土坑の痕跡が見られる。これが調査地北側にある14基の土坑と底部の形状は似ているものの、同時期のものであるかどうか、確定する遺物はない。14基の土坑群の中には、土器鉢を横向けにして埋めてある土坑が1基あり、この遺物が平安中期であるため同様の遺構も同時期のものであろうと思われるが、中には染付が出土している土坑もある。4B区は、上面に古代の溝状遺構があり、下面に弥生時代終末期～古墳時代初頭の大きな土坑が4基ある。土坑の中には、焼土層や炭化物を多く含んだ層も見られる。出土遺物も多く、杯が完形に近い形で数点出土している。この調査地は、弥生時代終末期～古墳時代初頭にかけて集落の端に位置し、埋葬に関わった土地である可能性がある。また数点有目瓦が出土しており、古代には大規模建築が存在した可能性を残す。

報告書は、平成10年度刊行予定である。(宮本宏)



出土遺物

庄遺跡（大蔵省藏本住宅宿舎地点）

所在地 徳島市庄町1丁目77

調査期間 1997年4月1日～1998年3月31日

担当者 前川

整理概要 本整理は1996年度に大蔵省藏本住宅宿舎新設（第2期）工事に伴う発掘調査に基づく整理である。本遺跡は鮎喰川によって形成された沖積低地に位置し、地名の字名に因み庄遺跡としており、その西端に在る。

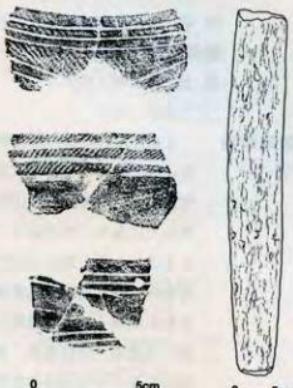
検出された遺構総数は36基、出土遺物はコンテナ200箱を数え、縄文時代から近世にわたる各時代の遺物が明らかになった。

庄遺跡は弥生時代の遺跡として広く親しまれているが、今回弥生時代の遺構面下で、土坑・柱穴が発見され、多くの縄文土器に加えて縄文人の宗教的遺物とされる石棒等が出土し、縄文人の生活痕跡が確認された。

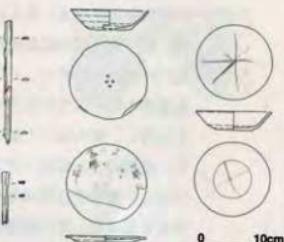
主たる遺物には縄文時代の土坑・柱穴より、磨消結節縄文を施した土器片・石棒が出土、自然流路跡からは最深部で木葉文をもつ壺の胴部が出土、上層部で平安時代の祭祀・まじない関連の墨書き土器・壇串・人形が出土している。護岸工事を施した近世の溝からは、京信楽系の注連縄文を施した大福茶碗・伊部焼の保命酒徳利・在地（大谷焼）の灯明具等が出土、遺物包含層からは弥生土器と混在して、縄文後期を主体とする土器片・注口土器・石棒が出土している。

報告書は平成10年度に刊行の予定である。

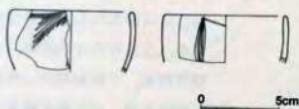
(前川)



1 包含層出土遺物



2 SR2001出土祭祀遺物



3 SD1006出土遺物

しんくらちょう　ちょうめ
新蔵町1丁目遺跡（企業局総合管理センター地点）

所 在 地 徳島市新蔵町1丁目86

整理期間 1997年4月1日～1997年9月30日

担 当 者 南 日下

整理概要

本遺跡は徳島県の総合管理センター建設事業に伴い、平成4年度に600m²の発掘調査を実施した。遺跡は吉野川河口低地に広がる三角州上にあり、16世紀末に蜂須賀氏が徳島城を落成した後、形成された城下町の武家屋敷跡から、排水施設、屋敷境を構成する溝及び多数の廃棄土坑等の遺構と、大量の肥前系、瀬戸美濃系、京信楽系、備前、堺明石系、中国系、及び大谷焼等の在地産等の陶磁器類、土器、瓦類、金属製品、木製品等の遺物を出土した。

昨年度に引き続き整理作業を実施し、遺物のうち各年代を通じ最も出土量が豊富な肥前系、瀬戸美濃系の磁器碗類及び皿類の器形、成形技法等を分類し、そのセット関係により各遺構の時期区分を試みた。さらにその区分を利用し、膨大な出土量の土師皿や焼烙を胎土、成形技法、器形、灯芯油痕の有無等から分類し、備前焼灯明皿等も含めてそれぞれの消長を追った。また徳島独特の文様注連縄文を有する京信楽系の半球碗及び、碗型を呈する土師質土器についての詳細を今年度末刊行予定の報告書に掲載している。

1は清朝粉彩磁器碗、2は肥前系染付植木鉢、3は清水七兵衛銘染付坏、4は清朝染錦手蓋、5は古九谷色絵鉢、6は京焼系色絵半球陶器碗、7は初期伊万里皿、8は瀬戸算木手御深井鉢、9は備前蓋及び森与十郎印極小甕、10は土製品涅槃像、11は土製品西業像、12は朱漆塗椀である。(日下)



出土遺物

新蔵町1丁目遺跡（合同庁舎地点）

所在地 徳島市新蔵町1丁目68

調査期間 1997年4月1日～1998年3月31日

担当者 石尾

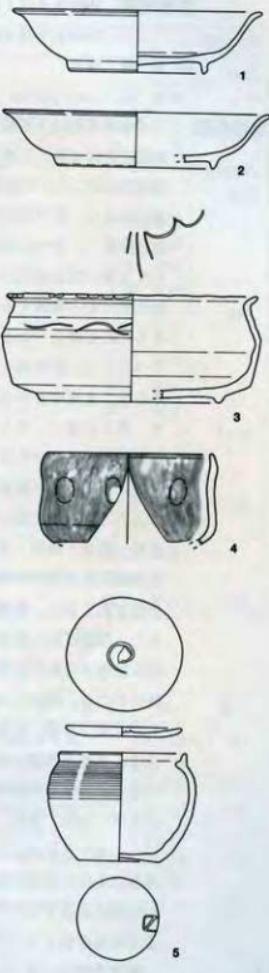
整理概要 本遺跡は、徳島合同庁舎建設工事に伴って平成6年度に調査されたもので、昨年度に統合整理業務を実施した。

本遺跡は、徳島城下にあっても重臣層の屋敷が並ぶ「徳島」の一画に位置する。調査では佐渡家と折下家の屋敷地及びその屋敷境が検出されている。

遺構としては、屋敷境の構造の変化が特に注目される。江戸時代初頭には板塀であったものが、18世紀後半には2条の溝から構成されるようになり、幕末にかけて再び板塀に戻るというものである。この変化は吉野川の直流化と第拾堰の建設によって城下に流入してくる水量の変化が関係しているものと考えられる。また、低湿地であるが故に、柱穴の底に杭を打ち込み根石の沈下を防ぐ工夫も見られた。

掲示した遺物の、1・2は明代の白磁盤で口縁端部を外反させた16世紀半ばのものである。3は黄瀬戸の鉢、4は瀬戸美濃系のいわゆる「拳骨茶碗」とよばれるものである。5は屋敷境の溝から出土した備前系の小壺とその蓋である。中には鉄球と砂が詰められており、地鎮の儀礼に用いられたものと思われる。その他、朝鮮の斗々屋茶碗や明の染付などの輸入陶磁器類、肥前系陶器、備前産陶器、京信楽系の陶器、堺明石系擂鉢、瀬戸美濃系の陶磁器類が出土しており、在地産の大谷焼などとあわせて、徳島城下における流通の一端を垣間見ることができる。

なお、平成9年度に報告書が刊行される予定である。（石尾）



出土遺物

(石尾)

新蔵町 1 丁目遺跡 (県警新蔵宿舎地点)

所在地 徳島市新蔵町 1 丁目 62-1

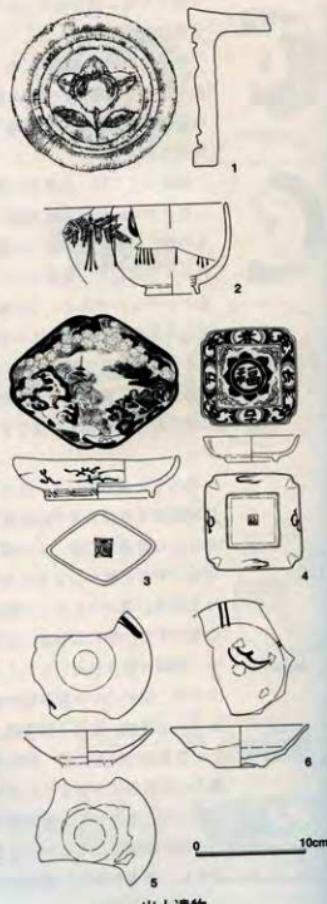
整理期間 1997年 4月 1日～1997年 6月 30日

1998年 1月 1日～1998年 3月 31日

担当者 福良

整理概要 本整理業務は、平成 8 年度に行われた県警新蔵宿舎建て替え工事に伴う埋蔵文化財発掘調査 220m²について実施されたものである。調査地点は、江戸時代の徳島城下の武家屋敷跡に位置し、その結果、当時の屋敷地と考えられる溝が数条検出された。出土した遺物の製作年代から判断すると、江戸時代初期につくられたと考えられる古い溝や、石垣を並べてつくった比較的新しい時期のものもある。その他、土坑や井戸なども検出することができ、溝と同様に、たくさんの遺物が出土した。江戸時代の絵図からは、本遺跡が山田氏の屋敷地に相当すると推定される。出土遺物の数は、2万点近くに及び、生産地 製作年代 器種 用途 染付 文様などは多種多様である。磁器は有田焼を中心になら上手のものが含まれており、漆塗の技法も確認できる。また、陶器は胎目跡の跡がのこる江戸時代初期の絵唐津の皿や京焼の注連繩文の碗など多岐にわたる。掲示した遺物の 1 は、山田氏の家紋「変ワリ横」を表象した軒丸瓦である。2 は、京焼系陶器、3～6 は肥前系の陶磁器である。今年度の整理作業では、4～6 月期に洗浄 注記 接合 復元の基礎整理を中心に、1 月～3 月期には実測を中心に行った。接合は染付の文様を利用し、且つ多様な器種の特徴に着目することによって、極小の破片まで接着可能となった。

整理業務は、次年度に継続し、報告書を行行する予定である。(福良)



出土遺物

IV 埋蔵文化財センターの活動

(1) 企画行事等の開催

期日	内 容	参加人数
9. 7/2	第1回市町村埋蔵文化財担当者専門職員研修会 『阿波の条里開発－吉野川下流域を中心にして』 喰門教育大教授 木原 克司 『石井町内の遺跡について』 石井町教育委員会主事 奈賀 哲人 『第十白鳥線発掘調査地の説明』 泊 強	34名
9. 7/29～9/14	1997発掘とくしま（平成8年度埋蔵文化財速報展）	1,978名
9. 8/9	第1回 平成8年度調査成果報告会 荒川遺跡 松永 雅行 新藏一丁目遺跡 福良 裕 吉水遺跡 宮本 和宏 西原遺跡 大橋 育順	51名
9. 8/23	第2回 平成8年度調査成果報告会 相知遺跡 井出上遺跡 藤川 智之 延命遺跡 小泉 信司 庄遺跡 前川 直江 山田遺跡（I） 原 伸芳	60名
9. 8/30	平成8年度 埋蔵文化財速報展講演会 『矢野遺跡からみた縄文人の生活』 氏家 敏之 『ムラの風景－大柿遺跡の検討から－』 栗林 誠治	115名
9. 10/28	第2回市町村埋蔵文化財担当者専門職員研修会 『埋蔵文化財保護行政の現状と課題』 文化庁文化財保護部記念物課主任文化財調査官 岡村 道雄 『猪名庄遺跡 郡家遺跡の近況報告』 県教育委員会社会教育主事 岡山真知子	35名
10. 3/22	観音寺遺跡発掘調査報告会 藤川 智之	136名

(2) 資料の貸出

No	貸出先機関等	目的	貸出資料	期間
1	株新人物往来社	月刊『歴史読本』掲載	矢野遺跡 土製仮面写真	4/24～5/31
2	普谷全	デイリーヨミウリ掲載	矢野遺跡 土製仮面写真	4/18
3	三好町教育委員会	三好町史『歴史編』掲載	足代東原遺 動物形土製品写真	5/9
4	株地崎工業	社内報掲載	矢野遺跡 土製仮面写真	5/10～6/20
5	天羽利夫	徳島新聞掲載	大谷尻遺跡 全景写真	5/15～6/15
6	中四国縄文研究会	研究資料	矢野 山田Ⅰ 荒川遺跡 土器	6/14～6/15
7	株NTT	ホームページで紹介	センター展示室写真	6/13
8	株堀部建設工業	発掘現場内パネル展示	矢野遺跡 土製仮面写真 矢野 遺跡 銅鐸写真	7/7～7/31
9	NTT マルチメディア	ホームページで紹介	縄文の彩り写真	
10	鎌田幸子	ホロインイベント制作	土製仮面写真	
11	愛知県陶磁資料館	特別企画展展示 図録掲載	新蔵町1丁目出土土器	8/11～12/4
12	四国中世土器研究会	勉強会	大柿遺跡他中世土器	7/26～7/28

13 三好町教育委員会	三好町史「歴史編」掲載 教材用ビデオ作成	大柿遺跡空撮写真 矢野遺跡出土品 観音寺遺跡他	7/15~7/30 8/11 9/1
14 徳島市教育研究所	文化財学科リーフレット作成	土製板面写真	9/18~9/30
15 徳島文理大学	アサヒグラフ掲載	矢野遺跡銅鐸写真他	9/18~11/10
16 アサヒグラフ編集部	文化祭展示	荒川 吉水遺跡出土品他	10/31~11/3
17 美馬町	広報誌掲載	センター施設外観写真	10/8~10/15
18 徳島財務事務所	「吉野川新交流プラン」掲載	中島田遺跡発掘風景写真	10/24~12/8
19 地域政策研究所	三好町産業祭展示	円通寺遺跡四耳臺他	11/3
20 三好町教育委員会	井川町民祭で展示	石獣 ヒスイ製勾玉他	11/6~11/12
21 井川町教育委員会	「OUR徳島」放映	荒川遺跡	12/5
22 四国放送	図版掲載として掲載	矢野遺跡銅鐸写真	12/12~2/1
23 角川文化振興財團	「広報みよし」掲載	円通寺遺跡空撮写真	12/15~1/15
24 三好町教育委員会	歴史資料館常設展示	矢野遺跡銅鐸(レプリカ)	3/16~5/15
25 徳島市教育委員会	「古代史の論点」挿図	大谷尻遺跡写真	12/26~3/10
26 梓小学校	参考資料	大柿遺跡土器	1/31~2/1
27 四国中世土器研究会	鈴鹿市考古博物館展示	画文帯同向神獸鏡写真原版	1/28~
28 鈴鹿市教育委員会	企画展展示	延生軒遺跡出土品	4/5~6/5
29 徳島県立博物館	実績カタログ掲載	展示品 展示室の写真	2/6
30 株式会社京都科学	平成10年度春季特別展展示	矢野遺跡銅鐸写真	2/2~3/31
31 安土城考古博物館	あさんライブミュージアムで	黒谷郡頭遺跡スライド	2/23~3/10
32 プロジェクト推進局	情報発信		
33 (株)フジタ	社内報への掲載	大柿遺跡水田跡写真	2/20~3/20
34 徳島地域政策研究所	「吉野川事典(仮称)」へ掲載	中島田遺跡発掘風景写真	3/13~6/30
35 徳島大学総合科学部	公開講座へのテキスト使用	矢野遺跡銅鐸写真他	3/30~4/17
36 (株)りんかい建設	社内報への掲載	観音寺遺跡発掘調査状況写真	3/24~3/31

(3) 現地説明会等の開催

No	遺跡名	説 明 内 容	期 日	参加人数
1	円通寺遺跡	平成9年度調査成果の公表	9, 10/25	200名
2	大柿遺跡	平成9年度調査成果の公表	10, 2/21	300名
3	円通寺遺跡	遺跡見学会	9, 8/25	50名



▲大柿遺跡現地説明会風景

(4) 埋蔵文化財センターの見学（抜粋）

期日	団体名
9. 6/13	福井県埋蔵文化財センター（4名）
9/4	全埋協コンピューター等研究委員会（30名）
9/5	日本考古学協会埋文対策委員会（9名）
11/21	中国四国文化行政主管課長会議施設見学（22名）
11/23	大阪埋蔵文化財センター（1名）
2/17	栃木県埋蔵文化財センター（2名）
2/20	茨城県文化財課（2名）
3/1	兵庫県教育委員会（6名）
3/11	沖縄県埋蔵文化財センター（8名）

(5) 平成9年度来館者数

月	開館日数	来館者数				
		一般	高校生	中学生	小学生	計
4	25日	875	0	11	113	999
5	27日	612	4	7	299	922
6	25日	292	2	51	49	394
7	27日	245	7	9	28	289
8	27日	1,087	26	48	526	1,687
9	25日	441	5	5	37	488
10	26日	635	77	16	70	1,436
11	26日	67	1	5	38	1,064
12	21日	122	1	7	6	136
1	22日	124	2	1	6	133
2	23日	190	0	0	19	209
3	24日	1,158	8	22	125	1,313
	計	299日	6,456	133	182	2,299
						9,070

(6) 職員の対外活動

No	期間	人員	内容
1	9. 5/15	課長1	美馬郡退職校長会総会講師（徳島県穴吹町）
2	9. 5/23~5/25	研究員2	日本考古学協会第63回総会（東京都）
3	9. 6/1~9/30	課長1	徳島市市民講座講師（徳島市）
4	9. 6/12~6/13	課長 係長2	第18回全埋協総会（東京都）
5	9. 6/21~6/22	研究員1	日本文化財科学会（天理市）
6	9. 9/4~9/5	所長 局長 課長 係長2 研究員4	全埋協コンピュータ等研究委員会 中国 四国 九州ブロック地区委員会（埋文センター）
7	9. 10/8~10/9	研究員2	全埋協研修会（長野市）
8	9. 11/6~11/7	局長 課長 係長 研究員	全埋協中国 四国 九州ブロック会議（広島市）
9	10. 2/7~10. 2/8	研究員2	第43回埋蔵文化財研究集会（福岡県宗像郡）

(7) 刊行物

- 『徳島県埋蔵文化財センター年報 Vol. 8 1996年度』
『庄遺跡 I -大蔵省藏本団地宿舎新営工事（第1期工事）関連埋蔵文化財発掘調査報告書-』
徳島県埋蔵文化財センター調査報告書第16集
『立善寺遺跡跡-阿南工業高校電子機械科第2棟新築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』
徳島県埋蔵文化財センター調査報告書第17集
『新蔵町1丁目遺跡-徳島合同庁舎建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』
徳島県埋蔵文化財センター調査報告書第18集
『土佐泊大谷遺跡-建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』
徳島県埋蔵文化財センター調査報告書第19集
『新蔵町1丁目遺跡-徳島企業局総合管理センター建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』
徳島県埋蔵文化財センター調査報告書第20集
『庄遺跡 II -大蔵省藏本団地宿舎新営工事（第2期工事）関連埋蔵文化財発掘調査報告書-』
徳島県埋蔵文化財センター調査報告書第21集
『ウエノ遺跡-池田警察署建て替え工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』
徳島県埋蔵文化財センター調査報告書第22集

V 受贈図書

書名	寄贈者等名
北海道	
苦小牧市 美沢東遺跡群発掘調査概要報告書Ⅳ 平成8年度文庫歌謡跡Ⅱ	苦小牧市教育委員会 小樽市教育委員会
苦小牧市埋蔵文化財調査センター概要No13 1997年	苦小牧市埋蔵文化財調査センター
苦小牧市埋蔵文化財No10	苦小牧市埋蔵文化財調査センター
オハウシナイ1遺跡	平取町教育委員会(埋蔵文化財調査室)
みどりが丘1遺跡 平取桜井遺跡	平取町教育委員会(埋蔵文化財調査室)
ペナコリ1遺跡	平取町教育委員会(埋蔵文化財調査室)
ペナコリ1遺跡	平取町教育委員会(埋蔵文化財調査室)
二風谷遺跡	平取町教育委員会(埋蔵文化財調査室)
北海道開拓の村要覧 平成9年度	北海道開拓の村
手宮洞窟シンポジウム	小樽市教育委員会
美沢10遺跡	苦小牧市埋蔵文化財センター
美々 美沢	(財)北海道埋蔵文化財センター
美沢川流域の遺跡群 XIX 美々4遺跡	(財)北海道埋蔵文化財センター
澁里遺跡群Ⅶ 芦別市澁里9遺跡 19遺跡	(財)北海道埋蔵文化財センター
七飯町鳴川右岸遺跡 桜町遺跡	(財)北海道埋蔵文化財センター
調査年報9 平成8年度	(財)北海道埋蔵文化財センター
千歳市 キウス5遺跡(3)	(財)北海道埋蔵文化財センター
キウス5遺跡(4)B地区 C地区	(財)北海道埋蔵文化財センター
千歳市 キウス4遺跡	(財)北海道埋蔵文化財センター
千歳市 キウス3遺跡(4)	(財)北海道埋蔵文化財センター
恵庭市ルルマップ15遺跡	(財)北海道埋蔵文化財センター
美沢川流域の遺跡群 X X	(財)北海道埋蔵文化財センター
K39遺跡 大木地点	(財)北海道埋蔵文化財センター
K39遺跡 長谷工地点	札幌市教育委員会
K36遺跡 タカノ地点	札幌市教育委員会
函館市 中野B遺跡	札幌市教育委員会
	(財)北海道埋蔵文化財センター
青森県	
野尻(2)遺跡 野尻(3)遺跡 野尻(4)遺跡発掘調査報告書	青森県教育委員会
洞内城跡	青森県教育委員会
高屋敷館遺跡発掘調査概報	青森県教育委員会
桜ヶ峰(2)遺跡	青森県教育委員会
隈無(4)遺跡発掘調査報告書	青森県教育委員会
隱川(3)遺跡	青森県教育委員会
畑内遺跡IV	青森県教育委員会
八戸久保(2)遺跡 八戸久保(3)遺跡 幸神遺跡	青森県埋蔵文化財調査センター
石焼塼 西張(3)遺跡	青森県埋蔵文化財調査センター
朝日山(3)遺跡	青森県埋蔵文化財調査センター
近野遺跡V	青森県埋蔵文化財調査センター
宇田野(2)遺跡 宇田野(3)遺跡 草庵(3)遺跡	青森県埋蔵文化財調査センター
轟(2)遺跡	岩手県教育委員会
小沢館跡	青森県教育委員会
幸畠(6)遺跡 幸畠(6)遺跡 幸畠(3)遺跡	青森県教育委員会
松館遺跡	青森県教育委員会
十三塗遺跡	青森県教育委員会
琴湖(2)遺跡	青森県教育文化課
十三塗遺跡II	青森県教育文化課
田名部館跡	青森県教育委員会
垂柳遺跡 五輪野遺跡	青森県教育委員会
研究紀要 第2号	青森県埋蔵文化財調査センター
亥吉遺跡	青森県教育委員会
岩手県	
沢田 仙人東遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
耳取I遺跡A地区発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

書名	寄贈者等名
岬山牧場Ⅰ道路B地区範囲確認調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
尾呂部Ⅱ遺跡発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
岩脇遺跡発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
横町遺跡発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
江川鉄山跡発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
寺久保遺跡発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
鳩岡崎上の台遺跡発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
牧田貝塚発掘調査	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
柏山館跡発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
龍ヶ馬場遺跡発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
小幡遺跡第2次発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
日詰七久保遺跡発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
岩手県埋蔵文化財発掘調査報告（平成7年度分）	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
大日向Ⅱ遺跡発掘調査報告書－第2次～第5次調査－	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
柏山館跡発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
江川鉄山跡発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
沢田仙人東遺跡発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
小幡遺跡第2次発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
龍ヶ馬場遺跡発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
日詰七久保遺跡発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
岩脇遺跡発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
横町遺跡発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
岬山牧場Ⅰ道路B地区範囲確認調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
長倉Ⅳ遺跡 長倉V遺跡発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
紀要XVII	岩手県教育委員会
岩手県内遺跡発掘調査報告書（平成7年度）	早稲田大学文学部考古学研究室
船石野Ⅰ遺跡発掘調査報告書－純文時代列石遺構の調査－	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
山ノ内Ⅲ遺跡発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
山ノ内Ⅱ遺跡調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
久保遺跡調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
上鷹生遺跡発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
山屋前経塚 山屋館跡発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
瀬原Ⅰ遺跡第2次 3次発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
目名市Ⅱ遺跡発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
平沢Ⅰ遺跡発掘調査報告書Ⅲ	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
小幡遺跡第4次発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
岩手県埋蔵文化財発掘調査報告（平成8年度）	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
紀要XVIII	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
白井坂Ⅰ Ⅱ遺跡発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
下尻前Ⅱ遺跡	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
上甲子遺跡発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
松本館跡発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
板倉遺跡発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
和当地Ⅰ遺跡発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
田代遺跡発掘調査報告書	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
宮城県	仙台市歴史文化事業団
ネアンデルタール人の復活	多賀城市埋蔵文化財センター
多賀城市埋蔵文化財センター年報－平成7年度－	多賀城市教育委員会
高崎遺跡	多賀城市教育委員会
新田遺跡	多賀城市教育委員会
市川橋遺跡	多賀城市教育委員会
小沢原遺跡	多賀城市埋蔵文化財調査センター
第10回企画展「城壁の時代～律令制下の東北～」	多賀城市教育委員会
山王遺跡Ⅰ	仙台市教育委員会
野川遺跡	仙台市教育委員会
平成7年度 年報17	仙台市教育委員会
仙台平野の遺跡群	仙台市教育委員会
平成8年度 年報18	仙台市教育委員会
東方大学埋蔵文化財調査年報8	東北大埋蔵文化財調査研究センター
富沢 泉崎浦 口山遺跡	仙台市教育委員会

書名	寄贈者等名
地底の森ミュージアム年報 第1号 市民文化財研究員活動報告書1	側仙台市歴史文化事業団 仙台市富沢遺跡保存館 側仙台市歴史事業団
郡山遺跡 中在家南遺跡他	仙台市教育委員会 仙台市教育委員会
市民文化財研究員活動報告書2	財團法人仙台市歴史文化事業団
八幡沖遺跡	多賀城市教育委員会
留ヶ谷遺跡	多賀城市教育委員会
大日北遺跡	多賀城市教育委員会
高崎遺跡	多賀城市教育委員会
多賀城市埋蔵文化財調査センター年報－平成8年度－ 下ノ内浦 山口遺跡	多賀城市埋蔵文化財調査センター 仙台市教育委員会
船場遺跡ほか	宮城県教育委員会
四郎丸館跡	仙台市教育委員会
高屋敷遺跡ほか発掘調査報告書	仙台市教育委員会
郡山遺跡	仙台市教育委員会
富沢 泉崎浦 山口遺跡	仙台市教育委員会
安久遺跡	仙台市教育委員会
高柳遺跡	仙台市教育委員会
秋田県	仙台市教育委員会
池内遺跡 道標	秋田県教育委員会
秋田県埋蔵文化財センター年報15 平成8年度 東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書XXI－小田V遺跡－ 秋田県埋蔵文化財センター研究紀要 第12号	秋田県埋蔵文化財センター 秋田県教育委員会 秋田県埋蔵文化財センター
山形県	寒河江市教育委員会
寒河江市内道路発掘調査報告書(4) 年報 平成8年度	財團法人山形県埋蔵文化財センター
横ぐき桶跡発掘調査報告書	山形県埋蔵文化財センター
野新田遺跡発掘調査報告書	山形県埋蔵文化財センター
富山2遺跡発掘調査報告書	山形県埋蔵文化財センター
土崎遺跡 梵天塚遺跡 中谷地遺跡発掘調査報告書	山形県埋蔵文化財センター
西町田下遺跡発掘調査報告書	山形県埋蔵文化財センター
木戸下遺跡第2次発掘調査報告書	山形県埋蔵文化財センター
津谷遺跡発掘調査報告書	山形県埋蔵文化財センター
宮下遺跡発掘調査報告書	山形県埋蔵文化財センター
後田遺跡 大道下遺跡発掘調査報告書	山形県埋蔵文化財センター
塔の腰遺跡発掘調査報告書	山形県埋蔵文化財センター
福島県	福島県いわき市
登館跡 大谷遺跡 花ノ井遺跡	いわき市教育委員会
泉町C遺跡	いわき市教育委員会
根岸遺跡	いわき市教育委員会
いわき市教育文化事業団研究紀要 第8号 町内遺跡調査詳細分布調査報告書Ⅵ	財團法人教育文化事業団
都沢道遺跡 林口遺跡	猪苗代町教育委員会
観音寺城跡	猪苗代町教育委員会
市沢遺跡	猪苗代町教育委員会
永田遺跡	猪苗代町教育委員会
常磐自動車道遺跡調査報告9	いわき市教育委員会
郡山東部20	福島県教育委員会
福島県文化財調査報告書 第334集	郡山市教育委員会
安子島城跡	福島県教育委員会
咲田遺跡－赤城地区第5次調査報告－	郡山市教育委員会
清水台遺跡－第18 19 20次調査報告－	郡山市教育委員会
大安塙古墳群－第1次調査報告－	郡山市教育委員会
清水内遺跡－4区調査報告－	郡山市教育委員会
郡山市埋蔵文化財分布調査報告3	郡山市教育委員会
郡山市埋蔵文化財分布調査報告4	郡山市教育委員会
阿良久遺跡－1区調査報告－	郡山市教育委員会

書名	寄贈者等名
郡山東部18 郡山東部19 郡山東部21 郡山東部22 清水内遺跡－1 2 3区調査報告－ 夢田遺跡(第4次) 山田C遺跡(第1次) 岩ヶ作遺跡(第2次) 下羽庄遺跡－第3次調査報告－ 音路瓦窯跡 阿良久遺跡 正直B遺跡 西原遺跡群－大島地区調査報告－ 常磐自動車道遺跡調査報告8 常磐自動車道遺跡調査報告10 相馬開発元連遺跡調査報告V N T C 遺跡発掘調査報告 原町火力発電所関連遺跡調査報告質 弓手原A遺跡(第2次調査) 範囲確認調査(弓手原A遺跡) 獣子内遺跡(第2次調査) 親團確認調査(獣子内遺跡 梅ノ原遺跡) 福島県文化財調査報告書 第339集	郡市教育委員会 郡市教育委員会 郡市教育委員会 郡市教育委員会 郡市教育委員会 郡市教育委員会 郡市教育委員会 郡市教育委員会 郡市教育委員会 郡市教育委員会 郡市教育委員会 郡市教育委員会 郡市教育委員会 福島県教育委員会 福島県教育委員会 福島県教育委員会 福島県教育委員会 福島県教育委員会 福島県教育委員会 福島県教育委員会 福島県教育委員会 福島県教育委員会 福島県教育委員会 福島県教育委員会 福島県教育委員会 福島県教育委員会 福島県教育委員会 福島県教育委員会 福島県教育委員会 福島県教育委員会
茨城県 筑波大学先史学 考古学研究 第8号 花室川の歴史と文化 筑波大学先史学 考古学研究 第8号 茨城県遺跡 古墳発掘調査報告書Ⅷ(平成6~7年度) 遺跡発掘出土品展玉里の遺跡 武田X 船底遺跡群 フィールドノート Vol. 9 上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報 第1号 上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報 第2号 国指定史跡上高津貝塚整備事業報告書 土浦城(外丸御殿跡)発掘調査報告書 土浦市養老田遺跡発掘調査報告書 六十原A遺跡 上高津貝塚ふるさと歴史の広場要覧 富士正晴資料目録VI 年報16 平成8年度 研究ノート6号 ひたちなか市埋蔵文化財調査センター年報 第2号 五万堀遺跡 玉里村立資料館報 第2号 企画展常陸國府の時代 取手都市計画事業下高井特定土地区域整理事業地内埋蔵文化財調査報告書 主要地方道水戸茂木線道路改良工事地内埋蔵文化財調査報告書 主要地方道取手東線緊急前方道路整備事業地内埋蔵文化財調査報告書 一般国道118号道路事業地内埋蔵文化財調査報告書 伊奈 谷和原丘陵部特定土地区域整理事業地内埋蔵文化財調査報告書 一般国道6号東水戸道路改築工事地内埋蔵文化財調査報告書 茨城中央工業団地造成工事地内埋蔵文化財調査報告書 北浦複合団地造成事業地内埋蔵文化財調査報告書I 主要地方道つくば古河線緊急地方道路事業地内埋蔵文化財調査報告書 (仮称) 茨城地区特定土地区域整理事業地内埋蔵文化財調査報告書II (仮称) 鳥島 福田坪地区特定土地区域整理事業地内埋蔵文化財調査報告書III (仮称) 葛城地区特定土地区域整理事業地内埋蔵文化財調査報告書IV 北関東自動車道(友部一水戸)建設事業地内埋蔵文化財調査報告書I 北関東自動車道(友部一水戸)建設事業地内埋蔵文化財調査報告書II 阿見東部工業団地造成工事地内埋蔵文化財発掘調査報告書	筑波大学歴史 人類学系 上高津貝塚ふるさと歴史の広場 筑波大学 歴史 人類学系 茨城県教育委員会 玉里村立資料館 財团法人ひたちなか市文化 スポーツ振興公社 財团法人ひたちなか市文化 スポーツ振興公社 御ひたちなか市文化 スポーツ振興公社 土浦上高津貝塚ふるさと歴史の広場 上高津貝塚ふるさと歴史の広場 土浦市教育委員会 土浦市教育委員会 土浦市教育委員会 土浦市教育委員会 土浦上高津貝塚ふるさと歴史の広場 茨城市立中央図書館併設富士正晴記念館 茨城県教育財団 茨城県教育財団 ひたちなか市埋蔵文化財調査センター 玉里村立史料館 玉里村立史料館 玉里村立史料館 財团法人茨城県教育財団 財团法人茨城県教育財団 財团法人茨城県教育財団 財团法人茨城県教育財団 財团法人茨城県教育財団 財团法人茨城県教育財団 財团法人茨城県教育財団 財团法人茨城県教育財団 財团法人茨城県教育財団 財团法人茨城県教育財団 財团法人茨城県教育財団 財团法人茨城県教育財団 財团法人茨城県教育財団 財团法人茨城県教育財団 財团法人茨城県教育財団 財团法人茨城県教育財団 財团法人茨城県教育財団 財团法人茨城県教育財団 財团法人茨城県教育財団
栃木県 小倉水神社裏遺跡 水木東遺跡	栃木県教育委員会

書名	寄贈者等名
山海道遺跡	栃木県教育委員会
三輪仲町遺跡	栃木県教育委員会
下野国分寺跡	栃木県教育委員会
西裏遺跡	栃木県教育委員会
那須官衙開達遺跡IV	栃木県教育委員会
八幡根遺跡	栃木県教育委員会
横倉戸館遺跡	栃木県教育委員会
外城遺跡(塙城跡)	栃木県教育委員会
間々田地区遺跡群I	栃木県教育委員会
湯泉神社北遺跡	栃木県教育委員会
戸木内遺跡(第4次調査)	栃木県教育委員会
栃木県埋蔵文化財保護行政年報19	栃木県教育委員会
研究紀要第5号	栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター
栃木県立博物館研究紀要第14号	栃木県立博物館
栃木県立なす風土記の丘資料館年報第5号(平成8年度版)	栃木県教育委員会
第60回企画展「明治天皇と御幸」	栃木県立博物館
栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター年報 第7号	栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター
前方後方墳の世界II	栃木県教育委員会
栃木県文化振興事業団年報	栃木県文化振興事業団
金山遺跡IV	栃木県教育委員会
金山遺跡V	栃木県教育委員会
藤岡神社遺跡(造標編)	栃木県教育委員会
品川台遺跡	栃木県教育委員会
柿の内遺跡 下台原南遺跡	栃木県教育委員会
下り遺跡 二本木A遺跡 二本木B遺跡	栃木県教育委員会
道下遺跡	栃木県教育委員会
栃木県埋蔵文化財センター早わかりファイル	栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター
飯土井上組遺跡 波志江中岸峰遺跡	波志江中岸峰遺跡
群馬県	
中沢平賀界戸遺跡	財群馬県埋蔵文化財調査事業団
新保田中村前遺跡IV	財群馬県埋蔵文化財調査事業団
波志江今宮遺跡	財群馬県埋蔵文化財調査事業団
中江田八ツ橋遺跡	財群馬県埋蔵文化財調査事業団
吹屋瓜田遺跡	財團法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
中宿在家遺跡	吉井町教育委員会
長根遺跡群発掘調査報告書	吉井町教育委員会
平成8年度 町内遺跡発掘調査報告書	笠懸野岩宿文化資料館
「考古学からみた戦国時代」—上野東部地域を中心として—	洪川市教育委員会
中筋遺跡	笠懸野岩宿文化資料館
「環状ブロック群」	笠懸野岩宿文化資料館
群馬の岩宿時代の変遷と特色	財群馬県埋蔵文化財調査事業団
石器石材 II	財群馬県埋蔵文化財調査事業団
上栗須寺前遺跡群III	財群馬県埋蔵文化財調査事業団
黒熊八幡遺跡	群馬県立歴史博物館
白井北中道II遺跡 吹屋犬子塚遺跡 吹屋中原遺跡	財群馬県埋蔵文化財調査事業団
特別展「群馬の遺跡2-発掘最前線'97-」	財群馬県埋蔵文化財調査事業団
小島田八日市遺跡	群馬県立歴史博物館
長根安坪遺跡	財群馬県埋蔵文化財調査事業団
白井遺跡-古墳時代編-(白井二位屋遺跡 白井南中道遺跡 白井丸沼遺跡 白井北中	財群馬県埋蔵文化財調査事業団
荒砥上ノ坊遺跡III	財群馬県埋蔵文化財調査事業団
神保植松遺跡	財群馬県埋蔵文化財調査事業団
うつぼ井中屋敷遺跡	財群馬県埋蔵文化財調査事業団
天引孤崎遺跡II	財群馬県埋蔵文化財調査事業団
多比良追野遺跡	財群馬県埋蔵文化財調査事業団
ミドノ遺跡群 ミドノ上郷遺跡 竹沼遺跡	財群馬県埋蔵文化財調査事業団
矢田遺跡Ⅲ	群馬県立合板會教育委員会
波紋(HAMON)	(財)埋蔵文化財調査事業団調査報告
矢田遺跡Ⅳ	財群馬県埋蔵文化財調査事業団
年報16-	財群馬県埋蔵文化財調査事業団
研究紀要14	財群馬県埋蔵文化財調査事業団

書名	寄贈者等名
西大室丸山遺跡	群馬県教育委員会
岩押町II遺跡	高崎市遺跡調査会
高崎城XIV遺跡	高崎市遺跡調査会
上中居西屋敷II遺跡	高崎市遺跡調査会
大沢遺跡	高崎市遺跡調査会
上中居荒神I遺跡	高崎市遺跡調査会
上浦櫛町北II遺跡	高崎市遺跡調査会
上大槻坂サ堤遺跡	高崎市遺跡調査会
上並木御料所II遺跡	高崎市遺跡調査会
中尾村前VI遺跡	高崎市遺跡調査会
飯塚大苗代遺跡	高崎市遺跡調査会
上中居島薬師遺跡	高崎市遺跡調査会
飯塚大道東遺跡	高崎市遺跡調査会
高崎情報圃遺跡	高崎市教育委員会
上小幡村東I・II遺跡	高崎市教育委員会
南大領東沖 稲荷遺跡	高崎市教育委員会
高崎市内遺跡埋蔵文化財緊急発掘調査報告書11	高崎市教育委員会
高崎市内遺跡出土資料整理報告書1 - 平成8年度資料整理報告-	高崎市教育委員会
埼玉県	
鳩山町最新出土品展	鳩山町教育委員会
埼玉県立埋蔵文化財センター年報6 - 平成7年度 -	埼玉県立埋蔵文化財センター
遺跡調査室年報IX 平成8年度	立正大学熊谷校地遺跡調査室
遺跡調査室年報VII 平成7年度	立正大学熊谷校地遺跡調査室
市内遺跡調査報告3	所沢市教育委員会
後内出遺跡 第1次調査 東の上遺跡 第38次調査	所沢市教育委員会
和田遺跡 第18次調査	所沢市教育委員会
和田遺跡 第20次調査	所沢市教育委員会
所沢市立埋蔵文化財調査センター年報No2 (平成7年度)	所沢市立埋蔵文化財調査センター
今井川越田遺跡	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
原ノ谷畠	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
大山遺跡 第9次	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
五間中島ノ堤根	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
石神貝塚	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
流の宮坂遺跡	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
山王裏/上川入/西浦/野本氏館跡	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
広木上宿遺跡 -縄文時代編-	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
東町二丁目遺跡	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
築道下遺跡 I	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
戸崎前遺跡	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
埼玉県立埋蔵文化財調査事業団年報17	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
研究紀要 第13号	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
埼玉県立埋蔵文化財センター年報7	埼玉県立埋蔵文化財センター
千葉県	
芝山市内遺跡発掘調査報告書	芝山町教育委員会
千葉市根岸遺跡(1地区)	財團法人千葉市文化財調査協会
千葉市山王遺跡	財團法人千葉市文化財調査協会
市原市文化財センター年報 平成4年度	財團法人市原市文化財センター
東金市内遺跡発掘調査報告書	東金市教育委員会
千葉市上深見沢遺跡	財團法人千葉市文化財調査協会
福寿院遺跡	財團法人千葉市中央区南生実町1210
大烟台遺跡群発掘調査報告書II	木更津市教育委員会
中尾遺跡群発掘調査報告書III	木更津市教育委員会
千葉県木更津市内遺跡発掘調査報告書	木更津市教育委員会
坂原21号墳	木更津市教育委員会
千葉県文化財センター研究紀要17	千葉県文化財センター
研究連絡誌第48号	財團法人千葉県文化財センター
美生遺跡群II	(財)君津都市文化財センター
泉遺跡発掘調査報告書II	(財)君津都市文化財センター
寒沢古墳群 安吉古墳群 寒沢遺跡 上用瀬遺跡発掘調査報告書	(財)君津都市文化財センター

書名	寄贈者等名
大烟台遺跡群大烟台遺跡(C)発掘調査報告書	勝君津都市文化財センター
西原遺跡	勝君津都市文化財センター
歴博82	国立歴史民俗博物館
東邦考古 第21号	東邦考古学研究会
千葉県富津市萩ノ作遺跡発掘調査報告書	勝君津都市文化財センター
平成8年度千葉県富津市内遺跡発掘調査報告書	富津市教育委員会
大寺山洞穴	千葉大学文学部考古学研究室
千葉県長生郡長柄町 谷口遺跡 吹良遺跡	財団法人長生郡市文化財センター
千葉県長生郡長柄町 大久保遺跡	財団法人長生郡市文化財センター
千葉県夷隅郡大喜多町 横山白山台遺跡	財団法人夷隅郡市文化財センター
千葉県夷隅郡大喜多町 土島田遺跡	財団法人夷隅郡市文化財センター
茂原市西谷貝塚発掘調査報告書	財団法人千葉県文化財センター
市原市西谷遺跡第2次発掘調査報告書	財団法人千葉県文化財センター
研究連絡誌 第49号	勝君津都市文化財センター
歴博83	国立歴史民俗博物館
山武考古学研究所年報No14	山武考古学研究所
事業報告VI - 平成7年度 -	勝香取都市文化財センター
津宮鬼沙門遺跡	勝香取都市文化財センター
反蹴遺跡	勝香取都市文化財センター
中ノ台遺跡A地区	勝香取都市文化財センター
桜之宮1号墳	勝香取都市文化財センター
名号戸遺跡	勝香取都市文化財センター
多古台遺跡群No.8地点II	勝香取都市文化財センター
千葉県印旛郡印旛村 吉高浅間古墳発掘調査報告	印旛郡市文化財センター
小菅三ツ塚遺跡	印旛郡市文化財センター
南羽鳥遺跡群遺跡 I	印旛郡市文化財センター
大室十三塚	印旛郡市文化財センター
千葉県佐倉市 太田向原遺跡発掘調査報告書	佐倉市
吉見台遺跡B地点	白井町教育委員会
河原子台II - 2 3遺跡	国立歴史民俗博物館
歴博84	千葉県立總南博物館
千葉県立總南博物館年報4	千葉県立總南博物館
千葉県立總南博物館研究報告 第1号	千葉市立加曾利貝塚博物館
加曾利貝塚	勝君津都市文化財センター
美生遺跡群III	勝君津都市文化財センター
-千葉県袖ヶ浦市-上笠上谷遺跡(2)	袖ヶ浦市
千葉県木更津市蓬莱寺遺跡III	君津市
-千葉県袖ヶ浦市-神納三保台遺跡	君津市
龜塚遺跡	君津市
富津陣屋跡発掘調査報告書	君津市
千葉県木更津市 中越遺跡	君津市
千葉県富津市 富士見台遺跡VI	君津市
池ノ谷2号塚	君津市
外荒輪遺跡III	君津市
根形台遺跡群X VI地点	君津市
-千葉県袖ヶ浦市-谷ノ台遺跡II	君津市
君津都市文化財センター研究紀要VII	宗教法人灘泉寺
歴博85	君津都市文化財センター
大網山田台遺跡群III	君津都市文化財センター
根本遺跡	君津都市文化財センター
山田 宝馬古墳群(1020地点)	君津都市文化財センター
御田台遺跡(並岡1010-1地点)	君津都市文化財センター
研究ノート山武 創刊号	君津都市文化財センター
文化財かわら版8	君津都市文化財センター
歴博86	君津都市文化財センター
山武考古学研究所年報No15	君津都市文化財センター
三川倉橋前遺跡	君津都市文化財センター
財団法人八尾市文化財調査研究会報告57 財団法人八尾市文化財調査研究会57	君津都市文化財センター
千葉県文化財センター年報 No22-平成8年度-	君津都市文化財センター
流山市花山東遺跡	君津都市文化財センター
千原台ニュータウン7	郵政省関東郵政局
	住宅 都市整備公団

書名	寄贈者等名
流山市若宮第II遺跡	千葉県文化財センター
矢那川ダム埋蔵文化財調査報告書1	千葉県土木部
一般国道296号国道路改良事業埋蔵文化財調査報告書	千葉県土木部
佐倉市弥勒東台遺跡	建設省関東地方建設局
東金市大闖城跡	千葉県道路公社
県道山田台大網白里線埋蔵文化財調査報告書1	千葉県土木部
成田国際物流複合基地埋蔵文化財調査報告書1	千葉県企業庁
主要地方道多古並木線埋蔵文化財調査報告書	千葉県土木部
新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書X	新東京国際空港公團
多古町一鶴田甚兵衛山遺跡	新東京国際空港公團
土木保守管理センター等埋蔵文化財調査報告書	新東京国際空港公團
八日市場市借当川沼田泥炭遺跡	千葉県土木部
千葉市武石遺跡	東京国税局
村上遺跡群埋蔵文化財調査報告書	日本道路公團
君津市常代遺跡	千葉県土木部
袖ヶ浦市大塚台遺跡	日本電信電話株式会社
佐倉市下藤田台畠遺跡	千葉県文化財センター
本塙村大門遺跡	千葉県文化財センター
研究連絡誌 第50号	千葉県文化財センター
研究連絡誌 第51号	国立歴史民俗博物館
歴博87	財団法人山武都市文化財センター
藤ヶ谷遺跡 大平台遺跡 中ノ台遺跡 馬場A遺跡	財団法人山武都市文化財センター
上吹入城跡	財団法人山武都市文化財センター
森谷遺跡群(北野支群)	財団法人山武都市文化財センター
稲荷谷II遺跡	財団法人山武都市文化財センター
鷺山入遺跡218-1地点	財団法人山武都市文化財センター
油井古墳原遺跡(丑子台1,028地点)	財団法人山武都市文化財センター
大網山田台遺跡群IV	財団法人山武都市文化財センター
東絶文化財センター一年報1(平成3~4年度)	財団法人東絶文化財センター
東京都	駿台史学会
駿台史學第100号	国立歴史民俗博物館
国立歴史民俗博物館研究年報4(1995年度)	板橋区四葉地区遺跡調査会
板橋区四葉地区遺跡 平成8年度	府中市遺跡調査会 府中市教育委員会
武藏國府間連遺跡調査報告14	府中市教育委員会 府中市遺跡委員会
武藏國府間連遺跡調査報告15	新宿区市谷加賀町一丁目遺跡調査団
東京都新宿区市谷加賀町一丁目遺跡I	新宿区筑土八幡町遺跡調査団
東京都新宿区筑土八幡町遺跡	財団東京都教育文化財団
多摩ニュータウン遺跡	葛飾区教育委員会生涯學習課
葛飾区埋蔵文化財調査年報 平成5~6年度	葛飾区遺跡調査会
柴又河川敷遺跡III	板橋区四葉遺跡調査会
板橋区四葉地区遺跡 平成8年度概要報告 27ブロック調査分	東京都埋蔵文化財センター
尾張瀬上屋敷跡遺跡発掘調査概要V	財団東京都教育文化財団
沙留遺跡	早稲田大学大学院文学研究科
文学研究科紀要	早稲田大学大学院文学研究科
史観	早稲田大学史学会
史観	早稲田大学史学会
飛鳥山遺跡	東京都北区教育委員会郷土博物館建設準備室
江戸城外堀跡 四谷御門外橋詰 御堀端通 町屋跡(考察編)	帝都高速度交通公社地下鉄7号線渋谷駅跡調査会
書院部紀要 第48号	宮内庁書院部
研究紀要4 平成8年	東京都港区教育委員会
港区指定文化財平成8年度	港区教育委員会
人間国宝(木工芸)中だい瑞真作品展	港区立港郷土資料館
十条久保遺跡発掘調査概要	十条久保遺跡調査会
沙留遺跡	財団東京都教育文化財団
池ノ端七軒町遺跡(慶安寺跡)	台東区池ノ端七軒町遺跡調査会
富士見台遺跡 都立富士高校内埋蔵文化財発掘調査報告書	都立学校遺跡調査会
小石川(近世 近代遺構編)	都立学校遺跡調査会

書名	寄贈者等名
日性寺B遺跡	都立学校遺跡調査団
学芸研究紀要 第13集	東京都教育庁生涯学習部文化課
下戸塚遺跡の調査	早稲田大学
真人原遺跡II	真人原遺跡発掘調査団
人類誌集報1997－漆利用の人類誌 飛驒山峠の人類誌－古代 第103号	漆利用の人類誌調査 飛驒山峠の人類誌調査グループ
東京都新宿区西早稲田三丁目遺跡II	早稲田大学考古学会
多摩ニュータウン遺跡	新宿区西早稲田3丁目遺跡調査会
御殿前遺跡V	東京都埋蔵文化財センター
下十条遺跡	東京都北区教育委員会生涯学習推進課
国立歴史民俗博物館研究年報1 (1991 1992年度)	東京都北区教育委員会生涯学習推進課
国立歴史民俗博物館研究年報2 (1993年度)	国立歴史民俗博物館
東京都新宿区百人町三丁目西遺跡II	新宿消防改築予定地遺跡調査団
溜池遺跡	総理府
溜池遺跡	帝都高速度交通営団
溜池遺跡	帝都高速度交通営団
中里貝塚1997発掘調査概報	東京都北区教育委員会生涯学習推進課
国立歴史民俗博物館要覧	国立歴史民俗博物館
武藏国分寺跡西方地区 武藏台遺跡II	都立府中病院内遺跡調査団
出山横穴墓群8号墓	三鷹市教育委員会
落川 一の宮遺跡調査略報V	落川 一の宮遺跡(日野3 2 7号線) 調査会調査団
春日町遺跡第V地点	文京区遺跡調査会
東京大学資料編纂所研究紀要第7号	東京大学資料編纂所
東京大学資料編纂所報第31号 (1995年度)	東京大学資料編纂所
NEWSLETTER 文化人類学 No.4	財民族学振興会
武藏国分寺関連遺跡の調査Ⅲ	武藏国分寺関連遺跡調査会(府中市計画道路3 2 2の2号線)
駒込巣鴨手御先手組屋敷	都内遺跡調査会
東京都新宿区南町遺跡II	新宿区南町遺跡調査団
上野恩賜公園遺跡群	東京藝術大学発掘調査団
多摩ニュータウン遺跡	東京都教育委員会
ネアンデルタール人の復活	㈱ジャパン通信社
物見処遺跡	国学院大学文学部考古学研究室
物見処遺跡	国学院大学文学部考古学研究室
柳又遺跡 A地点第7次発掘調査報告書	国学院大学文学部考古学研究室
東京大学構内遺跡調査研究年報1 1996年度	東京大学埋蔵文化財調査室
多摩ニュータウン遺跡	財東京都教育文化財団東京都埋蔵文化財センター
東京都埋蔵文化財センター年報17 平成8年度	財東京都教育文化財団東京都埋蔵文化財センター
千駄ヶ谷五丁目遺跡	千駄ヶ谷五丁目遺跡調査会
綱代門口	東京都埋蔵文化財センター
音原神社台地上遺跡	北青山遺跡調査会
北青山遺跡	足立区伊興遺跡調査会
伊興遺跡	駿台史学会
駿台史學第101号	東京大学
東京大学創立120周年記念東京大学展	東京大学
東京大学創立120周年記念 東京大学 知の開放 番組案内	東京大学
東京大学創立120周年記念東京大学展	東京大学
東京大学創立120周年記念東京大学展	東京大学
東京大学創立120周年記念 年譜 1877-1977-1997	東京大学
東京都理蔵文化財センター要覧	財東京都教育文化財団
多摩ニュータウン遺跡	東京都埋蔵文化財センター
武藏国分寺関連遺跡調査報告20	府中市教育委員会
多摩ニュータウン遺跡	財東京都教育文化財団
多摩ニュータウン遺跡	財東京都教育文化財団
東京都井の頭池遺跡群 吉祥寺南町3丁目遺跡B地点	吉祥寺南町遺跡調査団
東京都井の頭池遺跡群 吉祥寺南町1丁目遺跡I地点	武藏野市吉祥寺南町1丁目遺跡
東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目遺跡	千駄ヶ谷五丁目遺跡調査会
鳥居敷遺跡I	三鷹市教育委員会
柳又遺跡A地点第7次発掘調査報告書	国学院大学文学部考古学研究室
三田台町 三田台裏町 芝伊豆子台町屋遺跡発掘調査報告書特別展 沙留遺跡	港区No.101遺跡調査団
落川 一の宮遺跡調査略報VI	港区立港郷土資料館
	落川 一の宮遺跡(日野3 2 7号線) 調査会

書名	寄贈者等名
多摩ニュータウン遺跡 先行調査報告7 新宿区牛込城跡（江戸時代武家屋敷地の調査） 東京都新宿区内藤町遺跡II 青山史学 第15号 多摩ニュータウン遺跡 大橋遺跡 東京都新宿区住吉町西遺跡I 武藏国分寺跡西方地区 府中病院道路拡張に伴う試掘調査報告書I 駿台史学 第102号 武藏国府開闢遺跡調査報告 武藏国府開闢遺跡調査報告19 平成8年度 武藏野市埋蔵文化財調査報告書 古代史の論点4 駿台史学 第103号	財団 東京都教育文化財団 新宿区袋町遺跡調査団 新宿区内藤町遺跡調査団 青山学院大学文学部史学科研究室 東京都埋蔵文化財センター 目黒区大橋遺跡調査会 新宿区遺跡調査会 府中病院内遺跡調査会 駿台史学会 府中市教育委員会 府中市教育委員会 武藏野市教育委員会 小学校 駿台史学会
神奈川県 疊層の上遺跡 西谷戸の上遺跡 北川貝塚南遺跡 六浦大道やぐら群発掘調査報告 芦沢配水池開通道路群 行谷遺跡 大島仲ノ谷遺跡 濱詰谷西遺跡 横ノ木坂遺跡 宮ヶ瀬遺跡群 原口遺跡 宮ヶ瀬遺跡群 バネルディスクッション「敷石住居の謎に迫る」記録集 神奈川県遺跡範囲確認調査報告3 神奈川県埋蔵文化財調査報告39 青山開戸遺跡 史跡永福寺跡 鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 財団法人横浜ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター年報7 かながわ考古学 研究紀要2 神奈川県平塚市源町C遺跡 宮ヶ瀬遺跡群 下大根峯遺跡 (No30) 池子遺跡群 西ノ谷遺跡 宮畑 (No34) 遺跡 矢頭 (No35) 遺跡 大久保 (No36) 遺跡 中里遺跡 (No31) 西大竹 上原遺跡 (No32) 藤沢市文化財調査報告書第32集 吉岡遺跡群の発掘成果から 吉岡遺跡群III 吉岡遺跡群IV 旧石器時代2 繩文時代1 市ノ沢团地遺跡 池子遺跡群V	日本道路公團 神奈川県横浜治水事務所 財団法人 かながわ考古学財団 財団法人 かながわ考古学財団 財団法人 かながわ考古学財団 財団法人 かながわ考古学財団 神奈川県立埋蔵文化財センター 神奈川県教育委員会 神奈川県教育委員会 財団法人 かながわ考古学財団 鎌倉市教育委員会 鎌倉市教育委員会 財団横浜市ふるさと歴史財団 かながわ考古資料刊行会 源町C遺跡発掘調査団 財団かながわ考古財団 財団かながわ考古学財団 財団かながわ考古学財団 横浜市教育委員会 財団かながわ考古学財団 財団かながわ考古学財団 藤沢市教育委員会 財団かながわ考古学財団 財団かながわ考古学財団 財団かながわ考古学財団 市ノ沢团地遺跡調査団 財団かながわ考古学財団
新潟県 上ノ平遺跡C地点 大堀遺跡 新潟県埋蔵文化財調査事業団年報 七堀道下遺跡 大洞原C遺跡 奥三面遺跡群	新潟県教育委員会 新潟県教育委員会 財団 新潟県埋蔵文化財調査事業団 新潟県教育委員会 新潟県教育委員会 朝日町教育委員会
富山县 下村埋蔵文化財調査報告書1 舟橋村埋蔵文化財調査報告書1 埋蔵文化財調査概要一平成8年度ー 埋蔵文化財年報8 江馬氏城館跡 水見市埋蔵文化財分布調査報告IV 象鼻山1号古墳－第1次発掘調査の成果－ 東京都埋蔵文化財センター研究論集XVI	下村教育委員会 富山県埋蔵文化財センター 財団 富山県文化振興財団 財団法人 富山県文化振興財団 神岡町教育委員会 水見市教育委員会 美老町教育委員会 東京都埋蔵文化財センター

書名	寄贈者等名
上の平遺跡 東山北遺跡 銚子塚古墳南東部	山梨県教育委員会
桜田遺跡	山梨県教育委員会
向河原遺跡	建設省甲府工事事務所
北村遺跡	長坂町教育委員会
酒呑場遺跡 G区	長坂町教育委員会
長坂上条遺跡	山梨県教育委員会
東河原遺跡	山梨県教育委員会
清里バイパス第1遺跡 清里バイパス第2遺跡	山梨県教育委員会
大師東丹保遺跡1区	山梨県教育委員会
津呂木道上第5遺跡	若草町教育委員会
角力場第2遺跡	若草町教育委員会
大塚遺跡	山梨県教育委員会
九鬼II遺跡	山梨県教育委員会
外ガイド遺跡	山梨県教育委員会
中谷遺跡	山梨県教育委員会
中溝遺跡 捩久保遺跡	山梨県教育委員会
平野遺跡	山梨県教育委員会
甲ノ原遺跡III	山梨県教育委員会
長野県	
長野県立歴史館研究紀要 第3号	長野県立歴史館
中央自動車道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書16	日本道路公団名古屋建設局
上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書13	長野県教育委員会
池端城跡	佐久市教育委員会
藤塚遺跡III	佐久市教育委員会
寺中遺跡 中屋敷遺跡II	佐久市教育委員会
坪の内遺跡	佐久市教育委員会
円正坊遺跡II	佐久市教育委員会
市内遺跡発掘調査報告書 1995	佐久市教育委員会
番屋前遺跡 I II	佐久市教育委員会
聖原遺跡X	佐久市教育委員会
高師町遺跡II	佐久市教育委員会
佐久市埋蔵文化財年報5 平成7年度	00長野県埋蔵文化財センター
長野県埋蔵文化財センター年報13 1996	00長野県埋蔵文化財センター
長野県埋蔵文化財センター紀要5 1996	長野県教育委員会
大規模開発事業用地内遺跡	日本道路公団名古屋建設事務所
中央自動車道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書 15	長野市教育委員会
浅川崩壊地遺跡群 三輪遺跡(5) 小島柳原遺跡群 上中島遺跡	長野市教育委員会
浅川崩壊地遺跡群 二ツ宮遺跡(2) 浅川崩壊地遺跡群 吉田町東道路跡	長野市教育委員会
布施塚1号古墳 2号古墳	長野市教育委員会
柏尾南遺跡	長野市教育委員会
浅川崩壊地遺跡群 松ノ木田遺跡II	長野市教育委員会
小島 柳原遺跡群 水内坐一元神社遺跡II	長野市教育委員会
岐阜県	
南山遺跡	美濃市教育委員会
段遺跡	美濃市教育委員会
改田遺跡	美濃市教育委員会
北小木古窯跡群 大沢13号古窯跡	財团法人岐阜県文化財保護センター
飛瀬 底津遺跡	財团法人岐阜県文化財保護センター
山手宮前遺跡	財团法人岐阜県文化財保護センター
堀田城之内遺跡	財团法人岐阜県文化財保護センター
小間御祭田遺跡	財团法人岐阜県文化財保護センター
カクシクレ遺跡	財团法人岐阜県文化財保護センター
与島古墳群	各務原市教育委員会
坊の塚古墳周縁範囲確認調査報告書	各務原市教育委員会
村雨町遺跡A地区発掘調査報告書	各務原市教育委員会
静岡県	
静岡県埋蔵文化財年報 (平成7年度)	静岡県教育委員会
磐名遺跡V (遺物編II)	財团法人静岡県埋蔵文化財調査研究所

書名	寄贈者等名
川合遺跡 遺物編 I (土器 土製品本文編)	静岡県埋蔵文化財調査研究所
川合遺跡 遺物編 3 (木製品本文編)	静岡県埋蔵文化財調査研究所
向笠原遺跡原遺跡発掘調査報告書	磐田市教育委員会
勾坂上 2 遺跡発掘調査報告書	磐田市教育委員会
平成 8 年度 遠江国分寺跡周辺 国分寺 国府台遺跡発掘調査報告書	磐田市教育委員会
御殿 二之宮遺跡 第 28 33 34 次発掘調査報告書	磐田市教育委員会
石原沢遺跡 II	袋井市教育委員会
八幡山横穴群	袋井市教育委員会
東原ノ坪遺跡	袋井市教育委員会
静岡県埋蔵文化財調査研究所年報 X III (平成 8 年度事業概要)	財團法人静岡県埋蔵文化財調査研究所
川合遺跡 17 区	財團法人静岡県埋蔵文化財調査研究所
川合遺跡遺物編 I (土器 土製品図版編)	財團法人静岡県埋蔵文化財調査研究所
川合遺跡遺物編 3 (木製品図版編)	財團法人静岡県埋蔵文化財調査研究所
加茂ノ洞 B 遺跡	財團法人静岡県埋蔵文化財調査研究所
丸山古窯跡	財團法人静岡県埋蔵文化財調査研究所
八田原遺跡	財團法人静岡県埋蔵文化財調査研究所
道下遺跡	財團法人静岡県埋蔵文化財調査研究所
静岡の原像をさぐる発掘調査報告会	静岡県教育委員会
静岡県埋蔵文化財調査研究所研究紀要 第 V 号	静岡県埋蔵文化財調査研究所
木野川流域遺跡群発掘調査事業報告書 平成 8 年度	大飯有能勢町教育委員会
鶴松遺跡Ⅳ	袋井市教育委員会
池ヶ谷遺跡 IV	財團法人静岡県埋蔵文化財調査研究所
平成 9 年度 中原 A 古墳群発掘調査報告書	磐田市教育委員会
焼場遺跡 A 地点	財團法人静岡県埋蔵文化財調査研究所
角江遺跡 II 遺物編 土器 土製品	財團法人静岡県埋蔵文化財調査研究所
角江遺跡 II 遺物編 2 木製品	財團法人静岡県埋蔵文化財調査研究所
角江遺跡 II 遺物編 3 石器 金觸製品他	財團法人静岡県埋蔵文化財調査研究所
角江遺跡 II 遺構編	財團法人静岡県埋蔵文化財調査研究所
角江遺跡 II 遺物編 (土器 土製品) 別冊図版	財團法人静岡県埋蔵文化財調査研究所
中峯遺跡	財團法人静岡県埋蔵文化財調査研究所
大見城跡	財團法人静岡県埋蔵文化財調査研究所
曲金北遺跡 (遺物 考察編)	財團法人静岡県埋蔵文化財調査研究所
静岡の原像をさぐる	静岡県教育委員会
静岡県史研究 第 14 号	静岡県
愛知県	南山大学人類学博物館
中沢貝塚の土器	財團法人 濑戸市埋蔵文化財センター
品野西遺跡	財團法人 濑戸市埋蔵文化財センター
落合橋南遺跡 I	財團法人 濑戸市埋蔵文化財センター
太子 A 窯跡	豊橋市教育委員会
市道遺跡 (I)	豊橋市教育委員会
公文遺跡 (III) 牟呂城址	豊橋市教育委員会
大西遺跡	豊橋市教育委員会
椎現山	豊橋市教育委員会
水神貝塚	豊橋市教育委員会
豊橋の文化財	豊橋市教育委員会
年報 平成 8 年度	財團法人 埋蔵文化財センター
愛知県埋蔵文化財情報 12 平成 7 年度	愛知県教育委員会
名古屋大学文学部研究論集 128	名古屋大学
平成 8 年度 濑戸市埋蔵文化財センター年報	(財)瀬戸市埋蔵文化財センター
愛知県陶磁資料館研究紀要 14	愛知県陶磁資料館
特別企画展 松岡美術館名品展	愛知県陶磁資料館
企画展 経塚出土陶磁展	愛知県陶磁資料館
企画展 経塚出土陶磁展	愛知県陶磁資料館
埋蔵文化財調査報告書 24	名古屋市教育委員会
埋蔵文化財調査報告書 25	名古屋市教育委員会
埋蔵文化財調査報告書 26	名古屋市教育委員会
尾張元興寺跡発掘調査報告書	名古屋市教育委員会
名古屋城三の丸遺跡	名古屋市教育委員会
堅三藏通遺跡	名古屋市教育委員会
伊勢山中学校遺跡	名古屋市教育委員会

書名	寄贈者等名
H-22号窯発掘調査概要報告書	名古屋市教育委員会
清水寺道路第5次発掘調査報告書	名古屋市教育委員会
曾池遺跡発掘調査概要報告書	名古屋市教育委員会
名古屋市見晴台考古資料館年報14	名古屋市見晴台考古資料館
見晴台教室'97	名古屋市見晴台考古資料館
田所遺跡	愛知県埋蔵文化財センター
大毛池田遺跡	愛知県埋蔵文化財センター
西上免遺跡	愛知県埋蔵文化財センター
大綱遺跡	愛知県埋蔵文化財センター
清洲城下町道路Ⅶ	財団法人愛知県埋蔵文化財センター
梅坪遺跡Ⅳ	豊田市教育委員会
秋季特別企画展 遺跡にみる戦国 桃山の茶道具	愛知県陶磁資料館
遺跡に見る戦国 桃山の茶道具	愛知県陶磁資料館
大海津遺跡(II)	豊橋市教育委員会
若宮遺跡	豊橋市教育委員会
大西貝塚(Ⅲ)	豊橋市教育委員会
市道遺跡(II)	豊橋市教育委員会
中村遺跡 作神遺跡	豊橋市教育委員会
落合橋南遺跡Ⅱ	財團法人市埋蔵文化財センター
八床9-10号窯跡	財團法人市埋蔵文化財センター
三重県	
沢代遺跡調査報告書	青山町教育委員会 青山町遺跡調査会
桜ヶ森遺跡発掘調査報告	青山町教育委員会 青山町遺跡調査会
片部遺跡への招待	鶴野町教育委員会
墨書き文字発見と四世紀の日本 古代シンポジウム	鶴野町役場まちづくり推進課
森脇遺跡(第4次) 遊山城跡発掘調査報告	三重県埋蔵文化財センター
山ノ花	三重県埋蔵文化財センター
埋蔵文化財発掘調査概報Ⅸ	三重県埋蔵文化財センター
三重県埋蔵文化財センター年報8 平成8年度	三重県埋蔵文化財センター
板倉町の文化財	板倉町教育委員会
埋蔵文化財発掘調査概報Ⅹ	三重県埋蔵文化財センター
高畠遺跡発掘調査概報	三重県埋蔵文化財センター
津市埋蔵文化財センター年報1	津市埋蔵文化財センター
第6回 三重県埋蔵文化財発掘調査速報展	三重県埋蔵文化財センター
瀬戸内遺跡 被垣内遺跡 大蓮寺遺跡 柳江遺跡 北ノ垣内遺跡	三重県埋蔵文化財センター
堀田遺跡第3次発掘調査概報	三重県埋蔵文化財センター
官ノ腰遺跡発掘調査報告I	三重県埋蔵文化財センター
窪田大垣内遺跡(第3次) 音谷古墳群発掘調査報告	三重県埋蔵文化財センター
松月院跡 伝本願寺跡	三重県埋蔵文化財センター
石薬師東古墳群 石薬師東遺跡(第5次) 発掘調査概報	三重県埋蔵文化財センター
湯後遺跡発掘調査報告	三重県埋蔵文化財センター
宮地中世墓群発掘調査報告書	三重県埋蔵文化財センター
森ノ上遺跡発掘調査報告	三重県埋蔵文化財センター
深谷遺跡調査報告書	青山町教育委員会
安濃津	三重県埋蔵文化財センター
伊勢国分寺 国府跡4	鈴鹿市教育委員会
野田遺跡発掘調査報告	鶴野町教育委員会
「墨 文字 顔」～最古の墨書きが語るもの	鶴野町まちづくり推進課
天花寺遺跡 小谷赤坂遺跡発掘調査(II)	三重県埋蔵文化財センター
山添遺跡(第2次) 里中遺跡はか	三重県埋蔵文化財センター
窪田大垣内遺跡(第2次) 発掘調査報告	三重県埋蔵文化財センター
一般測量23号線中勢道路(9工区)建設事業に伴う堀田内遺跡発掘調査報告	三重県まいぞうぶんかざいセンター
研究紀要 第6号	三重県埋蔵文化財センター
第17回三重県埋蔵文化財展 三重の埴輪	三重県埋蔵文化財センター
滋賀県	
淡海の城	滋賀県教育委員会
後川遺跡発掘調査報告	滋賀県教育委員会文化財保護課
善光寺遺跡 五斗井遺跡	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課
日置前遺跡	財团法人滋賀県文化財保護協会

書名	寄贈者等名
八坂東遺跡	滋賀県教育委員会
小野遺跡発掘調査報告書	滋賀県教育委員会財団滋賀県文化財保護協会
藏ノ町遺跡	滋賀県教育委員会文化財保護課
博物館ができるまで	滋賀県立琵琶湖博物館
高島町大津の福井家住宅調査報告書	高島町教育委員会
レトロ・レトロの展覧会 1997	財団滋賀県文化財保護協会
平成9年度 事業概要	側滋賀県文化財保護協会
大塚遺跡II	長浜市教育委員会
経田寺遺跡	長浜市教育委員会
川崎遺跡II 発掘調査報告書	長浜市文化財事務室
遺跡散歩マップ	安土城考古博物館
南小足遺跡 常昌寺遺跡 大塚遺跡	安土城考古博物館
うみんこ	守山市教育委員会
層常設展示解説	守山市教育委員会
平成9年度春季特別展 開館5周年記念	守山市教育委員会
経田遺跡発掘調査報告書	守山市教育委員会
下長遺跡発掘調査報告書III	守山市教育委員会
守山市文化財調査報告書第56冊	側滋賀県文化財保護協会
第16回企画展 長浜新川開通遺跡発掘調査成果展	中主町教育委員会
平成7年度中主町内遺跡発掘調査集報I	中主町教育委員会
吉地薬師堂遺跡第36次発掘調査報告書	中主町教育委員会
平成6・7年度中主町内遺跡発掘調査年報	中主町教育委員会
神戸遺跡 発掘調査報告書	長浜市教育委員会
下坂氏館跡 大戊亥遺跡 下坂中世墓群	滋賀県長浜市教育委員会
平成8年度中主町内遺跡発掘調査集報I	滋賀県立琵琶湖博物館
琵琶湖博物館開館1周年企画展	滋賀県立琵琶湖博物館
京都府	
長岡京跡右京第544次 今里遺跡発掘調査報告書	財団法人長岡京市埋蔵文化財センター
京都嵯峨野の遺跡	財団法人京都市埋蔵文化財研究所
鹿苑寺(金閣寺)庭園	財団法人京都市埋蔵文化財研究所
長岡京跡右京第545次調査概要	財団法人長岡京市埋蔵文化財センター
京都府埋蔵文化財情報 第63号	側京都府埋蔵文化財調査研究センター
平成8年度発掘調査概報	福知山市教育委員会
牧正一 古墳	福知山市教育委員会
黄金塚2号墳の研究 第1巻	团长 伊達宗泰
京都市内遺跡立会調査概報 平成8年度	京都市文化市民局
京都市内遺跡発掘調査概報 平成8年度	京都市文化市民局
京都市内遺跡試掘調査概報 平成8年度	京都市埋蔵文化財調査センター
遺跡出土の朝鮮王朝陶磁	茶道資料館 関西近世考古学研究会
長岡京市埋蔵文化財センター年報 平成7年度	財団法人長岡京市埋蔵文化財センター
長岡京文化財調査報告書 第36冊	長岡京市教育委員会
長岡京文化財調査報告書 第37冊 2	長岡京市教育委員会
平成7年度京都市埋蔵文化財調査概要	側京都市埋蔵文化財研究所
年報 都城8平成7年度	側日向市埋蔵文化財センター
むこうまち往来こばなし	向日市文化資料館
京都府遺跡調査報告書 第21冊	側京都府埋蔵文化財調査研究センター
京都府遺跡調査概報 第75冊	側京都府埋蔵文化財調査研究センター
京都府遺跡調査概報 第74冊	側京都府埋蔵文化財調査研究センター
15年のあゆみ	側京都府埋蔵文化財調査研究センター
向日市埋蔵文化財調査報告第42集	財団法人向日市埋蔵文化財センター
長岡京DONめしあがれ	側京都府埋蔵文化財調査研究センター
京都府遺跡調査概報 第76冊	側京都府埋蔵文化財調査研究センター
京都府埋蔵文化財情報 第64号	側京都府埋蔵文化財調査研究センター
京都府遺跡調査概報 第77冊	側京都府埋蔵文化財研究センター
古代のくらしうつわ	京都府立丹後郷土資料館
京都大学構内遺跡調査研究年報 1993年度	京都大学埋蔵文化財研究センター
京都府遺跡調査報告書 第22冊	側京都府埋蔵文化財調査研究センター
京都府遺跡調査報告書 第23冊	側京都府埋蔵文化財調査研究センター
第15回 小さな展覧会	側京都府埋蔵文化財調査研究センター

書名	寄贈者等名
京都埋蔵文化財情報 第65号	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
平安京五条三坊八町発掘調査報告	(財)古代学協会
京都大学総合博物館春季企画展展示図録	京都大学総合博物館
向日市埋蔵文化財調査報告書 第41集	(財)向日市埋蔵文化財センター
中山修一先生追悼文集	長岡京跡発掘調査研究所
長岡京跡右京六条二坊二町 三町の調査	(財)長岡京市埋蔵文化財センター
長岡京跡右京第22 25次調査報告書	(財)長岡京市埋蔵文化財センター
史跡大覚寺跡発掘調査報告	嵯峨院御所大覺寺
長岡京左京出土木簡一	(財)京都府埋蔵文化財研究所
京都府埋蔵文化財情報 第66号	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
京都府遺跡調査概報 第78冊	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
京都府遺跡調査概報 第79冊	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
中日の古代都城と文物交流の研究	同志社国際主義教育委員会
京都造形芸術大学 1994	京都造形芸術大学
大阪府	
泉南市道路群発掘調査報告書	泉南市教育委員会
青銅の弥生都市一吉野ケ里をめぐる有明のクニグニー	大阪府立弥生文化博物館
河内長野市埋蔵文化財調査報告書	河内長野市教育委員会
平成8年度 発掘調査概要	岸和田市教育委員会
天満本願寺跡発掘調査報告II	財團法人大阪市文化財協会
長原 瓢箪遺跡発掘調査報告IX	財團法人大阪市文化財協会
長原 瓢箪遺跡発掘調査報告X	財團法人大阪市文化財協会
広島藩大坂城裏敷跡	大阪近つ飛鳥博物館
大阪府立近つ飛鳥博物館 館報2	大阪府立近つ飛鳥博物館
大阪府立近つ飛鳥博物館図録11	豊中市教育委員会
金池北遺跡(宮の前遺跡) 平成7(1995年)3月 第12次発掘調査報告	豊中市教育委員会
豊中市埋蔵文化財発掘調査概要	豊中市教育委員会
豊中市埋蔵文化財発掘調査概要	豊中市教育委員会
埋蔵文化財緊急発掘調査概報 平成8年度	吹田市教育委員会
越谷遺跡 他 発掘調査報告書 第2輯	名神高速道路内遺跡調査会
財团法人八尾市文化財調査研究会報告52	財團法人八尾市文化財調査研究会
財团法人八尾市文化財調査研究会報告53	財團法人八尾市文化財調査研究会
財团法人八尾市文化財調査研究会報告54	財團法人八尾市文化財調査研究会
平成8年度(八尾市文化財調査研究会事業報告)	(財)八尾市文化財調査研究会
鶴上遺跡群21	高槻市教育委員会
高槻市文化財年報 平成7年度	高槻市教育委員会
大阪府茨木市平成8年度発掘調査概報	茨木市教育委員会
河内平野遺跡群の動態V	大阪府教育委員会
大阪文化財研究 第11号	(財)大阪府文化財調査研究センター
大阪府下埋蔵文化財(第36回) 資料	(財)大阪府文化財調査研究センター
平成8年度埋蔵文化財緊急発掘調査概報	吹田市教育委員会
貝塚市遺跡群発掘調査概要19	貝塚市教育委員会
沢新聞遺跡発掘調査概要	貝塚市教育委員会
加治 神前 岩中遺跡発掘調査概要	(財)枚方市文化財研究調査会
枚方市文化財年報18 (1996年度分)	(財)枚方市文化財研究調査会
枚方市文化財研究調査会紀要 第4集	大阪市立博物館
大阪市立博物館報No.36	大阪府能勢町文化財委員会
平成8年度能勢町埋蔵文化財調査概要	(財)八尾市文化財調査研究会
文化財講座記録集4	(財)東大阪市文化財協会
鬼虎川遺跡の弥生貝塚	(財)東大阪市文化財協会
鬼虎川遺跡第35-1 次発掘調査報告 1997	(財)東大阪市文化財協会
布施北口莊場及び鬼虎川流域調査施設工事に伴う宮下道跡第2次発掘調査報告書	(財)東大阪市文化財協会
東大阪市埋蔵文化財発掘調査概要 -1995年度調査(2)-	(財)東大阪市文化財協会
東大阪市下水道事業関係発掘調査概要報告-1995年度-	(財)東大阪市文化財協会
北島遺跡の耕作地跡と古環境	(財)東大阪市文化財協会
稲附遺跡第3次発掘調査概報	(財)東大阪市文化財協会
鬼虎川遺跡北部の歴史時代耕作地跡と地震層序	(財)東大阪市文化財協会
神並遺跡西端部の歴史時代水路跡と繩文-奈良時代の埋積谷	(財)東大阪市文化財協会
(財)東大阪市文化財協会概報集-1996年度(1)-	(財)東大阪市文化財協会
東大阪市下水道事業関連発掘調査概要報告-1994年度-	(財)東大阪市文化財協会

書名	寄贈者等名
東大阪市埋蔵文化財発掘調査概要—1995年度調査(1)—	財東大阪市文化財協会
鬼塚遺跡第8次発掘調査報告	財東大阪市文化財協会
西ノ辻遺跡第33次発掘調査報告	財東大阪市文化財協会
神並遺跡XIV	財東大阪市文化財協会
鬼虎川遺跡第33次発掘調査報告	財東大阪市文化財協会
若江遺跡発掘調査報告書I	財東大阪市文化財協会
若江遺跡発掘調査報告書II	財東大阪市文化財協会
瓜生堂上層遺跡 蝶池遺跡発掘調査報告	東大阪市遺跡保護調査会
東大阪市遺跡保護調査会年報 1979年度	東大阪市遺跡保護調査会
東大阪市遺跡保護調査会発掘調査概報集 1980年度	東大阪市遺跡保護調査会
堀手遺跡1	堀手遺跡調査会
西ノ辻遺跡第22次発掘調査報告書	東大阪市教育委員会
水走遺跡第3次 鬼虎川遺跡第21次発掘調査報告	財東大阪市文化財協会
鬼虎川遺跡	国道30号線関係遺跡調査会
郷土史のたのしみ	財日傘社大阪市文化財協会
奈良時代の東大阪	財東大阪市文化財協会
安満宮山古墳	高槻市立埋蔵文化財調査センター
中島遺跡3区 8~13区	大阪府文化財調査研究センター
植田池 長流 安松遺跡	大阪府文化財調査研究センター
安威川総合開発事業に伴う文化財等総合調査中間報告書	大阪府文化財調査研究センター
河内平野遺跡群の動態VI	大阪府教育委員会
弥生文化博物館 要覧	大阪府立弥生文化博物館
中国古代文明の輝き	大阪府立弥生文化博物館
羽曳野市内遺跡調査報告書—平成元年度—	羽曳野市教育委員会
羽曳野市駒ヶ谷地区埋蔵文化財試掘調査報告書	羽曳野市教育委員会
古市遺跡群Ⅲ	羽曳野市教育委員会
野中寺	羽曳野市教育委員会
善正寺跡	大阪府立弥生文化博物館
応神陵古墳	大阪府立弥生文化博物館
車跡呼誕生 邪馬台国は畿内にあった?	大阪府立弥生文化博物館
古代寺院の成立と展開	大阪府立弥生文化博物館
堺市文化財調査概要報告 第65冊	堺市立埋蔵文化財センター
堺市文化財調査概要報告 第56冊	堺市教育委員会
宮の前道路、貴池遺跡 貴池西道路 1992 1993年度発掘調査報告書	財大阪文化財センター
西大井遺跡	大阪府文化財調査研究センター
河内平野遺跡群の動態III	大阪府教育委員会
大阪文化財研究 第12号	大阪府文化財調査研究センター
大阪の弥生遺跡の検討	大阪府立近づ飛鳥博物館
発掘速報展	富田林市教育委員会
平成7年度 富田林市市内遺跡群発掘調査報告書	河内長野市遺跡調査会
上原遺跡	河内長野市遺跡調査会
天野山金剛寺遺跡	河内長野市遺跡調査会
高向遺跡	河内長野市遺跡調査会
榮町南遺跡	柏原市教育委員会
柏原市埋蔵文化財発掘調査概報 1996年度	柏原市教育委員会
柏原市所在遺跡発掘調査概報	岸和田市 岸和田市教育委員会
浜田清陵賞十周年記念誌 想~十年を振り返って~	大阪府立近づ飛鳥博物館
大阪府立近づ飛鳥博物館図録12	大阪府立近づ飛鳥博物館
大阪府立近づ飛鳥博物館図録13	大阪府立近づ飛鳥博物館
重要文化財安福寺石棺保存整備事業報告	柏原市教育委員会
大阪市の文化財	大阪府立近づ飛鳥博物館
大和川今地遺跡発掘調査概要 XIV	大阪府立近づ飛鳥博物館
大鳥池遺跡試掘調査概要	大阪府立近づ飛鳥博物館
下田遺跡発掘調査概要	大阪府立近づ飛鳥博物館
新堂廢寺発掘調査概要 II	大阪府立近づ飛鳥博物館
寺川遺跡発掘調査概要 I	大阪府立近づ飛鳥博物館
男里遺跡発掘調査概要 I	大阪府立近づ飛鳥博物館
男里遺跡発掘調査概要 II	大阪府立近づ飛鳥博物館
諸目遺跡発掘調査概要 II	大阪府立近づ飛鳥博物館
陶器南遺跡発掘調査概要 III	大阪府立近づ飛鳥博物館
歌垣第2地区発掘調査概要 II	大阪府立近づ飛鳥博物館

書名	寄贈者等名
倍賀遺跡 西国街道 郡遺跡 中河原遺跡調査報告 東郷 成法寺遺跡発掘調査概要 IX	大阪府教育委員会
陶邑窯跡群発掘調査概要	大阪府教育委員会
大仙遺跡発掘調査概要 IV	大阪府教育委員会
東郷地区遺跡群発掘調査概要 V	大阪府教育委員会
古市大溝発掘調査概要	大阪府教育委員会
岸和田城遺跡発掘調査概要 I	大阪府教育委員会
能持遺跡発掘調査概要 II	大阪府教育委員会
池上曾根遺跡発掘調査概要	大阪府教育委員会
久宝寺遺跡 財団法人八尾市文化財調査研究会55 中田遺跡 財団法人八尾市文化財調査研究会報告56	八尾市文化財調査研究会
財団法人八尾市文化財調査研究会報告58 平成7年度 大阪市内埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書	八尾市文化財調査研究会
年報2 平成8年度	大阪市教育委員会
浜寺元町遺跡	大阪府文化財調査研究センター
大阪府埋蔵文化財研究会(第37回)資料	大阪府立近づ飛鳥博物館
古市遺跡群 XIX	羽曳野市教育委員会
譽田白鳥遺跡発掘調査概要報告書	羽曳野市教育委員会
兵庫県	
今田町団体協議会整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 今田町の中世城館	今田町教育委員会
今田町指定文化財図録 平成7年度版	今田町教育委員会
今田の道標	今田町教育委員会
東家地古墳、茗荷谷古墳群第3号墳	兵庫県三田市教育委員会
さんだのいせき1~10	三田市教育委員会 社会教育課 文化財課
さんだのいせき11~25	三田市教育委員会
三田市旧金剛寺跡	六甲山麓遺跡調査会
福成寺出土錢	豊岡市教育委員会 豊岡市立郷土資料館
道ノ下遺跡(第7次)	尼崎市教育委員会
さんだのいせき26~36 企画展16~27	三田市教育委員会
姫路市埋蔵文化財調査略報	姫路市教育委員会 文化部 文化課
城郭研究年報	赤穂市教育委員会
津村古墳	赤穂市教育委員会
東有年 沖田遺跡発掘調査報告書	神戸市教育委員会
神戸市東灘区魚崎中町遺跡(第3次調査)	神戸市埋蔵文化財年報
平成5年度 神戸市埋蔵文化財年報	神戸市埋蔵文化財年報
平成6年度 神戸市埋蔵文化財年報	かきかえられたひょうごの歴史
おっちゃん おばちゃんの考古学	姫路市教育委員会
福原京とその時代	兵庫県三田市教育委員会
特別史跡姫路城 石垣修理工事報告書(5)内京口門	神戸市教育委員会 文化財課
城ヶ谷遺跡	神戸市教育委員会 文化財課
屋敷町遺跡	姫路市都市局 城周辺整備事務所
城郭研究年報 VOL. 7	神戸市教育委員会
三田市教育委員会	三田市教育委員会
奈良県	
正倉院紀要 第十九号	宮内庁正倉院事務所
正倉院紀要 第十七号	宮内庁正倉院事務所
信仰関連遺跡調査課程	奈良国立文化財研究所
平城宮木簡五(解説)	奈良国立文化財研究所
平城宮木簡五	奈良国立文化財研究所
都城における行政機構の成立と展開	奈良国立文化財研究所
郡山城25次発掘調査報告書	大和郡山市教育委員会
寛政11年瓦屋兵助作銘軒瓦調査報告	大和郡山市教育委員会
シルクロード学研究2	シルクロード学研究センター
シルクロード学研究3	シルクロード学研究センター
シルクロード学研究4	シルクロード学研究センター
シルクロード 奈良国際シンポジウム記録集 vol. 3	財团なら シルクロード博記念国際交流財團
繩文創期 繩文後晚期 山内清美考古史料8	奈良国立文化財研究所
PUBLICATION OF RESEARCH CENTER FOR SILK ROADOLOGY VOL. 1	RESEARCH CENTER FOR SILK ROADOLOGY

書名	寄贈者等名
アンコール文化遺産保護共同研究報告書 I 平成9年度 秋季特別展 大和の高殿	文化庁伝統文化課
文化財学報 第15集	側桜井市文化財協会
天理参考館報 第10号	奈良大学文学部文化財学科
纏向の時代～最近の発掘調査から～	天理大学出版部
官営工房研究会会報4	側桜井市文化財協会
唐古 鍵遺跡 VOL.1 概説編	奈良国立文化財研究所
田原本町埋蔵文化財調査年報5	田原本町教育委員会
唐古 鍵遺跡 第60次調査概報	田原本町教育委員会
平城宮発掘調査出土木簡概報33	田原本町教育委員会
奈良国立文化財研究所年報 1997-I	奈良国立文化財研究所
奈良国立文化財研究所年報 1997-II	奈良国立文化財研究所
奈良国立文化財研究所年報 1997-III	奈良国立文化財研究所
史跡 大安寺旧境内 I	奈良市教育委員会
奈良市埋蔵文化財調査概要報告書 平成8年度	奈良市教育委員会
平城京 藤原京出土軒瓦型式一覧	奈良市教育委員会
平城京左京二条坊十二坪	奈良市教育委員会
平城京東市跡推定地の調査 XV	奈良市教育委員会
奈良市埋蔵文化財調査センター紀要 1996	奈良市教育委員会
第10回平城京展 平城京を築いた人びと	奈良市教育委員会
第15回平城京展	奈良市教育委員会
和歌山県	御坊市遺跡調査会
土地改良組合整備事業野島地区は場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概報	御坊市遺跡調査会
土地改良組合整備事業野島地区は場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概報2	御坊市教育委員会
稻荷山古墳はか	御坊市遺跡調査会
糸井戸古墳群はか	御坊市教育委員会
鳥島II遺跡発掘調査概要報告書	御坊市教育委員会
太田 黒田遺跡第33・34次発掘調査概報	(財)和歌山市文化体育振興事業団
府中IV遺跡 第2次発掘調査概報	(財)和歌山市文化体育振興事業団
和歌山市内遺跡発掘調査概報	(財)和歌山市文化体育振興事業団
和歌山市内遺跡発掘調査概報	(財)和歌山市文化体育振興事業団
和歌山市埋蔵文化財発掘調査年報3	(財)和歌山市文化体育振興事業団
和歌山市埋蔵文化財発掘調査年報4 -平成6(1994)年度-	(財)和歌山市文化体育振興事業団
和歌山市太加友ヶ島沖出土の陶器	和歌山市教育委員会
発掘物語'97	和歌山市立博物館
泉谷遺跡第10・11・13・15次発掘調査報告書	(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
鳥取県	北条町教育委員会
北尾23号墳発掘調査報告書 第1集	北条町教育委員会
町内遺跡発掘調査報告書第6集 (鳥丸山遺跡、土下240号墳) 第6集	北条町教育委員会
曲道跡群発掘調査報告書2	倉吉市教育委員会
夏谷遺跡発掘調査報告書	倉吉市教育委員会
横谷遺跡発掘調査報告書	鳥取県東伯郡赤崎町教育委員会
鳥取県東伯郡赤崎町 赤崎町内遺跡発掘調査報告書V	鳥取県東伯郡赤崎町教育委員会
赤崎町内遺跡発掘調査報告書VI 1	鳥取県東伯郡赤崎町教育委員会
高岡上大谷遺跡発掘調査報告書1	鳥取県東伯郡赤崎町教育委員会
別所古墳群 別所女大岩峯遺跡発掘調査報告書	赤崎町教育委員会
長瀬浜遺跡発掘調査報告書VI	財団法人鳥取県教育文化財团
鶴田墓ノ上遺跡 鶴田大道端遺跡 鶴田中峯山遺跡	財団法人鳥取県教育文化財团
坂町宮田ノ上遺跡 坂町第5遺跡 坂町佛谷遺跡 小町越城野原第1遺跡	財団法人鳥取県教育文化財团
小町石牆ノ上遺跡 朝金第2遺跡 田住桶川遺跡 田住第8遺跡	財団法人鳥取県教育文化財团
天萬土井前遺跡	財団法人鳥取県教育文化財团
閑金町内遺跡発掘調査報告書IX	閑金町教育委員会
松河原2号墳	閑金町教育委員会
不入間遺跡群発掘調査報告書	倉吉市教育委員会
坂長宮田ノ上遺跡 坂中第5遺跡 坂長佛谷遺跡 小町越城野原第1遺跡	鳥取県教育文化財团
塙津山古墳群	建設省松江国道工事事務所
島根県教育厅 文化財調査埋蔵文化財調査センター年報V	島根県教育委員会
青谷町内遺跡発掘調査報告書	青谷町教育委員会
大口第3遺跡発掘調査報告書	青谷町教育委員会

書名	寄贈者等名
青谷町内遺跡発掘調査報告書5	青谷町教育委員会
青谷町内遺跡発掘調査報告書VI	青谷町教育委員会
倉吉市内遺跡分布調査報告書IX	倉吉市教育委員会
下張坪遺跡発掘調査報告書	倉吉市教育委員会
両長谷遺跡発掘調査報告書	倉吉市教育委員会
下西野遺跡発掘調査報告書	倉吉市教育委員会
円谷城跡発掘調査報告書	倉吉市教育委員会
東郷町内遺跡発掘調査報告書	東郷町教育委員会
宮内長谷遺跡発掘調査報告書	東郷町教育委員会
下甲抜堤遺跡	中山町教育委員会
退休寺遺跡	中山町教育委員会
住吉遺跡群	中山町教育委員会
町内遺跡発掘調査報告書	中山町教育委員会
柄原遺跡発掘調査報告書	名和町教育委員会
名と公園裏古墳群 御来屋駅渾谷道路発掘調査報告書	名和町教育委員会
倉谷横穴II群発掘調査報告書	名和町教育委員会
陰田第6遺跡 陰田宮の谷遺跡3区 4区	鰐米子市教育文化事業団
石州府第2遺跡	鰐米子市教育文化事業団
米子城跡9遺跡	鰐米子市教育文化事業団
宗像前田遺跡	鰐米子市教育文化事業団
石州府第2遺跡II	建設省中国地方建設局吉倉工事事務所
陰田第6遺跡(久幸地区)	米子市教育委員会
米子市調査遺跡群発掘調査報告書I	米子市教育委員会
米子市調査遺跡群発掘調査概報II	米子市教育委員会
米子市調査遺跡群発掘調査報告書II	米子市教育委員会
米子市調査遺跡群発掘調査報告書III	米子市教育委員会
米子市内遺跡発掘調査報告書	米子市教育委員会
尾高城址	米子市教育委員会
米子市内遺跡発掘調査報告書	米子市教育委員会
米子市内遺跡発掘調査報告書	米子市教育委員会
米子市内遺跡発掘調査報告書(遺跡分布調査) 1992 3	米子市教育委員会
米子市内遺跡発掘調査報告書(遺跡分布調査) 1993 3	米子市教育委員会
新山田遺跡(第5次)	米子市教育委員会
米子市内遺跡発掘調査報告書	米子市教育委員会
島根県	
ザ・ハンザケンボジウム in 瑞穂	島根県邑智郡瑞穂町教育委員会
宮原遺跡詳細分布調査報告書	瑞穂町教育委員会
川ノ免遺跡発掘調査報告書	瑞穂町教育委員会
長源地本谷城跡発掘調査報告書	島根大学埋蔵文化財調査研究センター
島根大学構内遺跡第1次調査(橋手地区 1)	古代出雲文化展実行委員会
古代出雲文化財展	島根県教育委員会
石見の城館跡	金城町教育委員会
波佐	津和野町教育委員会
高田地区埋蔵文化財分布調査概要報告書	津和野町教育委員会
高田地区埋蔵文化財分布調査概要報告書II	津和野町教育委員会
島根県鹿足郡津和野町平成4年度町内遺跡分布調査概要報告書	津和野町教育委員会
西中組遺跡	津和野町教育委員会
たかたいせきⅢ	津和野町教育委員会
有福寺遺跡発掘調査概要報告書	津和野町教育委員会
嘉久志遺跡 飯田C遺跡 古八幡付近遺跡	津和野町教育委員会
禮原遺跡 岬瀬山毛宅たら前跡 谷川古跡	津和野町教育委員会
松本古墳群 大角山古墳群 斉べりぎこ古墳群	津和野町教育委員会
徳見津遺跡 目廻遺跡 陽徳寺遺跡	建設省浜田工事事務所
岩屋口北遺跡 白コクリ遺跡(F区)	建設省斐伊川神戸川総合開発工事事務所
布志名大谷I遺跡 布志名大谷II遺跡 布志名才の神遺跡	建設省松江国道路工事事務所
岸尾遺跡 島田遺跡	島根県教育委員会
福富I遺跡 屋形1号墳	建設省松江国道路工事事務所
本庄川流域条里遺跡	建設省松江国道路工事事務所
柳II遺跡 小久白墳墓群 神庭谷遺跡	島根県教育庁文化財課
かんどの流れ	建設省松江国道路工事事務所
	島根県教育委員会(埋蔵文化財調査センター)

書名	寄贈者等名
よみがえるあさくみがわのながれ 渋山池遺跡 原ノ前遺跡	島根県教育委員会
大井谷石切場跡 上塙治横穴墓群第14 15 16支群 よみがえるあさくみがわのながれ	島根県教育委員会 建設省出雲工事事務所
斐伊川放水路発掘物語 加茂岩倉遺跡	島根県教育委員会 島根県埋蔵文化財調査センター
鳥田池遺跡 加茂岩倉遺跡発掘調査概報 I	島根県教育委員会 建設省松江国造工事事務所
古代文化研究第5号 富家文書	加茂町教育委員会 島根県古代文化センター 島根県古代文化センター
岡山県	
服部庵寺 前山遺跡 錦戸原遺跡	長船町教育委員会
小中道跡 白古墳群 小中古墳群 湯ヶ古墳群	岡山県教育委員会
寺古山群 大日幡山城丸跡	岡山県教育委員会
百間川兼基遺跡3 百間川今谷遺跡3 百間川沢田遺跡4 下笠加遺跡	岡山県教育委員会 岡山県埋蔵文化財報告27
岡山県埋蔵文化財報告27 自然科学研究所 研究報告 第22号	岡山県教育委員会 岡山理科大学自然科学研究所
津寺遺跡4 窪本遺跡1	日本道路公团中国支社岡山工事事務所 岡山県教育委員会
載田古墳群金黒池東遺跡奥ヶ谷篠跡中山古墳群西山遺跡 西山古墳 津島岡大遺跡8 - 第13次調査一	日本道路公团中国支社岡山工事事務所 岡山大学理藏文化財調査研究センター
倉敷埋蔵文化財センター年報3 平成7年度 池尻遺跡	倉敷埋蔵文化財センター 倉敷埋蔵文化財センター
有本古墳群 水見屋敷跡 西吉田北遺跡 日上天王山古墳 年報 津山弥生の里	津市教育委員会 津市教育委員会 津市教育委員会 津市教育委員会
塚ヶ成古墳 矢藤治山弥生墳丘墓 鹿田遺跡IV - 第6次調査一	津市教育委員会 岡山県真庭郡美甘村教育委員会
総社市埋蔵文化財調査年報7 (平成8年度) 年報 津山弥生の里 第5号 (平成8年度)	矢藤治山弥生墳丘墓発掘調査団 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター
有本遺跡 男戸崎古墳 上戸戸崎遺跡 日上戸戸崎古墳群	総社市教育委員会 津市教育委員会 津市教育委員会
津島岡大遺跡9 - 第14次調査一 岡山大学構内遺跡調査研究年報14	津市教育委員会 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター
広島県	
山崎1号遺跡発掘調査報告書 安芸国分寺東方遺跡発掘調査報告書	財團法人東広島市教育文化振興事業団文化財センター 財團法人東広島市教育文化振興事業団文化財センター
広島城外縄跡群北駅北駅北交差点地点発掘調査報告 1997 3 寺山遺跡発掘調査報告 1997 3	財團法人東広島市歴史科学教育事業団 財團法人東広島市歴史科学教育事業団
番谷遺跡発掘調査報告 1997 3 「埴輪作り体験」	財團法人東広島市歴史科学教育事業団 財團法人東広島市歴史科学教育事業団
平成8年度考古学教室記録集「石器づくり」 神辺町埋蔵文化財調査報告XVII	財團法人東広島市歴史科学教育事業団文化財課 神辺町教育委員会
広島県の埋蔵文化財 広島県の埋蔵文化財	広島県教育委員会 広島県教育委員会
史跡吉川氏城跡 吉川元春館跡 広島大学文学部帝釈峠遺跡群発掘調査年報X 1	広島県教育委員会 広島大学文学部帝釈峠遺跡群発掘調査室
府中市内遺跡3 坤東製鉄遺跡	府中市教育委員会 広島県山県郡豊平町教育委員会
平家ヶ城跡発掘調査報告書 金口古墳群	財团法人東広島県埋蔵文化財調査センター 財团法人東広島県埋蔵文化財調査センター
打山遺跡群A B地点 千代田流通团地造成事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書(I) 梶平塚第2号古墳発掘調査報告書	財团法人東広島県埋蔵文化財調査センター 財团法人東広島県埋蔵文化財調査センター 財团法人東広島県埋蔵文化財調査センター 財团法人東広島県埋蔵文化財調査センター

書名	寄贈者等名
田龍遺跡 国営広島北部土地改良事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書 竜王山2号遺跡	財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島市歴史科学教育事業団 広島大学文学部
出羽遺跡 県営は場整備事業(川西東部 南部地区)に係る埋蔵文化財発掘調査報告書 田上第1・2号古墳	財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島市歴史科学教育事業団 広島大学文学部
積ヶ原製鉄遺跡発掘調査報告書 上千堂遺跡	財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島市歴史科学教育事業団 広島大学文学部
美しい考古学 広島大学文学部帝釈鉄道跡群発掘調査室年報XII 年報12 平成7年度 年報13 平成8年度 研究概録W	財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島県埋蔵文化財調査センター 財広島県埋蔵文化財調査センター 広島大学統合移転地埋蔵文化財調査委員会 広島大学統合移転地埋蔵文化財調査委員会調査室 広島県立歴史民俗資料館 広島県立歴史博物館 財広島県埋蔵文化財調査センター 広島県立歴史博物館 広島県立歴史博物館
広島大学統合移転地埋蔵文化財調査の歩み 広島大学統合移転地埋蔵文化財調査年報XIII 掲載された中世の安芸 備後-港町 城館 集落- 商人たちの瀬戸内 三原城跡 医師 齋田次郎の自由民権運動(広島県立歴史博物館1997年春の企画展) 戦国民衆と中国地方(広島県立歴史博物館 1997年秋の企画展)	広島大学統合移転地埋蔵文化財調査委員会 広島大学統合移転地埋蔵文化財調査委員会調査室 広島県立歴史民俗資料館 広島県立歴史博物館 財広島県埋蔵文化財調査センター 広島県立歴史博物館 広島県立歴史博物館
山口県 研究紀要 第1号 下関市立考古学博物館年報2 - 平成8年度 - 下関市立考古博物館年報2 東柳寺 黒山遺跡II 植島遺跡 よみがえる下関の歴史I 陶けん 赤妻古墳 山口市埋蔵文化財調査報告 第64集	下関市立考古博物館 下関市立考古学博物館 下関市立考古博物館 財山口県教育財團 財山口県教育財團 下関市立考古博物館 山口県埋蔵文化財センター 山口市教育委員会 山口市教育委員会
徳島県 鳴門市文化財分布地図 付 名勝「鳴門」保護管理計画 辰砂生産遺跡の調査 辰砂生産遺跡の調査 阿波の石造民谷 黒谷川宮ノ前遺跡 凌しよう 第三号 凌しよう 第四号 天橋降臨の地と久米一族の調査研究 黒谷川宮ノ前遺跡 黒谷川宮ノ前遺跡 中島田遺跡II 中島田遺跡II 阿波の近世絵画 徳島県立博物館年報 第6号 (平成8年度) 徳島県埋蔵文化財センター年報 Vol. 6 徳島地理学会論文集 第2集 千山丸と徳島藩の船 徳島県立博物館研究報告第7号 歴史の里 第4号 (平成8年4月~平成9年3月) 徳島市立徳島城博物館年報第5号 (平成8年度) おもしろ古文書の世界 阿波織り今昔物語 豊臣秀吉と阿波 蜂須賀家 阿波国の縁を、徳島県の未来へ 小勝島戦跡調査報告書 徳島文理大学研究紀要第54号 庄遺跡 I 立善寺跡遺跡	鳴門市教育委員会 徳島県立博物館 徳島県立博物館 徳島県郷土文化会館 徳島県教育委員会 四国大学 四国大学 古代阿波通信の会 徳島県教育委員会 徳島県教育委員会 徳島県教育委員会 徳島県教育委員会 徳島県立博物館 徳島県立博物館 財团法人徳島県埋蔵文化財センター 徳島地理学会 徳島市立徳島城博物館 徳島県立博物館 松茂町歴史民俗資料館 徳島市立徳島城博物館 徳島市立徳島城博物館 徳島市立徳島城博物館 徳島市立徳島城博物館 四国地方建設局徳島工事事務所 小勝島戦跡調査会 徳島文理大学研究紀要編集委員会 徳島県教育委員会 徳島県教育委員会

書名	寄贈者等名
徳島市埋蔵文化財発掘調査概要7 庄遺跡I 立善寺跡遺跡 三谷遺跡 弥生の精華—銅鐸に迫る— 弥生の精華—銅鐸に迫る— 高校地歴 第34号	徳島市教育委員会 徳島県教育委員会 徳島県教育委員会 徳島市埋蔵文化財発掘調査委員会 徳島県埋蔵文化財センター 徳島県埋蔵文化財センター 徳島県高等学校教育研究会
香川県 郡家田代遺跡 中間西坪跡I 川津一ノ又遺跡I 高松市歴史資料卷収蔵資料目録 観音寺市内遺跡発掘調査概要報告書 綾歌町内遺跡発掘調査報告書 史跡有岡古墳群（宮が尾古墳）調査整備報告書 川津一ノ又遺跡 四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報 水道局第3投棄場整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査概報 旧練兵場遺跡 国道バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報 平成8年度 小谷窯跡 塚谷古墳 空港跡地遺跡発掘調査概報 平成8年度 県道岡係埋蔵文化財発掘調査概報 平成8年度 香川県埋蔵文化財調査センター年報 平成7年度 香川県埋蔵文化財調査センター年報 平成8年度 高松港頭地区画整理事業埋蔵文化財発掘調査概報 財团法人香川県埋蔵文化財調査センター研究紀要V かがわ今昔 北原3号墳 北原遺跡 旧練兵場遺跡II 県道改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査概報 香川県埋蔵文化財発掘調査報告 高松市歴史資料館年報 平成8年度No.4 坂出市内遺跡発掘調査報告書 全国郷土玩具展 サンクリスマスル学習のしおり 森広遺跡 瀬戸内海歴史民俗資料館年報 1997（平成8年度）第22号 歴史博物館整備に伴う収蔵資料目録—平成7年度— 歴史博物館整備に伴う資料調査概報—平成7年度— 百相坂遺跡 国分寺六ノ目古墳 三条黒島遺跡 川西北七条I遺跡 小山 南谷遺跡I 空港跡地遺跡II 水戸徳川家の明宝展 第17回特別展 馬の文化展	財団法人香川県埋蔵文化財調査センター 財団法人香川県埋蔵文化財調査センター 財団法人香川県埋蔵文化財調査センター 高松市歴史資料館 観音寺市教育委員会 綾歌町教育委員会 善通寺市教育委員会 香川県教育委員会 香川県教育委員会 香川県教育委員会 香川県教育委員会 香川県教育委員会 香川県教育委員会 香川県教育委員会 香川県教育委員会 香川県教育委員会 財団法人香川県埋蔵文化財調査センター 財団法人香川県埋蔵文化財調査センター 香川県教育委員会 000香川県埋蔵文化財調査センター 香川県教育委員会事務局 香川県教育委員会 香川県教育委員会 香川県教育委員会 香川県教育委員会 高松市歴史資料館 坂出市教育委員会 高松市歴史資料館 サンクリスマスル高松 寒川町教育委員会 瀬戸内海歴史民俗資料館 香川県教育委員会 香川県教育委員会 香川県教育委員会 香川県教育委員会 香川県教育委員会 香川県教育委員会 香川県教育委員会 香川県教育委員会 高松市歴史資料館 高松市歴史資料館
愛媛県 埋蔵文化財のはなし－調査の方法－ 石手寺前遺跡 古代の桑原II 桑原地区的遺跡III 中村松田遺跡 藤山歴史資料館展示案内 1997 椿味遺跡III 愛媛大学構内遺跡調査集報I 笠ノ口遺跡 松山岬7号墳 松山市埋蔵文化財調査年報IX	財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター 財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター 松山市教育委員会 財団法人松山市生涯学習振興財團埋蔵文化財センター 財団法人松山市生涯学習振興財團埋蔵文化財センター 藤山歴史資料館 愛媛大学埋蔵文化財調査室 愛媛大学埋蔵文化財調査室 (社)松山市生涯学習振興財團埋蔵文化財センター 松山市教育委員会 松山市教育委員会

書名	寄贈者等名
小照遺跡 朝日谷2号墳 道後一ノ遺跡	財松山市生涯学習振興財團埋蔵文化財センター 松山市考古館 財愛媛県埋蔵文化財調査センター
高知県 須崎道路（吾井郷地区）埋蔵文化財確認調査報告書 小畠遺跡II 長歴遺跡・長歴古墳群 高知県埋蔵文化財調査報告書 第39集 上美郷岐遺跡 高知県立歴史民俗資料館年報 平成8年度 No.6 高知県立歴史民俗資料館 研究紀要 第6号 下ノ坪遺跡I	財高知県文化財団埋蔵文化財センター 財高知県文化財団 埋蔵文化財センター 高知県文化財団埋蔵文化財センター 高知県教育委員会文化振興課 佐川町教育委員会 高知県立歴史民俗資料館 高知県立歴史民俗資料館 野市町教育委員会
福岡県 富地原森 富地原神屋崎 桑原遺跡群2 在自遺跡群III 神道遺跡 第16次調査 久留米城下町 具服町遺跡 不光院遺跡 二本木遺跡 第10次調査 白口西屋敷遺跡 安国寺遺跡 第5次調査 道藏遺跡II 平成7年度 久留米市内遺跡群 上津 藤光遺跡群 大善寺北部地区遺跡群V 筑後国府跡 平成7年度発掘調査概要 安武地区遺跡群X ヘボノ木遺跡 平成6年度 発掘調査概要 津福寺山遺跡 城崎遺跡第2次調査 日出原南遺跡第2次調査 筑後国府跡 ヘボノ木遺跡 第62次調査 ヘボノ木遺跡 第63次調査 久留米城下町 魚屋町遺跡 第1、2次調査 平成8年度 ヘボノ木遺跡 発掘調査概要 筑後国府跡 平成8年度発掘調査概要 平成8年度 久留米市内遺跡群 安武地区遺跡群VI 大善寺北部地区遺跡群VI 上津 藤光遺跡群 西行古墳群 久留米市文化財要覧 吉井町遺跡等詳細分布調査報告書 福岡市文化財分布地図（西部I） 福岡市文化財分布地図（中部 南部） 上唐原桶本屋敷遺跡 福岡県埋蔵文化財発掘調査年報－平成6年度－ 塚崎東畠遺跡 見沙門遺跡 上唐原桶本屋敷遺跡 下高橋馬屋元遺跡(1) 堅粕遺跡群－古代1丁目遺跡－ 君畑遺跡II 九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告43 三ヶ浦遺跡・長田遺跡・大池添遺跡・ウツケ畠遺跡・竹ノ下道路 上の熊遺跡 徳永川ノ上遺跡	宗像市教育委員会 宗像市教育委員会 福岡市教育委員会 津屋崎町教育委員会 久留米市教育委員会 吉井町教育委員会 福岡市教育委員会 福岡市教育委員会 福岡県教育委員会

書名	寄贈者等名
金井塚遺跡Ⅱ	福岡県教育委員会
笠原遺跡	福岡県教育委員会
志波桑ノ本遺跡 志波岡本遺跡 江栗遺跡	福岡県教育委員会
九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告46	福岡県教育委員会
九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告47	福岡県教育委員会
太宰府史跡	九州歴史資料館
松本遺跡（第2次調査）	八女市教育委員会
埋蔵文化財調査概報Ⅱ	八女市教育委員会
本町遺跡	八女市教育委員会
八女南部地区県営圃場整備事業地内 埋蔵文化財調整概報6	八女市教育委員会
八女東部地区埋蔵文化財発掘調査概報1	八女市教育委員会
埋蔵文化財調査概報Ⅲ	八女市教育委員会
八女南部地区県営圃場整備事業地内 埋蔵文化財調査概報7	八女市教育委員会
八女東部地区埋蔵文化財発掘調査概報2	八女市教育委員会
空同工業団地内遺跡Ⅲ	八女市教育委員会
八女東部地区埋蔵文化財発掘調査概報2	八女市教育委員会
大尾城跡	八女市教育委員会
八女東部地区埋蔵文化財発掘調査概報3	八女市教育委員会
埋蔵文化財調査概報Ⅳ	八女市教育委員会
熊野遺跡2	八女市教育委員会
一竿遺跡	八女市教育委員会
西牛田精野遺跡	三瀬町教育委員会
田川大野遺跡	三瀬町教育委員会
西新開遺跡	大川市教育委員会
能行遺跡	北九州市教育委員会
小倉城跡Ⅲ	北九州市教育委員会
鷹原北田遺跡	大川市教育委員会
第15会特別展「弥生の精物工房とその世界」	北九州市立考古博物館
大ノ浦下大坪遺跡	新吉富村教育委員会
筑前国分寺跡Ⅰ	太宰府市教育委員会
辻遺跡	太宰府市教育委員会
宝満山遺跡群Ⅱ	太宰府市教育委員会
佐野地区道路群Ⅵ	太宰府市教育委員会
太宰府史跡	太宰府市教育委員会
茶屋屋敷遺跡	北野町教育委員会
東アジアにおける支石墓の総合的研究	九州大学文学部考古学研究室
久留米城下町 両替町遺跡	久留米市教育委員会
高櫻遺跡 第8地点	鹿児島市教育文化事業団
小倉城跡	鹿児島市教育文化事業団
片伊田遺跡2（IX-X区の調査）	鹿児島市教育文化事業団
高野遺跡	鹿児島市教育文化事業団
大穂前田遺跡	鹿児島市教育文化事業団
潤崎遺跡5（第6地点 第7地点）	鹿児島市教育文化事業団
森山西遺跡1区	鹿児島市教育文化事業団
金丸遺跡1	鹿児島市教育文化事業団
永大丸遺跡群1	鹿児島市教育文化事業団
片伊田遺跡3	鹿児島市教育文化事業団
社の木遺跡	鹿児島市教育文化事業団
屏貫坂遺跡（第2地点）	鹿児島市教育文化事業団
埋蔵文化財調査室年報13	埋蔵文化財調査室
森山西遺跡2 II区	鹿児島市教育文化事業団
研究紀要第11号	埋蔵文化財調査室
九州歴史資料館年報 平成8年度	埋蔵文化財調査室
再見！糸高の博物館	九州歴史資料館
水町遺跡群	前原市立伊都歴史資料館
龍神遺跡群	直方市教育委員会
内橋登り上り遺跡 第2地点	篠山町教育委員会
内橋登り上り遺跡 第3地点	柏原町教育委員会
花ヶ浦古墳	柏原町教育委員会
船追廻跡群（茶臼山東廻跡群 堂がへり道路 堂がへり廻跡群 宇土廻跡）	篠山町教育委員会
立屋敷遺跡（第3次）	水巻町教育委員会

書名	寄贈者等名
九州歴史資料館研究論集22 干潟城山遺跡II 刈又地区遺跡群II 刈又地区遺跡群IV 小郡中尾遺跡2 井上南内原遺跡 小板井京塚遺跡2 福童山の上遺跡3 (9503) 埋蔵文化財調査報告書 西島遺跡5 (9611) 川原川右岸地帯遺跡群 I 荻浦 三雲 井原遺跡群 I 西堂 井原の文化財 平原周辺遺跡(6) 上街子遺跡 西堂 井原の文化財 三雲 井原遺跡群調査概要(1) 平原周辺遺跡(7) 「福岡県の装飾古墳」 福岡市博物館 年報4 平成6 (1994) 年度収集 収藏品目録 福岡市博物館 研究紀要 第7号 福岡市埋蔵文化財センター年報 第16号	九州歴史資料館 小郡市教育委員会 小郡市教育委員会 小郡市教育委員会 小郡市教育委員会 小郡市教育委員会 小郡市教育委員会 小郡市教育委員会 小郡市教育委員会 小郡市教育委員会 前原市教育委員会 前原市教育委員会 前原市教育委員会 前原市教育委員会 前原市教育委員会 前原市教育委員会 前原市教育委員会 前原市教育委員会 前原市教育委員会 熊本県立装飾古墳館 福岡市博物館 福岡市博物館 福岡市博物館 福岡市博物館 福岡市教育委員会
佐賀県 黒谷 水谷古墳 佐賀県農業基盤整備事業に係る文化財調査報告書14 東山田一本杉遺跡 内野山北窓跡 佐賀県文化財調査報告書 第129集 唐ノ川遺跡群 唐ノ川九尾遺跡 唐ノ川西ノ吹遺跡 八幡瀬第II遺跡(1) 千ヶ賀古園遺跡(II) 佐志中通遺跡 菅牟田西山遺跡 山田团六遺跡 佐賀県農業基盤整備事業に係る文化財調査報告書11 大和町内遺跡確認調査 佐保遺跡A B C区 池上二本松B遺跡 北畠遺跡 池上二本松遺跡 肥前国分寺跡 大和町内遺跡確認調査 小川遺跡 第3次調査 大和町内遺跡確認調査報告書 平成4年度 雞尾遺跡 久池井二本松遺跡 北原遺跡 小川遺跡 久池井遺跡 一本木遺跡 池尻海底遺跡 長倉遺跡 N-27氏家行広陣跡 玄海町の文化財 木下利房陣跡 東千布遺跡III 金立遺跡I 西千布遺跡2~7区 友貞遺跡7 12区 下和泉一本椎遺跡II 妙常寺北遺跡 (1 2区) 妙常寺南遺跡 (1区)	佐賀県教育委員会 佐賀県教育委員会 佐賀県教育文化課 佐賀県教育委員会 佐賀県教育委員会 唐津市教育委員会 唐津市教育委員会 唐津市教育委員会 唐津市教育委員会 唐津市教育委員会 唐津市教育委員会 唐津市教育委員会 唐津市教育委員会 佐賀県教育委員会 大和町教育委員会 玄海町教育委員会 玄海町教育委員会 玄海町教育委員会 佐賀市教育委員会 佐賀市教育委員会 佐賀市教育委員会 佐賀市教育委員会 佐賀市教育委員会 佐賀市教育委員会 佐賀市教育委員会

書名	寄贈者等名
牟田寄遺跡IV 牟田遺跡V 佐賀市埋蔵文化財確認調査報告書－1992年度－ 徳水遺跡1区 佐賀県の近代和風建築 大久保遺跡I 佐賀県文化財年報2 研究紀要第3集 東福寺遺跡	佐賀市教育委員会 佐賀市教育委員会 佐賀市教育委員会 佐賀市教育委員会 佐賀県教育委員会 佐賀県教育委員会 佐賀県教育委員会 佐賀県教育委員会 佐賀県教育委員会 佐賀県立名護屋城博物館 佐賀県教育委員会
長崎県 頭ヶ島白浜遺跡 黒丸遺跡ほか発掘調査概報 VOL・1 長崎県遺跡地図 長崎県遺跡地図 長崎県遺跡地図 長崎県遺跡地図 長崎県遺跡地図 長崎県遺跡地図 興善町遺跡 長崎奉行所関係文書調査報告書 黒丸遺跡 浅原城跡調査報告書 柿泊遺跡 体験発掘講座タイムスリップたんけん隊 発掘だより	長崎県南松浦郡有川町教育委員会 大村市教育委員会 長崎県教育委員会 長崎県教育委員会 長崎県教育委員会 長崎県教育委員会 長崎県教育委員会 長崎県教育委員会 長崎県教育委員会 長崎県教育委員会 長崎市埋蔵文化財調査協会 長崎県教育委員会 長崎県教育委員会 長崎県教育委員会 長崎市教育委員会 長崎県教育委員会
熊本県 梅智城跡 梅智城跡 陣山遺跡 蒲生 上の原遺跡 熊本大学埋蔵文化財調査室年報3－1996年度－ 梅地城跡 池辺寺跡I 頭地C遺跡 頭地田口B遺跡 先史学 考古学論究Ⅱ 熊本市埋蔵文化財調査年報 第1号 熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集	熊本県教育委員会 熊本県教育委員会 熊本県教育委員会 熊本県教育委員会 熊本大学埋蔵文化財調査室 熊本県教育委員会 熊本市教育委員会 五木村教育委員会 五木村教育委員会 龍田考古会 熊本市教育委員会 熊本市教育委員会
大分県 研究紀要 研究紀要 研究紀要 豊後国都甲莊1 六郷山寺院遺構確認調査報告書V 天平の字佐 松山遺跡 牟礼越遺跡 講演 アジア稻の起源と稲作圏の構造 史料館研究紀要 第2号	大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館 大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館 大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館 大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館 別府大学附属博物館 別府大学附属博物館 別府大学附属博物館 別府大学附属博物館 大分県立先哲史料館
宮崎県 雁寺第2遺跡 山城第1遺跡 宮崎県埋蔵文化財センター年報 市内遺跡発掘調査報告書 妙見原遺跡 内小野遺跡 小木原遺跡群(地区) C地区 久見追B地区 地主原地区 原田 上江遺跡群六部 田代地区遺跡群 上田代遺跡 松山遺跡 竹之内遺跡 妙見原遺跡 稻荷下遺跡	宮崎県北諸県郡高城町教育委員会 宮崎県埋蔵文化財センター 宮崎県串間市教育委員会 えびの市教育委員会 えびの市教育委員会 えびの市教育委員会 えびの市教育委員会 えびの市教育委員会

書名	寄贈者等名
芋畠第3遺跡山神原遺跡 余り田遺跡 天神河内第2遺跡 白ヶ野第3遺跡B地区 霧島遺跡 高鍋城跡(鳩田地区) 東九州自動車道埋蔵文化財発掘調査概要報告書(西部~清部) 平成8年度	えびの市教育委員会 宮崎県埋蔵文化財センター 宮崎県埋蔵文化財センター 宮崎県埋蔵文化財 宮崎県埋蔵文化財センター 宮崎県教育委員会 宮崎県埋蔵文化財センター
鹿児島県 鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報11 神野牧遺跡 本御内遺跡Ⅲ	鹿児島大学埋蔵文化財調査室 鹿児島県立埋蔵文化財センター 鹿児島県立埋蔵文化財センター
沖縄県 沖縄の文化財V	沖縄県教育委員会
その他 「天皇陵」総覧 アサヒグラ [別冊] 銅鐸の谷 やつ、どおもね! 阿波の交通(下) 阿波の交通(上) 阿波の民俗1 阿波一宮城 垣間みた吉備の原始古代 繼体天皇と今城塚古墳 古代国家はこうして生まれた 国立民族学博物館研究報告 21巻3号 国立民族学博物館研究報告 21巻4号 国立民族学博物館研究報告 22巻1号 国立民族学博物館研究報告 第22巻2号 国立民族学博物館研究報告 別冊18号 国立民族学博物館国内資料調査委員会調査報告集17 国立歴史民俗博物館研究報告 第70集 国立歴史民俗博物館研究報告 第71集 国立歴史民俗博物館研究報告 第73集 国立歴史民俗博物館研究報告 第74集 四国の美術館 博物館 終末期古墳と大谷1号墳 上栗須寺前遺跡群Ⅲ 人類学 民俗学研究連絡委員会報告 須恵器集成Ⅱ(東日本編) 青丘学術論集 第10集 青丘学術論集 第11集 青丘学術論集 第12集 開拓大谷刑部 日本考古学 第3号 日本考古学年報48	株新人物往来社 朝日新聞社 明治大学考古学研究室 徳島市立図書館 徳島市立図書館 徳島市立図書館 徳島市立図書館 吉備人出版 株吉川弘文館 株角川書店 国立民族学博物館 国立民族学博物館 国立民俗博物館 国立民族学博物館 国立民族学博物館 国立民族学博物館 国立民族学博物館 国立民族学博物館情報管理施設 国立歴史民俗博物館 国立歴史民俗博物館 国立歴史民俗博物館 国立歴史民俗博物館 徳島新聞社 大谷1号墳シンポジウム実行委員会 財群馬県埋蔵文化財調査事業団 日本学術会議 東京国立博物館 財韓国文化研究振興財团 財韓国文化研究振興財团 財韓国文化研究振興財团 株新人物往来社 日本考古学協会 日本考古学協会

徳島県埋蔵文化財センター年報 Vol. 9
—平成9年（1997）度—

平成10年6月30日

編集 発行 財団法人 徳島県埋蔵文化財センター
〒779-0108 徳島県板野郡板野町大伏字平山86番2
TEL (0886) 72-4545 FAX (0886) 72-4550

印 刷 株教育出版センター
〒771-0138 徳島市川内町平石流通団地27番地
TEL (0886) 65-6060 FAX (0886) 65-6080